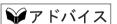
このたびは eK・WAGON　eK・SPORT をお買い上げいただき，ありがとうございます。

J09200101009

この取扱説明書は，お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また，お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので，ご使用前に必ずお読みください。
「安全なドライブのために」は重要ですので，しっかりお読みください。

安全に関する表示

● 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

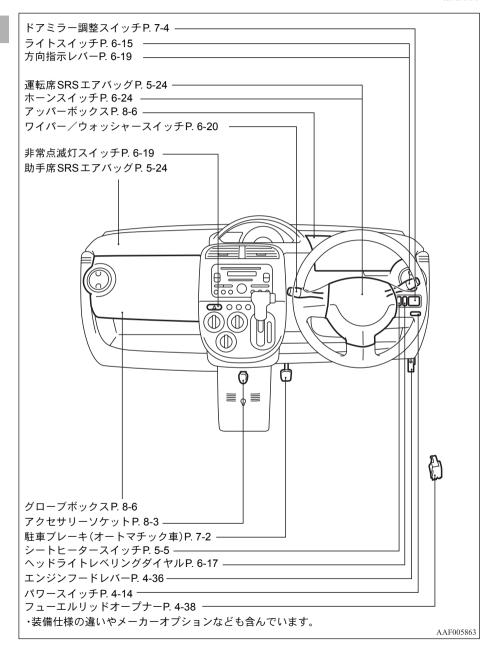
⚠警告　記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。

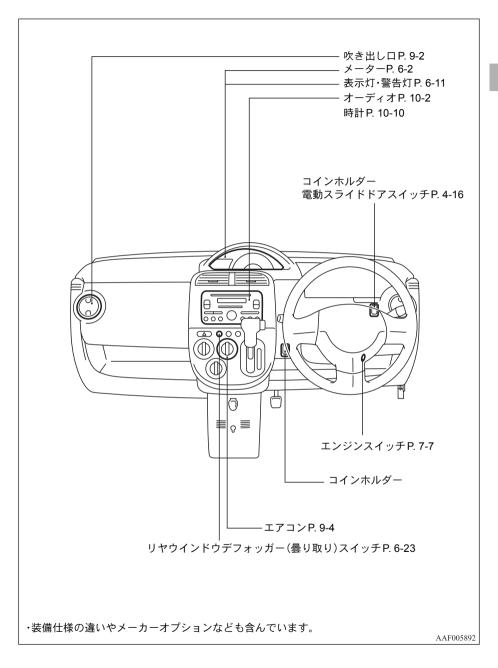
安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

その他の表示

● お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備　グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

● 取扱説明書は車の中に保管してください。
● 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
● 三菱マルチエンターテイメントシステムの取り扱い要領については，別冊の取扱説明書をご覧ください。
● お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，担当営業スタッフにお問い合わせください。

目次

絵で見る目次　1

安全なドライブのために　2
お車を安全に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。

環境にやさしく快適なドライブのために　3

各部の開閉　4

安全装備　5

メーター・スイッチ　6

運転装置　7

室内装備　8

エアコン　9

オーディオ　10

簡単な整備・車のお手入れ　11

寒冷時の取り扱い　12

もしものときの処置　13

サービスデータ　14

さくいん　15

計器盤まわり

J00100101816

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005892

室内

J00100301645

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005788

ラゲッジルーム

J00100600566

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

外まわり

J00100401893

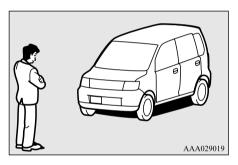
リヤワイパーP. 6-22
ハイマウントストップランプP. 13-37
テールゲートP. 4-23
制動灯／尾灯P. 13-37
ドアの施錠・解錠P. 4-8
キーレスエントリー
P. 4-3
タイヤ, ホイールのサイズP. 14-8
タイヤの空気圧P. 14-9
タイヤ交換P. 13-18
タイヤローテーションP. 11-4
タイヤチェーンP. 12-6
後退灯P. 13-37
方向指示灯P. 6-19, 13-37
非常点滅灯P. 6-19, 13-37
番号灯P. 13-37
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
AAF003957

エンジンルーム

J00100501126

R, X
パワーステアリングオイルタンク
ブレーキ液タンク
オートマチックトランスミッションオイルレベルゲージ
バッテリーP. 13-23，14-6
コンデンスタンク（冷却水）P. 13-25
ヒューズボックスP. 13-31
フロント・リヤウォッシャータンク
P. 11-3
ラジエーターキャップP. 13-25
エンジンオイル注入キャップ
エンジンオイルレベルゲージ
AAF002527

安全なドライブのために

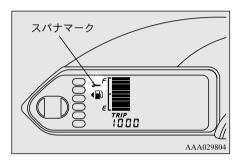
お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

日常点検 2- 2
出発前は 2- 4
お子さまを乗せるときは. 2- 7
走行するときは. 2- 11
走行中に異常に気づいたら 2- 15
オートマチック車の取り扱い 2- 16
駐停車するときは 2- 20
こんなことにも注意 2- 22
セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは 2- 25

日常点検

J00200100748

点検，整備を忘れずに

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
- 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。

AAA029019

- サービスリマインダーが点灯したら三菱自動車販売会社で定期点検整備を受けてください。

サービスリマインダー

次回定期点検までの残り月数と残り距離をお知らせする機能です。
定期点検時期に近づくと，エンジンスイッチをLOCKからONにしたときにメーター内のスパナマークが数秒間表示され，定期点検時期であることをお知らせします。
→「サービスリマインダー」P. 6-6

AAA029804

エンジンルームを点検するときは

● エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。

● エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。

● 排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は三菱自動車販売会社で行ってください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは

● ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは，ラジエーターキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が吹き出しやけどをするおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

J00202000682

● 必ず無鉛ガソリンを補給してください。

● 軽油や有鉛ガソリン，粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，三菱自動車純正以外のガソリン添加剤（含む，水分除去剤）を使用しないでください。
エンジンや燃料装置などに悪影響をおよぼしたり，排気ガス浄化装置や燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
→「メンテナンスデータ」P. 14-2

三菱自動車販売会社で点検を受けて

J00202100191

● つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- いつもと違う音や臭いや振動がするとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油の漏れたあとが残っているとき

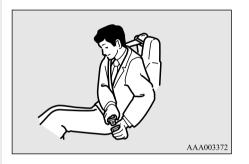
2

出発前は

J00200200794

シートベルトは必ず着用

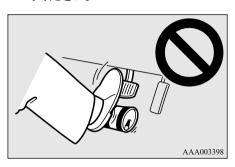
- 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
→「シートベルト」P. 5-10
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。

AAA003372

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

AAA003385

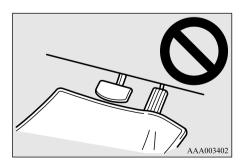
窓越しにエンジンをかけない

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。
- マニュアル車は，シフトレバーをⓃに入れ，クラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。
オートマチック車は，セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認します。
いずれの場合も思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでエンジンをかける習慣をつけてください。
→「エンジンのかけ方」P. 7-8
- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

クラッチスタートシステムとは…

- 誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

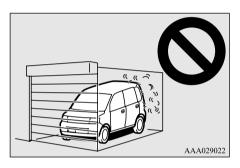
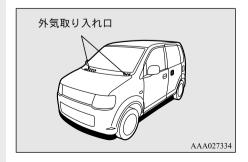
運転席の足元付近を点検

- ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
  出発前に運転席の足元付近を点検してください。

AAA003398

- フロアマットはペダルに引っかからないよう，車にあったものを正しく敷いてください。
  →「フロアマット」P. 8-10
  正しく敷かないと，ペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  • ずれないようフックなどで確実に固定する。
  • ペダルをおおわない。
  • 重ねて敷かない。
  • アクセルペダルの下に敷かない。

AAA003402

荷物を積むときは

- 荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
  後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
- 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

2

周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

- 周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。
  排気ガスが車内や建物内などに充満して，ガス中毒になるおそれがあります。
- やむを得ないときは，換気を十分に行ってください。

AAA029022

フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
  そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。

AAA027334

お子さまを乗せるときは

J00200301385

お子さまは後席に座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
  - 必ずシートベルトを着用する
  - シートをできるだけ後方に下げる
  - シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
- お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，SRS エアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003226

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003239

- リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。

お子さまにはチャイルドシートを使用する

● シートベルトを着けたとき，肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
→「チャイルドシート」P. 5-15
通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

● 6 才未満のお子さまは，チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

● 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまの安全のための装備

● お子さまの安全のため，つぎのような装備があります。
使い方を一度お読みになって，お子さまの安全にお役立てください。

◆ ISO FIX*対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカー

* ISO（国際標準化機構）規格のチャイルドシート固定方式。

● 2006年10月1日施行の保安基準(国連の安全基準に準拠）に適合した ISO FIX 対応チャイルドシートを取り付けるための装備です。
この固定専用バーおよびテザーアンカーを使用するときは，チャイルドシートを車両のシートベルトで固定する必要はありません。
→「ISO FIX対応チャイルドシート」P. 5-16
→「ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方」P. 5-20

◆ セーフティー機構付パワーウインドウ

● 万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にドアガラスが少し下がります。
→「セーフティー機構」P. 4-35

◆ ロックスイッチ

● ロックスイッチを ON にすると，助手席，後席のパワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
→「ロックスイッチ」P. 4-35

◆ チャイルドプロテクション

● ドアにあるレバーを施錠側にしておくと，後席ドアが車内から開けられなくなります。
→「チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）」P. 4-22

ドア，ウインドウ，シートの操作は大人が行う

● 手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。
● お子さまが誤って操作しないよう，パワーウインドウにはロックスイッチをお使いください。

窓から手や顔を出させない

● 窓から手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせない

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

AGA002982

車から離れるときはキーを抜いてお子さまも一緒に

- お子さまだけを車内に残さないでください。
  炎天下での車内は高温となり，熱中症になるおそれがあります。
- キーを差したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，パワーウインドウなど電装品の誤った操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。

AAA003428

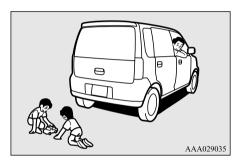
お子さまを荷室で遊ばせない

- 荷室は人が乗る構造になっておりません。
  お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。
  万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200400510

発進するときは

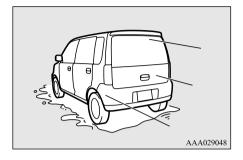
- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。

同乗者はシートを倒して寝ころばない

- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
  シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，重大な傷害を受けるおそれがあります。

走行中はエンジンを止めない

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

2

急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

- 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

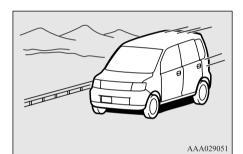
雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200264

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
- タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは…

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

J00202300571

- ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。

AAA029051

エンジンブレーキとは…

- 走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで，低速ギヤほどよく効きます。
  3 速オートマチック車はセレクターレバーを❷または🅛，4速オートマチック車はセレクターレバーを❸または❷，マニュアル車はシフトレバーを❸，❷または❶に入れてください。

ベーパロックとは…

- ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは…

- ブレーキパッドまたは，ブレーキライニングの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400019

- ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
  ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

クラッチペダルに足をのせたまま走行しない

J00202500023

- クラッチペダルに足をのせたまま走行したり，必要以上に長い時間半クラッチ状態を続けないでください。
  クラッチが早く摩耗したり，過熱して，思わぬ事故につながるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600011

- スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
  タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  →「タイヤがスリップして発進できない」P. 13-7

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700139

● 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00202800273

● 段差などを通過するときは，できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合，車体，バンパー，マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
• 駐車場の出入口
• 路肩や車止めのある場所
• 勾配の急な場所
• わだちのある道路

走行中に異常に気づいたら

J00200500667

万一，走行中にエンストしたときは

● 走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの方法で車を安全な場所に止めてください。
- ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが非常に悪くなります。
通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
ブレーキペダルから足を離し，再び踏み直すと，ブレーキの効きがさらに悪くなります。
- 万一，スピードが落ちないときは，駐車ブレーキを慎重にかけてください。
このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けてください。
- パワーステアリング装置が働かなくなることがあり，その場合，ハンドルが非常に重くなりますので，通常よりハンドルを強く操作してください。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。

● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときは

● 警告灯が点灯または点滅したときは，安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 13-2
点灯または点滅したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

● 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

オートマチック車の取り扱い

J00200600411

オートマチック車の特性

2

クリープ現象とは…

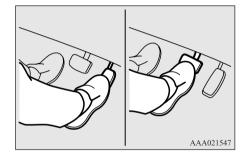
- セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車特有の現象。

キックダウンとは…

- 走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，自動的に低速ギヤに切り換わり急加速ができます。これをキックダウンといいます。

ブレーキペダルは右足で

- 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

AAA021534

エンジンをかける前に

J00201100439

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

AAA021547

- セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認してください。

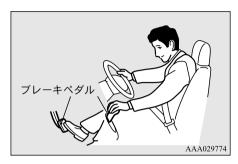
AAA029787

エンジンをかけるときは

J00201200430

● ブレーキペダルを右足で踏んだまま エンジンをかけます。
→「エンジンのかけ方」P. 7-8

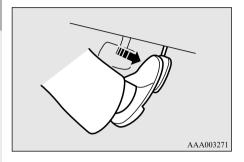
エンジン始動後

J00201300053

● エンジン始動直後は，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

セレクターレバーを操作するときは

J00201400256

● ブレーキペダルを右足で踏んだまま セレクターレバーを操作します。

● アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。
急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。
また，トランスミッションの故障の原因になります。

● Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。

発進するときは

J00201500114

- 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。

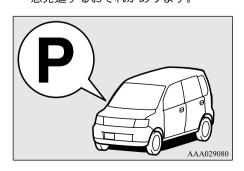
AAA003271

走行中は

J00201600304

- 走行中は，セレクターレバーを Ⓝ に入れないでください。
  エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また，誤って Ⓟ，Ⓡ に入れてしまった場合，トランスミッションの故障の原因になります。
- 高速走行中に3速オートマチック車はセレクターレバーを Ⓛ，4速オートマチック車はセレクターレバーを ❷ に入れないでください。
  急激なエンジンブレーキがかかり，思わぬ事故の原因になります。

停車中は

J00201700015

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- 停車中は，むやみに空ぶかしをしないでください。
  万一，セレクターレバーが Ⓟ，Ⓝ 以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00201800348

- 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを Ⓟ に入れます。
- 車が完全に止まらないうちに Ⓟ に入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 車から離れるときは，必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーが Ⓟ，Ⓝ 以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

AAA029080

その他に気をつけること

J00201900118

● 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

● 少しだけ後退したときなどは，セレクターレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。

● 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。

● 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

駐停車するときは

J00200701044

2

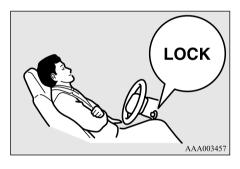
燃えやすいものの近くには車を止めない

● 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。

AAA029093

長時間のアイドリングは避ける

● 長く停車するときは，エンジンを止めてください。
燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

車から離れるときは

● 車が無人で動き出したり，盗難にあうおそれがありますので，車から離れるときは必ずつぎのことをお守りください。
- 駐車ブレーキをかける。
- マニュアル車はシフトレバーを❶または🅡に，オートマチック車はセレクターレバーを🅟に入れる。
- エンジンを止める。
- キーを抜き，ドアを施錠する。

また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

● エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

● 排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
● 無意識にシフトレバーやセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
● 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

AAA003457

坂道に駐車するときは

● 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを❶またはⓇ，オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
● 急な坂道での駐車は避けてください。無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは必ずエンジンを止める

● エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

● パワーステアリング装置が損傷するおそれがあります。

こんなことにも注意

J00200901323

運転中に自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

オーディオの操作は停車してから

- 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
  操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。
  注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

灰皿を使用したあとは

- 灰皿を使用したあとは，マッチやタバコの火は確実に消し，必ず閉めてください。
  万一の場合，火災になるおそれがあります。

アクセサリー取り付け時の注意

- ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
  運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。

AAA003460

- 塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないで下さい。
  吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

タイヤ，ホイールは指定サイズを使用

- タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
  →「タイヤ, ホイールのサイズ」P. 14-8
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。
  お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エンジンをかけたままジャッキアップしない

- エンジンをかけたままジャッキアップすると，ジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

● 法律で認められている改造以外は行わないでください。
また，三菱自動車純正以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

AGA003501

電装品や無線機などの注意

● 電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でないと，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など，思わぬ事故につながるおそれがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00201000249

燃料の取り扱いに注意

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。
  燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルキャップの取り扱いに注意

- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

環境にやさしく快適なドライブのために

3

経済的な運転をするために 3- 2
機能を上手く使うために 3- 3
環境保護のために守っていただきたいこと 3- 3

経済的な運転をするために

J00300200362

無駄な荷物を載せない

J00300500017

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進，加速はスムーズに

J00300600018

- 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

スピードに応じた変速位置に

J00300700019

- 変速位置は，走行速度に応じた正しい位置を選択してください。

速度はできるだけ一定に

J00300800010

- 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

空ぶかしは禁物

J00300900011

- 空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンストップ

J00301000019

- 携帯電話の使用や休憩などで，長い間車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

J00301100010

- タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

J00301200011

- エアコンは燃費に影響します。
  冷やしすぎに注意して適温を心がけてください。

その他に気を付けること

J00301300012

- 車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
- 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，エンジンブレーキを使用してください。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300158

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

J00301400013

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400162

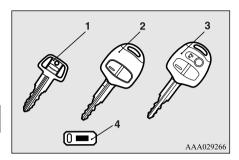
廃棄物を処理するときは

J00301500014

- バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みのバッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと有害なガスが発生します。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  エンジンオイルを交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 冷却水を地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

J00301600015

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

各部の開閉

キー 4- 2
キーレスエントリー 4- 3
運転席ドア限定アンロック機能 4- 6
ドア 4- 8
インナーレール式電動スライドドア 4- 10
センタードアロック 4- 21
チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置） 4- 22
テールゲート 4- 23
セキュリティーアラーム 4- 26
パワーウインドウ 4- 33
エンジンフード（ボンネット） 4- 36
フューエルリッド（燃料補給口） 4- 38

キー

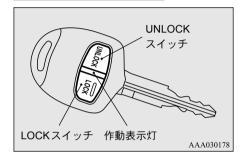
J00400100838

キーが2本ついています。

1- マスターキー
2- マスターキー
(キーレスエントリー用キー)
3- マスターキー
(キーレスエントリーおよびスライドドア用キー)
4- キーナンバープレート

⚠警告

● 航空機内にキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。
かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

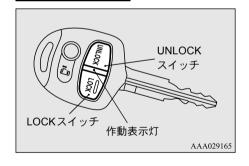
アドバイス

● キーレスエントリー機能付きのキーは，信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
  - ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
  - 分解，改造をしない
  - キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - 水にぬらさない
  - 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
  - オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
  - 超音波洗浄器などで洗浄しない

● 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。また，キーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。

● セキュリティーアラームを「作動する」に設定したときは，つぎの点にご注意ください。
→「セキュリティーアラーム」P. 4-26
  - セキュリティーアラームをシステム作動可能状態にしているときは，キーやドアのロックノブを使って解錠した後ドアを開けると警報が作動します。
  - セキュリティーアラームを「作動する」に設定していても，キーレスエントリー機能を使わないで施錠した場合はシステム準備状態になりません。

● お車によりキーの組み合わせは異なります。

キーレスエントリー

J00400300999

リモコンスイッチですべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートの施錠・解錠，およびドアミラーやパワーウインドウを操作することができます。
また，スライドドア付き車は，スライドドアを開閉することもできます。

除く，スライドドア付き車

スライドドア付き車

ドア（含む，スライドドア）およびテールゲートの施錠・解錠

J00405700145

LOCKスイッチを押すとすべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30 秒以内にドア（含む，スライドドア）またはテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- 運転席ドア限定アンロック機能を使って，UNLOCKスイッチで解錠するドアを運転席のみに限定することができます。
この機能を使いたいときは「運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた」をお読みください。→P. 4-6
- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-26
- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，フロントルーム＆マップランプおよびルームランプの点滅・点灯はフロントルーム＆マップランプおよびルームランプのスイッチが中間 (●) の位置にあるときに限られます。

施錠時：フロントルーム＆マップランプおよびルームランプと非常点滅灯が1回点滅

解錠時：フロントルーム＆マップランプおよびルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- ドア（含む，スライドドア）およびテールゲートが完全に閉められていないときは作動確認はできません。
- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみまたは解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

スライドドアの開閉

J00414200032

スライドドア付き車

電動スライドドアスイッチを押してスライドドアを開閉することができます。
→「インナーレール式電動スライドドア：キーレスエントリーを使って開閉するときは」P. 4-16

ドアミラーの格納・復帰

J00406600239

LOCK スイッチを押して施錠した後，約 30 秒以内にLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。
UNLOCK スイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

パワーウインドウの閉じ方

J00406700201

LOCK スイッチを押して施錠した後，約 30 秒以内にLOCKスイッチを再度約1秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときは LOCK または UNLOCKスイッチを押します。

アドバイス

- リモコンスイッチによるつぎの操作を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - パワーウインドウの「閉じる」操作をできなくする
  - パワーウインドウの「開ける」機能を追加する
  - ドアミラーの格納・復帰をドアの施錠・解錠と連動させる
- リモコンスイッチは車から約 1m 以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - エンジンスイッチにキーが差してあるとき
  - ドア（含む，スライドドア），テールゲートが開いている状態でLOCKスイッチを押したとき，または半ドアで LOCK スイッチを押したとき

アドバイス

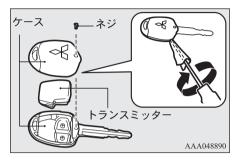
- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大4個まで作ることができます。
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-5

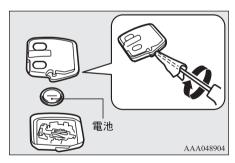
電池交換のしかた

J00415100269

⚠警告

- **電池および取り外した部品は，誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。**

アドバイス

- 電池交換をする際は，キーを破損するおそれがあるため，三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
- キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部の金属部分や回路に触れないでください。また水やゴミを付着させないでください。
- 電池は三菱自動車販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR1616

1. 電池交換をする前に部屋のドアノブなどの金属部分に触れて，身体の静電気を除去してください。
2. 三菱マークを上にしてネジを取り外します。
   先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを外し，トランスミッターを取り出します。

3. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでトランスミッターを開きます。
   新しい電池は－極を上にして取り付けます。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

4

運転席ドア限定アンロック機能

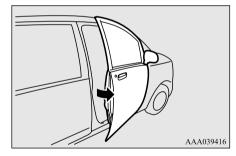
J00414600010

運転席以外のドアからの不正侵入を防止するため，キーレスエントリーのUNLOCKスイッチで解錠するドアを運転席のみに限定することができます。
この機能をありにした場合，UNLOCKスイッチを続けて2回押すことにより，すべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートを解錠することが可能です。

工場出荷時は，すべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートが解錠する設定になっています。
設定を変更するときは「運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた」の手順にしたがって操作してください。
→P. 4-6

アドバイス

- キーレスエントリーのUNLOCKスイッチ以外（キーまたは運転席ドア内側のロックノブ）を使って解錠すると，すべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートが解錠します。
→「センタードアロック」P. 4-21

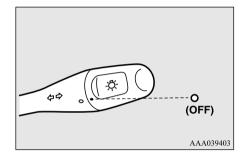
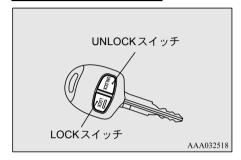
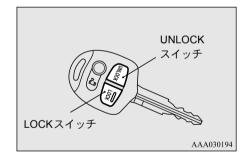
4

運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた

J00414700011

UNLOCKスイッチを押す回数により解錠するドアの設定を変更することができます。つぎの手順にしたがって操作してください。

1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチをOFF位置にして，運転席ドアを開いたままにします。

AAA039403

AAA039416

3. LOCKスイッチを押して保持し続けます。
4. 約4秒経過後に，UNLOCKスイッチを1回押します。
5. LOCKスイッチを離します。
(3.～5.の操作は10秒以内に行ってください。)

除く，スライドドア付き車

スライドドア付き車

6. 設定状態をブザーの回数によって確認します。

ブザーの回数	運転席ドア限定アンロック機能の設定状態
1回 (機能なし)	UNLOCKスイッチを1回押すとすべてのドア(含む, スライドドア)およびテールゲートを解錠する(工場出荷状態)
2回 (機能あり)	UNLOCKスイッチを1回押すと運転席ドアのみ解錠し, 続けて2回押すとすべてのドア(含む, スライドドア)およびテールゲートを解錠する

やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。

アドバイス

● 運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかたがわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

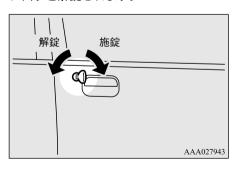
4

ドア

J00400400017

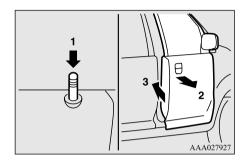
⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
  法的にも義務づけられています。
  お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

⚠注意

- ドアを閉めるときは，確実に閉め，メーター内の半ドア警告灯が消灯していることを確認してください。半ドアでは，走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

車外から施錠・解錠するときは

J00404400709

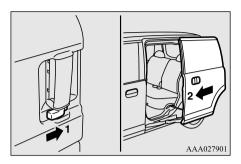
◆ キーを使って施錠・解錠するときは（運転席ドア）

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

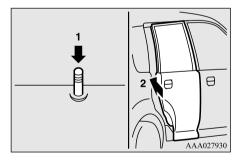
◆ キーを使わずに施錠するときは

フロントドア

1. ドア内側のロックノブを押し，
2. ドアハンドルを引いたまま
3. ドアを閉じます。

アドバイス

- キー抜き忘れ防止のため，キーを持ってドアを閉じてください。

リヤドア（除く，スライドドア）

1. ドア内側のロックノブを押し，
2. ドアを閉じます。

スライドドア（手動操作）

1. ロックノブを前方に押し,
2. ドアを閉じます。

AAA027901

⚠注意

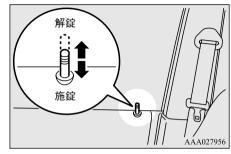
- スライドドアを閉めるときは手をはさまないように気をつけてください。

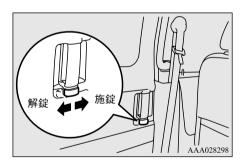
アドバイス

- キーを使わずに自動操作で施錠をすることもできます。
→「インナーレール式電動スライドドア：自動操作」P. 4-14

◆ キー抜き忘れ防止機構

J00404500667

エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警報ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
また，キーを差したまま運転席ドアを開け，ロックノブを押して施錠をしようとしても施錠されません。

車内から施錠・解錠するときは

J00404600828

除く，スライドドア

ロックノブを押すと施錠し，引き上げると解錠します。

AAA027956

スライドドア

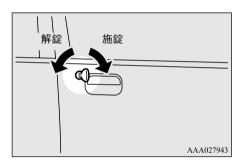
ロックノブを車両前方へ押すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。

AAA028298

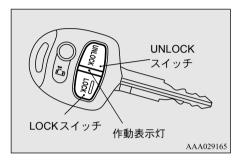
アドバイス

- 運転席ドアのキーまたはロックノブの操作で運転席とすべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートを施錠・解錠することができます。
→「センタードアロック」P. 4-21
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

インナーレール式電動スライドドア

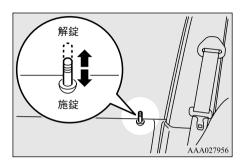
タイプ別装備

J00409000074

スライドドアの施錠・解錠

J00409900073

◆ キーを使って施錠・解錠するときは

運転席ドアのキーを車両前方に回すとスライドドア（含む，すべてのドア）およびテールゲートが施錠し，車両後方に回すとスライドドア（含む，すべてのドア）およびテールゲートが解錠します。

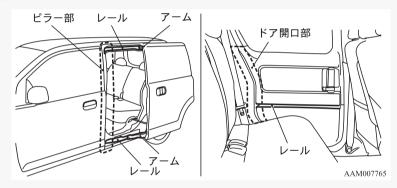
◆ キーレスエントリーを使って施錠・解錠するときは

LOCKスイッチを押すとスライドドア（含む，すべてのドア）およびテールゲートが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとスライドドア（含む，すべてのドア）およびテールゲートが解錠します。

アドバイス

- 運転席ドア限定アンロック機能を設定ありにしているときは，UNLOCKスイッチを続けて 2 回押してスライドドアを解錠してください。
  →「運転席ドア限定アンロック機能」P. 4-6
- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。

◆ ロックノブを使って施錠・解錠するときは

運転席ドア内側のロックノブを押すとスライドドア（含む，すべてのドア）およびテールゲートが施錠し，引き上げるとスライドドア（含む，すべてのドア）およびテールゲートが解錠します。

スライドドアの開閉

J00410100062

⚠警告

● 安全のためスライドドアの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
また，車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手，足，首などをはさむおそれがあります。

● スライドドアを開閉するときは，つぎのことをお守りください。
スライドドアに手，足，首などをはさみ重大な傷害を受けるおそれがあります。
- スライドドア周辺の安全を十分確認してから操作してください。
- 車内に乗っている人の身体がスライドドアに触れたまま操作しないでください。
- 手動操作をするときは，車外または車内のドアハンドルをしっかり持って開閉してください。
ドア本体を持ったり，車体に手をかけて開閉したりしないでください。
- スライドドア本体，レール，アーム，ドア開口部およびピラー部に手や足などをかけないでください。

- スライドドアは全開位置まで開けると固定されます。
開けるときは，必ず全開位置まで開けて確実に固定してください。
固定されていないとスライドドアが急に開閉するおそれがあります。
- 坂道などでスライドドアを開けたままにしないでください。
スライドドアが急に開閉するおそれがあります。

● 走行する前にスライドドアが確実に閉まっていることを確認してください。
半ドアのときは，メーター内の半ドア警告灯が点灯します。確実に閉まっていないと，走行中にスライドドアが開いて乗員が車外に放り出されるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

4

⚠警告

- スライドドアを閉めるときは, お子さまがドア開口部に手や足をかけていないか必ず確認してください。特にベビーシートやチャイルドシートを装着されるときは, お子さまがドア開口部へ無意識に手や足をかけるおそれがありますので, 右側シートへの装着をおすすめします。

⚠注意

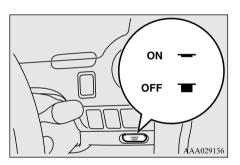
- スライドドアを閉めるときは, レール付近およびストッパー付近に異物がないことを確認してください。
  異物が入るとスライドドアが正常に閉まらなくなるおそれがあります。
  また, ストッパーが正常に作動せず, フューエルリッドとスライドドアが干渉するおそれがあります。
  →「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-38

4

自動操作

J00409300051

運転席インストルメントパネル右下にあるパワースイッチ(POWER DOOR)がONで，作動条件（P. 4-15 に記載）がそろったときに，キーレスエントリー，電動スライドドアスイッチ，またはドアハンドルを使ってスライドドアを開閉することができます。

→「キーレスエントリーを使って開閉するときは」P. 4-16
→「電動スライドドアスイッチ，後席電動スライドドアスイッチを使って開閉するときは」P. 4-16
→「スライドドアハンドルを使って開閉するときは」P. 4-17

⚠警告

- スライドドア付近で作業するときは，パワースイッチ (POWER DOOR) をOFF にしておいてください。
  ONのままだと，誤ってキーレスエントリーや電動スライドドアスイッチを押したり，ドアハンドルを操作するなどお子さまがいたずらをして，手や首などをはさむおそれがあります。
- 開閉作動中にパワースイッチ (POWER DOOR)をOFF にしたときは，作動が停止して手動操作に切り換わります。
  このとき，車両の傾きによってはスライドドアが急に開閉することがあります。

⚠注意

- 開閉作動中にスライドドアに無理な力をかけないでください。故障の原因となります。
- 開閉作動中にエンジンを始動しないでください。急開閉防止機構が働きスライドドアが正常に作動しないことがあります。

アドバイス

- つぎのようなときは，スライドドアが正常に作動しないことがあります。
  • 坂道に駐車しているとき
  • バッテリー電圧が低いとき
- 開閉作動を交互に連続操作すると保護回路が働いて手動操作に切り換わるときがあります。
- 開閉作動中や全閉直後にスライドドアのハンドルを操作するとスライドドアが作動している方向と反対方向に作動します。
- スライドドアを開けている途中で車両が動き始めると，警報ブザーが鳴り続け，スライドドアが開いていることを知らせ，スライドドアは停止します。
  スライドドアを閉めるときは，車両を停止させ，スライドドアを一旦全開状態にしてから閉めてください。
- スライドドアを開けている状態でバッテリーやヒューズを交換した場合は，自動では閉まらなくなります。その場合は，手動でスライドドアを閉じてください。
  これにより，元通りに自動操作ができるようになります。

◆ 作動条件

J00410000087

スライドドアはつぎの条件がそろったときに自動で開閉することができます。
なお，作動条件を満たさない場合は警報ブザーが4回鳴り，自動操作できないことを知らせます。

開けるとき

- パワースイッチ (POWER DOOR) がONのとき
- セレクターレバーがⓅに入っている，車が止まっていてブレーキペダルを踏んでいる，または駐車ブレーキをかけているとき
- スライドドアが全閉のとき
- 電動スライドドアのロックノブが解錠状態のとき
- チャイルドプロテクションのレバーが解錠状態のとき
- フューエルリッド（燃料補給口）が閉じているとき
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-38

アドバイス

- チャイルドプロテクションのレバーが施錠状態のときは，車内のドアハンドルおよび後席電動スライドドアスイッチを使って自動で開けることはできません。
→「チャイルドプロテクション（スライドドア安全施錠装置）」P. 4-22

閉めるとき

- パワースイッチ (POWER DOOR) がONのとき
- セレクターレバーがⓅに入っている，車が止まっていてブレーキペダルを踏んでいる，または駐車ブレーキをかけているとき
- スライドドアが全開のとき
- 人や荷物などがタッチセンサーに触れていないとき
- フューエルリッド（燃料補給口）が閉じているとき
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-38

⚠警告

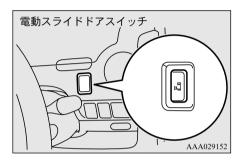
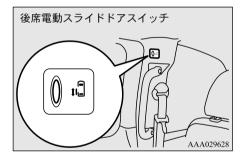
- 自動開閉中に作動条件を満たさなくなったときも警報ブザーが 4 回鳴りスライドドアがその場で停止して手動操作に切り換わることがあります。
このとき車両の傾きによってはスライドドアが急に開閉するおそれがあります。

◆ キーレスエントリーを使って開閉するときは

J00409600038

ドアおよびスライドドアを解錠した後，電動スライドドアスイッチを押して，スライドドアを開閉することができます。

AAA029149

スライドドアが全閉状態のとき，電動スライドドアスイッチを約2秒以内に2回押すと警報ブザーが1回鳴り，全開位置までスライドドアが開きます。
スライドドアが全開状態のとき，電動スライドドアスイッチを約2秒以内に2回押すと警報ブザーが断続的に鳴り続け，全閉位置までスライドドアが閉じます。
開閉作動中，電動スライドドアスイッチを1回押すと警報ブザーが1回鳴り，スライドドアが作動している方向と反対方向に作動します。

アドバイス

- 3回以上続けて電動スライドドアスイッチを押すと，正常に開閉作動しないことがあります。
  このようなときは，しばらくしてから再度電動スライドドアスイッチを2回押してください。

4

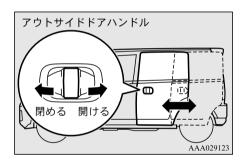
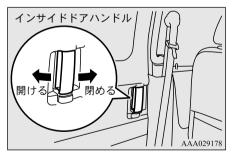
◆ 電動スライドドアスイッチ，後席電動スライドドアスイッチを使って開閉するときは

J00409400049

運転席インストルメントパネル右にある電動スライドドアスイッチや助手席側センターピラー上部にある後席電動スライドドアスイッチを押してスライドドアを開閉することができます。

AAA029152

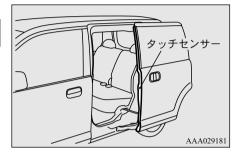
AAA029628

スライドドアが全閉状態のときに，電動スライドドアスイッチを約1秒押すと警報ブザーが1回鳴り，全開位置までスライドドアが開きます。
スライドドアが全開状態のときに，電動スライドドアスイッチを約1秒押すと警報ブザーが断続的に鳴り続け，全閉位置までスライドドアが閉まります。
開閉作動中，電動スライドドアスイッチを押すと警報ブザーが1回鳴り，スライドドアが作動している方向と反対方向に作動します。

◆ スライドドアハンドルを使って開閉するときは

J00409500095

車外または車内のドアハンドルの操作でスライドドアを開閉することができます。
スライドドアが全閉状態のとき，ドアハンドルを車両後方に操作し警報ブザーが鳴る位置までドアを車両後方に引くと，全開位置までスライドドアが自動で開きます。
スライドドアが全開状態のとき，ドアハンドルを操作すると警報ブザーが断続的に鳴り続け，全閉位置までスライドドアが閉まります。

開閉作動中，ドアハンドルを操作すると警報ブザーが 1 回鳴り，スライドドアが作動している方向と反対方向に作動します。

⚠警告

- スライドドアが開閉作動しているときは，ドアハンドルを車両前方または後方のどちらに動かしても，作動している方向と反対方向にスライドドアが動きます。
  手，足，首または物などをはさまないように注意してください。

アドバイス

- スライドドアが全開位置のときは，車内のドアハンドルを開ける方向に操作しても，スライドドアが全閉位置まで閉まります。

◆ セーフティー機構

J00409700097

万一，スライドドアの自動開閉中に人や物などをはさんだときや，スライドドアの前端部にあるタッチセンサーに当たったときは, 安全のため警報ブザーが1回鳴り，自動的にスライドドアが作動している方向と反対方向に作動します。

⚠警告

- はさまれる物の形状や，はさまれ方によってはセーフティー機構が働かないことがあります。手，足，首または物などをはさまないように注意してください。
- スライドドアを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。手，足，首または物などをはさまないように注意してください。

⚠注意

- 連続してセーフティー機構が働いた場合は，スライドドアがその場で停止し手動操作に切り換わることがあります。このとき，スライドドアの位置によっては急に開閉することがありますので注意してください。
  なお，スライドドアは，一度全開または全閉すれば元通りに自動操作ができるようになります。

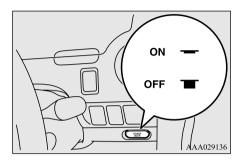
アドバイス

- 環境や使用条件により，人や物などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 人が乗り降りするときや荷物を出し入れするときなどは，タッチセンサーを傷つけないように注意してください。タッチセンサーが切断されると自動で開閉することができなくなります。
  また，自動でスライドドアを開閉しているときにタッチセンサーが断線すると，スライドドアは直ちに停止します。

◆ 急開閉防止機構

J00409800030

坂道などでスライドドアを自動で開閉しているときにスライドドアが急に開閉する可能性があるときは小刻みに止まりながら動き，急にスライドドアが動くことを防止します。

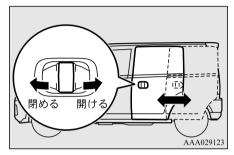
⚠警告

- パワースイッチ (POWER DOOR) をOFF にしたときは，急開閉防止機構が働きません。
  このとき車両の傾きによってはスライドドアが急に開閉することがあります。手，足，首などをはさまないように注意してください。

手動操作

J00409100059

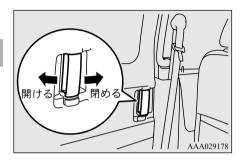
運転席インストルメントパネル右下にあるパワースイッチ (POWER DOOR) がOFF のときは，手動でスライドドアを操作することができます。

⚠警告

- パワースイッチ (POWER DOOR) がOFF のときは，急開閉防止機構が働きません。
  このとき車両の傾きによってはスライドドアが急に開閉することがあります。手，足，首などをはさまないように注意してください。

⚠注意

- パワースイッチ (POWER DOOR) がOFF でも，スライドドアを半ドアの位置まで閉めるとスライドドアイージークローザーが作動し，自動的に全閉になります。手や指などをはさまないようにしてください。

◆ 車外から開閉するときは

開けるときは，アウトサイドドアハンドルを車両後方に操作しながらスライドドアを開けます。
閉めるときは，アウトサイドドアハンドルを車両前方に操作しながらスライドドアを閉めます。

◆ 車内から開閉するときは

開けるときは，インサイドドアハンドルを車両後方に操作しながらスライドドアを開けます。
閉めるときは，インサイドドアハンドルを車両前方に操作しながらスライドドアを閉めます。

アドバイス

- チャイルドプロテクションロックノブが施錠状態になっていると，車内のドアハンドルを使ってスライドドアを開けることができません。
→「チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）」P. 4-22
- スライドドアを半ドアの位置まで閉めると，スライドドアイージークローザーが作動し自動的に全閉になります。
→「スライドドアイージークローザー」P. 4-20

スライドドアイージークローザー

J00409200034

スライドドアイージークローザーはスライドドアを閉めるのを補助する装置です。スライドドアを半ドアの位置まで閉めると自動的にスライドドアが閉まります。

⚠警告

- 半ドア位置から自動的にスライドドアが閉まるため，手や指などをはさまないように十分注意してください。スライドドアイージークローザー作動中に手や指などをはさみそうになったときは，スライドドアのドアハンドルを引いてください。

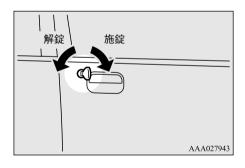
⚠注意

- スライドドア内側のラッチに触れないでください。スライドドアイージークローザーが作動して指などをはさむおそれがあります。

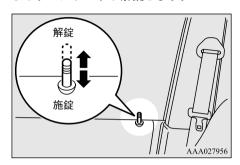
アドバイス

- ドアハンドルを開方向に操作したままドアを閉めると，スライドドアイージークローザーが作動しないことがあります。
- スライドドアイージークローザーを連続で作動させると保護回路が働いてスライドドアイージークローザーが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

センタードアロック

J00400500467

つぎの操作ですべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートの施錠・解錠ができます。

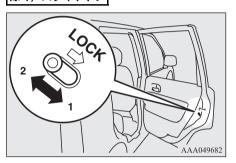
アドバイス

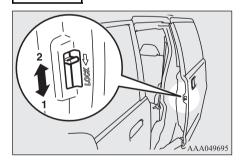
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

キーを使って施錠・解錠するときは

運転席ドアのキーを車両前方に回すとすべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートが施錠し，車両後方に回すとすべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートが解錠します。

ロックノブを使って施錠・解錠するときは

運転席ドア内側のロックノブを押すとすべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートが施錠し，引き上げるとすべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートが解錠します。

4

チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）

J00400600468

レバーを施錠側 (1) にしてドアを閉めると，ドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはドアが開けられなくなります。
お子さまを乗せるときにご使用ください。

除く，スライドドア

スライドドア

1- 施錠
2- 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一のときなど車内からドアを開けたいときは，ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。
- スライドドアはドアガラスを下げることができません。ドアを開けるときは，車外のドアハンドルで開けてください。

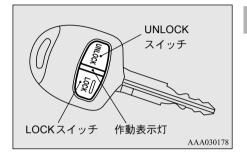
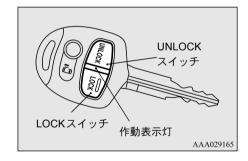
テールゲート

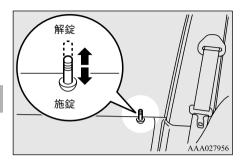
J00401100776

⚠警告

- 走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。
  開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- テールゲートを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。

⚠注意

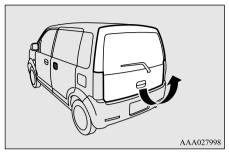
- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
  排気熱によりやけどをするおそれがあります。

車外から施錠・解錠するときは

キーレスエントリーのリモコンスイッチでテールゲートの施錠・解錠をすることができます。
LOCK スイッチを押すと施錠，UNLOCK スイッチを押すと解錠されます。

除く，スライドドア付き車

スライドドア付き車

アドバイス

- 運転席ドア限定アンロック機能を設定ありにしているときは，UNLOCKスイッチを続けて 2 回押してテールゲートを解錠してください。
  →「運転席ドア限定アンロック機能」P. 4-6
- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。

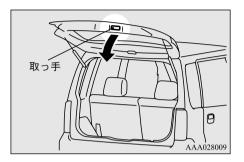
車内から施錠・解錠するときは

運転席のロックノブを押すと施錠，引き上げると解錠されます。

アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

4

開けるときは

解錠後，ハンドルを引いて持ち上げます。

⚠注意

- テールゲートを開けるときは，まわりに人がいないことを確認してください。

閉めるときは

テールゲートの取っ手に手をかけてテールゲートを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してテールゲートを軽く押しつけます。

⚠注意

- テールゲートの取っ手に手をかけたまま直接テールゲートを閉めないでください。手や腕をはさみ，けがをするおそれがあります。
- テールゲートを閉じた後は，必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。

損傷や作動不良を防止するため，つぎのことをお守りください。
- ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

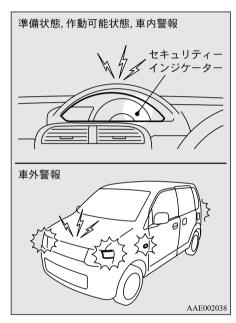
4

セキュリティーアラーム

J00401200692

セキュリティーアラームは，車両内への不正侵入防止のため，キーレスエントリーで解錠せずにドア（含む，スライドドア）やテールゲートを開けたとき，またはエンジンフードを開けたときに警報を作動させ，周囲に異常を知らせるシステムです。キーレスエントリー以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）ドア（含む，スライドドア）およびテールゲートを施錠したときは，このシステムは働きません。

4

工場出荷時は, セキュリティーアラームが「作動しない」に設定されています。設定を変更するときは「システム作動の設定変更のしかた」の手順にしたがって操作してください。→P. 4-28

アドバイス

- 三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，セキュリティーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。

システムの基本状態

セキュリティーアラームには準備状態，作動可能状態，警報作動，作動解除の4つの状態があります。
それぞれの状態に応じて，ブザー，セキュリティーインジケーター，非常点滅灯またはホーンがつぎの通り作動します。

◆ 準備状態：約20秒間

（ブザーが断続的に鳴り，セキュリティーインジケーターが点滅する）

キーレスエントリーの LOCK スイッチを押してすべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートを施錠した後，システム作動可能状態になるまでの準備時間です。
車内に荷物を忘れたり，ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて，一時的にキーレスエントリーを使わずにドア（含む，スライドドア）およびテールゲートを開けたときに警報しないよう，この状態を設定しています。

◆ 作動可能状態

（ブザーは停止し，セキュリティーインジケーターがゆっくりと点滅し続ける）

システム準備状態が過ぎると，システム作動可能状態になります。
このとき，キーレスエントリー以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）解錠し，いずれかのドア（含む，スライドドア），テールゲートまたはエンジンフードを開けると警報が作動し，周囲に異常を知らせます。

◆ 警報作動

車内警報の後，車外警報が作動します。

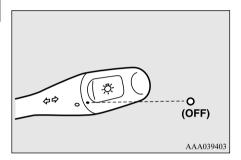
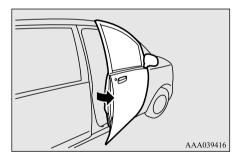
車内警報（約10秒間）：
　ブザーが鳴り，車内に異常を知らせます。
車外警報（約30秒間）：
　非常点滅灯が点滅し，ホーンが鳴り，周囲に異常を知らせます。

→「警報作動」P. 4-31

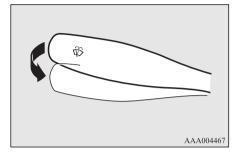
◆ 作動解除

システム準備状態，システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。
また，警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。

→「システム作動の解除のしかた」P. 4-31
→「警報作動の解除のしかた」P. 4-32

アドバイス

- 他の人にお車を貸されるときや，セキュリティーアラームの作動について知らない人が運転されるときは，セキュリティーアラームについて十分ご説明いただくか，セキュリティーアラームを「作動しない」に設定してください。セキュリティーアラームについて知らない人が誤って解錠すると，警報が作動し，周囲への迷惑となります。

システム作動の設定変更のしかた

J00402700809

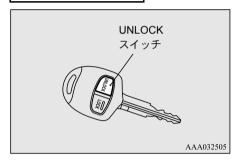
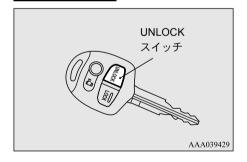
警報作動の設定状態を選択することができます。つぎの手順にしたがって設定を変更してください。

1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチをOFF位置にして，運転席ドアを開いたままにします。

AAA039403

AAA039416

3. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
(エンジンスイッチが LOCK にあるため，ウォッシャー液は出ません。)

AAA004467

4. 約 10 秒経過するとブザーが鳴りますが，フロントワイパー・ウォッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
(フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離すと，設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。)

5. ブザーが鳴り止んだら，フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたままキーレスエントリーのUNLOCK スイッチを押してセキュリティーアラームの設定状態を選択します。
   設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり，ブザーの回数によって確認できます。

除く，スライドドア付き車

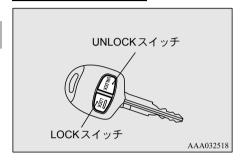
AAA032505

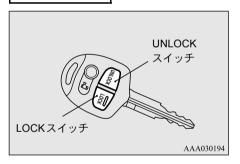
スライドドア付き車

AAA039429

ブザーの回数	セキュリティーアラームの設定状態
1回	警報作動しない
3回	ホーンと非常点滅灯で警報作動する

6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
   - フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離す
   - 運転席ドアを閉じる
   - エンジンスイッチにキーを差す
   - ライトスイッチを OFF 位置以外にする
   - 設定を変更しないまま約 30 秒経過する

アドバイス

- セキュリティーアラームの設定変更がわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定した場合も，万一のため，車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

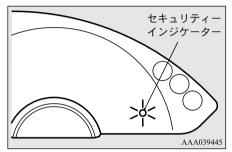
システム作動のセットのしかた

J00402800682

あらかじめセキュリティーアラームを「作動する」に設定した後，つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。

除く，スライドドア付き車

AAA032518

スライドドア付き車

AAA030194

1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. 車両から出てすべてのドア（含む，スライドドア），テールゲートおよびエンジンフードを閉じます。
3. キーレスエントリーのLOCKスイッチを押して，すべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートを施錠します。
   キーレスエントリーによる施錠操作で，システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に鳴り，メーター内のセキュリティーインジケーターが点滅します。

AAA039445

アドバイス

- キーレスエントリー以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）すべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートを施錠したときは，システム準備状態になりません。
- エンジンフードが開いているときは，セキュリティーインジケーターが点灯し，システム作動可能状態になりません。
  エンジンフードを閉めるとシステム準備状態になり，約20秒後にシステム作動可能状態になります。

4. 約20秒後，ブザーが止まり，セキュリティーインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。
   システム作動可能状態中は，セキュリティーインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態，またはドアガラスが開いた状態でもセキュリティーアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため，車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。

システム作動の解除のしかた

J00402900540

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに，つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

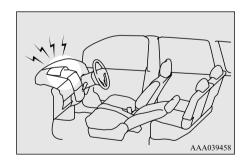
- キーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押す
- エンジンスイッチをONまたはACCにする
- システム準備状態のとき，いずれかのドア（含む，スライドドア），テールゲートを開けるか，エンジンスイッチにキーを差し込む

アドバイス

- システム準備状態のときにエンジンフードを開けるとシステム準備状態が中断し，エンジンフードを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときにバッテリー端子を外すと記憶は消去されます。
- キーレスエントリーのリモコンスイッチは4個まで登録できます。
  登録済みのリモコンスイッチであれば，セットしたリモコンスイッチと別のリモコンスイッチを使ってもシステムを解除することができます。
  リモコンスイッチの追加登録については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- キーレスエントリーの作動距離は約 1 m です。正しい距離でスイッチを押しても施錠，解錠およびセキュリティーアラームのセット，解除ができないときには電池の消耗が考えられます。新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-5

アドバイス

- UNLOCKスイッチを押して解錠しても約 30 秒以内にドア（含む，スライドドア）およびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。
  UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

警報作動

J00403000652

システム作動可能状態のときに，キーレスエントリーの操作で解錠せずに，いずれかのドア（含む，スライドドア），テールゲートまたはエンジンフードを開けるとつぎのように警報作動します。

1. 約 10 秒間ブザーが断続的に鳴ります。（車内警報）

アドバイス

- 作動可能状態中にエンジンフードを開けると車内警報は作動せず，すぐに車外警報が作動します。

4

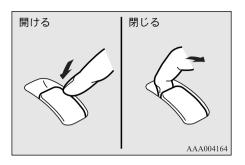
2. 車内警報の後，設定した車外警報が約30秒間作動します。
   非常点滅灯が点滅し，ホーンが断続的に鳴ります。

AAA039461

3. 警報が停止した後もドア（含む，スライドドア），テールゲートまたはエンジンフードを開くと車外警報が再び作動します。

警報作動の解除のしかた

J00403100318

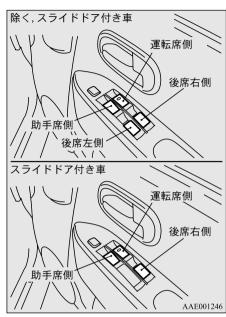
つぎの方法で警報作動を止めることができます。

- キーレスエントリーのいずれかのスイッチを押す
  〔LOCKスイッチを押したとき，すべてのドア（含む，スライドドア）およびテールゲートが閉じていれば施錠し，再びシステム準備状態になります〕
- エンジンスイッチをONまたはACCにする

アドバイス

- 車内警報中にドア（含む，スライドドア）またはテールゲートを閉じても警報作動は解除されません。
- エンジンスイッチを ON にしたときブザーが 4 回鳴り，セキュリティーインジケーターが4回点滅したときは，駐車中に警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。
- バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。
  一時的にバッテリーを外して警報作動しないようにしても，バッテリーを再び接続するとすぐに警報し，周囲に異常を知らせます。

パワーウインドウ

J00401500406

⚠警告

- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
  車を離れるときは必ずキーを抜いて，お子さまも一緒に連れて出てください。キーを差したままだとお子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

アドバイス

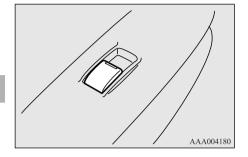
- リモコンスイッチでもパワーウインドウを閉じることができます。
  →「キーレスエントリー」P. 4-3

運転席スイッチ

運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。
スイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを軽く操作します。

助手席，後席スイッチ

エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。

AAA004180

アドバイス

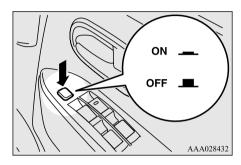
- 後席ドアガラスは全開しません。
- スライドドアはドアガラスを開閉することができません。

タイマー機構

J00405200485

エンジンスイッチを切った後でも約30秒間はドアガラスを開閉することができます。この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約30秒間ドアガラスを開閉できます。ただし，一旦運転席ドアを閉めるとドアガラスの開閉はできなくなります。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - •タイマー時間を調整する
  - •タイマー機能をなくす

ロックスイッチ

J00404300489

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。

助手席，後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。

AAA028432

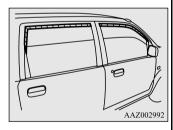
アドバイス

- ロックスイッチが ON でも運転席スイッチでは全席のドアガラスを開閉することができます。
- ロックスイッチが ON のとき，運転席スイッチでも助手席，後席のドアガラスを開閉できないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- スライドドアはドアガラスを開閉することができません。

セーフティー機構

J00403200393

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

警告

- 3 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，セーフティー機構が一旦解除されます。
  万一，手や首をはさんだ場合，重大な事故につながるおそれがあります。

注意

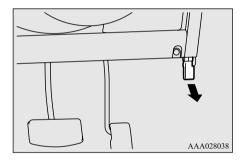
- ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前とリヤドアガラス後端（斜線の範囲）ではセーフティー機構が働かないようになっています。
  指などをはさまないように注意してください。

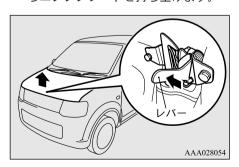
AAZ002992

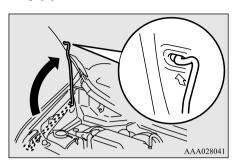
4

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 3 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，セーフティー機構が解除され，ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
  つぎの方法でドアガラスを処置してください。
  ドアガラスが開いているときは，パワーウインドウスイッチを繰り返し引き上げて，ドアガラスを一度全閉します。全閉後，一旦スイッチから手を離し，再度約1秒間スイッチを引き上げてください。これにより，元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

エンジンフード（ボンネット）

J00402100702

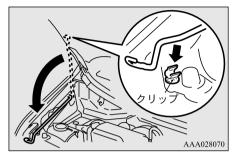
開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

アドバイス

- ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。

3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。

4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

AAA028041

⚠注意

- 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に差し込むと支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。

AAA028070

2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約20cm）から離します。

⚠注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。

アドバイス

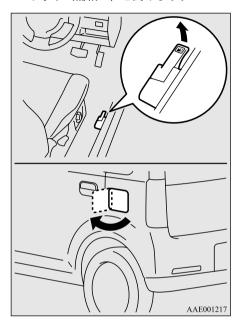
- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけ具合や場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

フューエルリッド（燃料補給口）

J00402300384

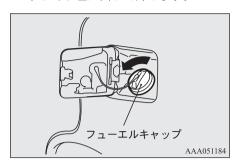
フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

⚠警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

アドバイス

- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
  →「燃料は指定されたものを補給」P. 2-3
  →「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

開けるときは

J00405000643

1. 運転席右下のレバーを引き上げてリッド（補給口）を開けます。

アドバイス

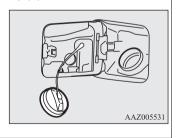
- スライドドアが開いているときは，フューエルリッド（燃料補給口）を開けないでください。スライドドアにフューエルリッド（燃料補給口）が当たり，傷または汚れをつけるおそれがあります。
- フューエルリッド（燃料補給口）が開いているときにスライドドアを開けないでください。
  スライドドアを開けようとすると警報ブザーが4回鳴り，フューエルリッド（燃料補給口）が開いていることを知らせます。

2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。

⚠警告

- 急激にフューエルキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめた場合にシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。

アドバイス

- フューエルキャップのひもをリッド裏側のフックにかけてキャップを固定することができます。

閉めるときは

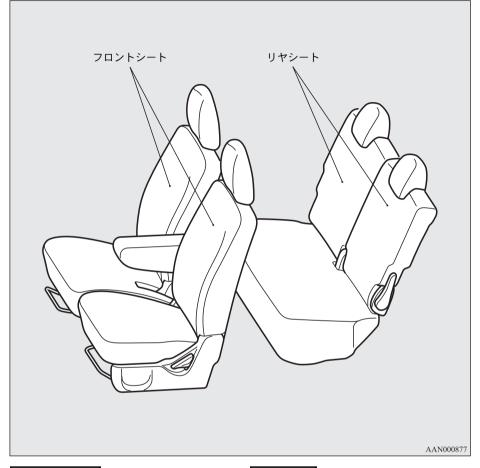
J00405100022

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。

⚠警告

- フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。

2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

4

安全装備

シート
シート 5- 2
シート調整 5- 3
フロントシート 5- 3
リヤシート 5- 6
ヘッドレスト 5- 7
フルフラットシートの作り方 5- 9

シートベルト
シートベルト 5- 10
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト . . . 5- 13

チャイルドシート
チャイルドシート 5- 15

SRSエアバッグ
SRSエアバッグ 5- 23

5

シート

J00509901143

フロントシート

- 前後調整P. 5-4
- 背もたれの角度調整P. 5-4
- 上下調整（運転席）P. 5-4
- アームレスト（ひじ掛け）
  タイプ別装備 P. 5-4
- シートヒーター（運転席）
  タイプ別装備 P. 5-5

リヤシート

- 背もたれの角度調整P. 5-6
- 背もたれの前倒しP. 5-6

シート調整

J00500200247

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- **シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。**
- **シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。**
- **シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。**

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。

フロントシート

J00500300727

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

⚠警告

- **背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

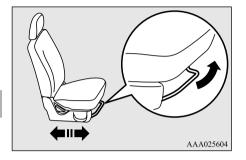
⚠注意

- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

前後調整

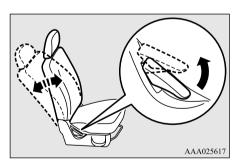
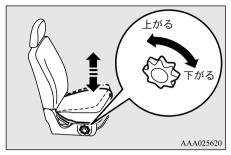
J00500400092

レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

AAA025604

背もたれの角度調整

J00500500279

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

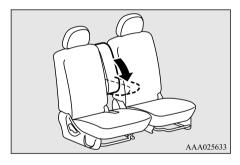
AAA025617

⚠注意

● レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

上下調整（運転席）

J00500600049

ノブを回して調整します。

AAA025620

アームレスト（ひじ掛け）

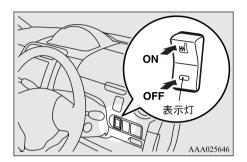
タイプ別装備

J00501000141

手前に倒して使用します。
元に戻すときは，後ろに引き上げます。

AAA025633

アドバイス

● アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

シートヒーター（運転席）

タイプ別装備　J00501300388

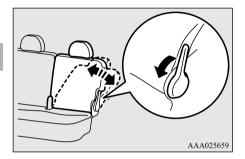
エンジンスイッチが ON のときにスイッチの上側を押すとヒーターが作動し，スイッチ内の表示灯が点灯します。
シートヒーターを切りたいときはスイッチの下側を押します。

⚠注意

- エンジン停止状態での連続使用はバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
  - お年寄，病気の方，身体の不自由な方
  - 皮膚の弱い方
  - 疲労の激しい方
  - ねむけをさそうかぜ薬などを飲んだ方
- 重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷の原因となります。
- 水，ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

- ご使用にならないときはスイッチを OFF にしてください。

5

リヤシート

J00501400015

背もたれの角度調整

J00501600118

レバーを手前に倒したまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されていることを確認します。

AAA025659

アドバイス

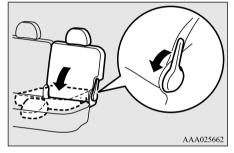
● 背もたれの角度は片側ずつ調整できます。

背もたれの前倒し

J00501700412

背もたれを倒すことにより，大きな荷物を積むことができます。

⚠警告

● リヤシートの背もたれを前倒しした状態で，人を乗せたりお子さまを遊ばせないでください。
急ブレーキをかけたときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

● 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 倒すときは

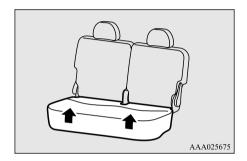
倒したい側のレバーを手前に倒したまま，背もたれを前に倒します。

AAA025662

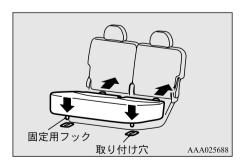
アドバイス

● レバーを誤った方向に操作しないでください。
レバーが損傷し，背もたれの操作ができなくなるおそれがあります。

◆ 戻すときは

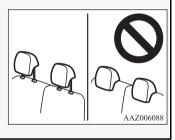
背もたれを確実にロックするまで起こします。
元に戻した後は，背もたれが確実に固定されていることを確認します。

リヤシートクッション

J00502000119

リヤシートのシートクッションは取り外すことができます。シートカバーをつけるときなどにご利用ください。

◆ 取り外すときは

シートクッションの両端を持ち上げて，取り外します。

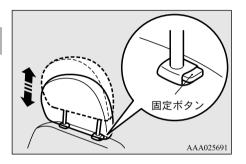
◆ 取り付けるときは

1. シートベルトのバックルをシートクッションの上に出します。
2. シートクッションを後方へいっぱいに押し込みながら，シートクッション下側の固定用フックを左右の取り付け穴にカチッと音がするまで押し込みます。

3. 取り付け後はシートクッションを軽くゆすり，シートクッションが確実に固定されていることを確認します。

ヘッドレスト

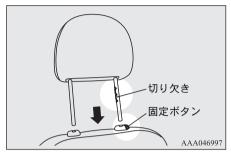
J00503400703

⚠警告

- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
  万一のとき安全確保に役立ちません。
- ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- リヤシートに座る場合は，ヘッドレストを下げた状態で走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ずヘッドレストを固定できる高さまで引き上げてください。

上下調整

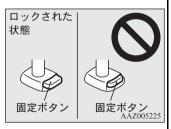
ヘッドレストの中央部ができるだけ耳の高さになるように調整します。
耳の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。

取り外すときは

J00508900080

固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509000293

切り欠きのあるヘッドレストステーが，固定ボタン側になるように取り付け，固定ボタンを押しながら差し込みます。

⚠注意

- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。

- 前後の向きを間違えて取り付けると，ヘッドレストが固定されません。

フルフラットシートの作り方

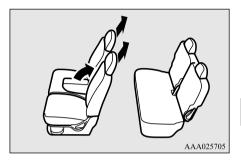
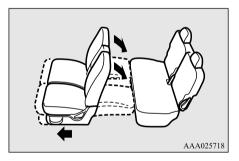
J00504500570

シートを倒して大きな空間を作ることができます。

⚠警告

- フルフラットにした状態で人を乗せて走行しないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，重大な傷害を受けたり，荷物が飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。

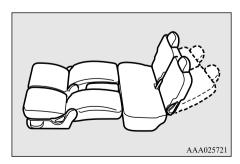
⚠注意

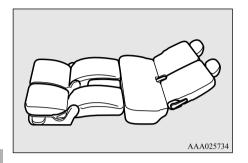
- フルフラットにするときは，必ず車を安全な場所に止めてから行ってください。
- フルフラットにする操作は必ず大人が行ってください。
  お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フルフラットにしたとき，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。
- フルフラットにしたときは，シートの上を歩き回らないでください。
  シートから足を踏み外すと危険です。必ずシートの中央を踏んで，ゆっくり移動してください。

アドバイス

- フルフラットにしたときは，背もたれ上部に飛び乗ったり，強い衝撃を与えないでください。シートが損傷することがあります。

1. フロントシートのヘッドレストを取り外します。アームレスト付き車は，アームレストを引き上げます。
   →「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-8
   →「アームレスト」P. 5-4

2. フロントシートを前方へいっぱいまで移動させ，背もたれを倒します。
   →「前後調整」P. 5-4

3. リヤシートの背もたれを倒します。
   →「背もたれの角度調整」P. 5-6

4. これでフルフラットシートの完成です。
戻すときは逆の手順で行います。

AAA025734

シートベルト

J00505100502

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

AAE000092

⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P. 5-3
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

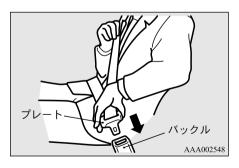
3点式シートベルト

J00505200239

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

● ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

5

◆ 着用するときは

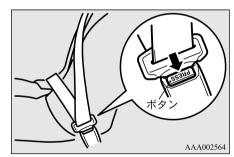
J00507800170

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

● シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

◆ 外すときは

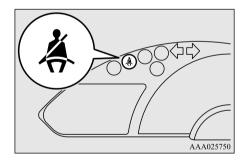
J00507900328

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

⚠警告

● お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

◆ シートベルト警告

J00509700564

運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチをONにすると, 警告灯が点灯し, 約6秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき, エンジンスイッチをONにしてから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・点滅を繰り返し，ブザーが断続的に鳴ります。
警告灯とブザーの警告は約90秒で止まります。
その後，シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと，発進するたびに警告灯とブザーによってシートベルトの着用を促します。また，走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。

AAA025750

プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505700898

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

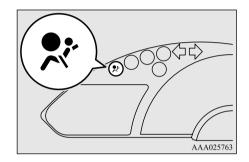
プリテンショナー機構は，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。
衝撃の大きさによっては，SRS エアバッグが作動せずにプリテンショナー機構のみ作動する場合があります。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P. 5-3
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 5-10
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

● 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

● プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
● プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

5

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー警告灯と兼用しています。

⚠警告

● 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
• エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
• 走行中に警告灯が点灯する

フォースリミッター機構

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

チャイルドシート

J00506001101

⚠警告

- シートベルトは大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。
- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
また，前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，必ず前向きのチャイルドシートを，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

⚠注意

- チャイルドシートをリヤシートに取り付ける場合は，チャイルドシートとフロントシートが干渉しないようにフロントシートの位置を調整してください。
- フロントシートを後方へ移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。
お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

ISO FIX 対応*チャイルドシート

J00506100701

チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーが装備された座席専用のチャイルドシートです。専用バーおよびアンカーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。
* この車は2006年10月1日施行の保安基準（国連の安全基準に準拠）に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーを標準装備しています。

◆ 選択の目安

下の表から，着席位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

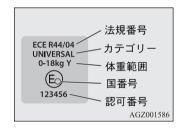
シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表
(ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよび テザーアンカーでの取り付け)

質量グループ（お子さまの体重）		サイズ等級#1	車両ISO FIX位置
			リヤシート左右席
キャリコット		F	X
		G	X
0	10kgまで	E	X
0+	13kgまで	E	IL*1
		D	X
		C	X
I	9～18kg	D	X
		C	X
		B	IUF
		B1	IUF, IL*2
		A	IUF
II	15～25kg		X
III	22～36kg		X

#1: 国連の安全基準 ECE-R16 で定められたチャイルドシートを模擬した器具のサイズを表しています。

⚠注意
● チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取り外すか，高さを調整してください。

記号の説明

- IUF: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）ISO FIX対応の前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- IL: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	ECE NO.
IL*1	MZ525277（チャイルドシート本体） MZ525276（ベースシート）	E1-04301146
IL*2	MZ525280	E1-04301133

アドバイス

- ECE-R44に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。

除く，ISO FIX対応チャイルドシート

J00506200731

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。

◆ 選択の目安

下の表から，着席位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表
(シートベルト使用による取り付け)

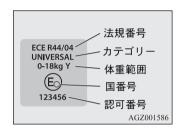
質量グループ（お子さまの体重）		助手席	リヤシート左右席
0	10kgまで	X	U
0+	13kgまで	X	U, L*1
I	9～18kg	UF, L*2	U, L*2
II	15～25kg	UF, L*3	U, L*3
III	22～36kg	UF, L*3	U, L*3

前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける場合は可能な限り助手席を後方へ移動してください。

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取り外すか，高さを調整してください。
- 汎用型カテゴリーのチャイルドシートをリヤシートに取り付ける場合は，リヤシートの背もたれの角度を一番起こした位置から6段後ろの位置に調整してください。

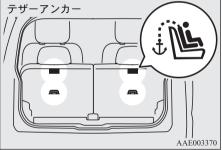
記号の説明

- U: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- UF: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーの前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- L: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	ECE NO.
L*1	MZ525277	E1-04301146
L*2	MZ525280	E1-04301133
L*3	MZ525270	E1-04301169

アドバイス

- ECE-R44 に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。

ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方

J00506300774

固定専用バーはリヤシートクッションと背もたれの間に，テザーアンカーは背もたれの背面に，それぞれ装備されています。

⚠警告

- 固定専用バーおよびテザーアンカーはチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には使用しないでください。

◆ 取り付けるときは

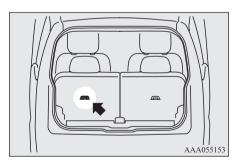
チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。

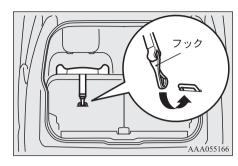
⚠警告

- チャイルドシートを取り付けるときは，固定専用バーおよびテザーアンカー周辺に異物がないこと，シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- リヤシートの背もたれを倒した状態でチャイルドシートを取り付けないでください。
  また，チャイルドシートが取り付けられているときは，シートの調整はしないでください。

1. シートクッションと背もたれのすき間を手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。

2. チャイルドシートを固定専用バーに取り付けます。

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取り外すか，高さを調整してください。
→「ヘッドレスト」P. 5-7

3. シートの背もたれおよびシートクッションと，チャイルドシートとの間にすき間ができないように，シートの背もたれの角度を調整します。

   トップテザー付きチャイルドシートの場合は，手順4から7を行ってください。
   トップテザーが無いチャイルドシートの場合は，手順7を行ってください。
4. チャイルドシートを取り付けた座席のヘッドレストを取り外します。
5. 背もたれの背面にあるテザーアンカーの位置を確認します。

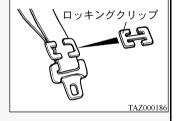
6. テザーベルトのフックをテザーアンカーに掛け，テザーベルトを締めて確実に固定します。

7. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

◆ 取り外すときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り外します。

シートベルトでの取り付け方

J00506500981

チャイルドシートを取り付けるときは，つぎの手順で確実に取り付けてください。

◆ 取り付けるときは

⚠警告

- **チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。**
  チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。

1. チャイルドシートを取り付けたい席に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取り外すか，高さを調整してください。
  →「ヘッドレスト」P. 5-7

3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

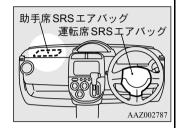
◆ 取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

SRSエアバッグ

J00506600940

SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。
エンジンスイッチがONのときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

- SRSエアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRSエアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車しているとSRSエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠注意

- SRSエアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

アドバイス

- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRSエアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
- SRSエアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので視界を妨げません。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席SRSエアバッグ

J00506700390

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。

AAA002450

⚠警告

- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ000679

- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
  SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席SRSエアバッグ

J00506801079

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。

AAA002463

⚠警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
  また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったり，グローブボックスを開けたまま走行しないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

AAZ004879

⚠警告

- お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - お子さまはリヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
  - シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシートに装着してご使用ください。
  - 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
  - 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
    また，前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
    助手席SRSエアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

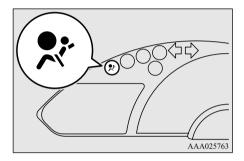
  - 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

  - やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，必ず前向きのチャイルドシートを，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

5

⚠警告

- 助手席同乗者は，シートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00507300797

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー警告灯と兼用しています。

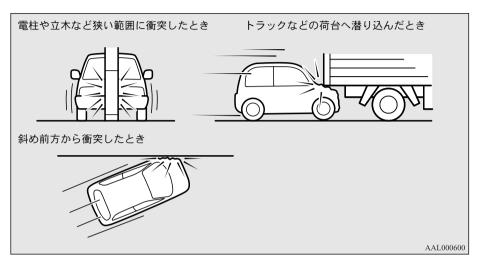
⚠警告

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

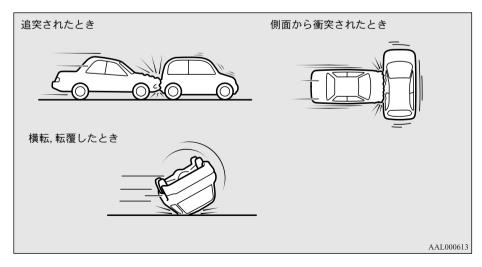
運転席，助手席SRSエアバッグの作動条件

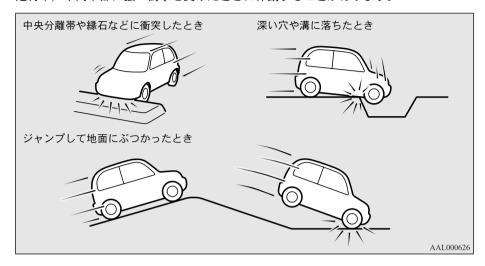
J00506900477

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

5

◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

◆ 作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。

◆ 作動することがあるとき

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

取り扱い上の注意

J00507400509

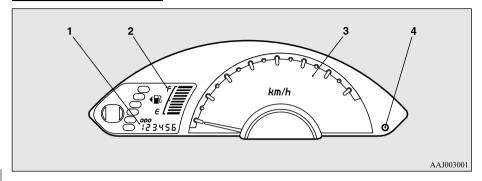
⚠警告

- ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付け，および車両前部の修理をする場合は，SRS エアバッグシステムに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- ステアリングパッドやインストルメントパネル上部など SRS エアバッグ展開部を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。
  SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

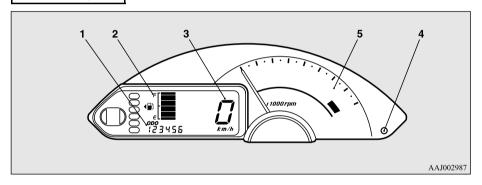
アドバイス

- お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

メーター・スイッチ

メーター

メーター 6- 2
表示灯・警告灯 6- 11
表示灯 6- 13
警告灯 6- 13

スイッチ

ライトスイッチ 6- 15
ヘッドライトレベリング 6- 17
方向指示レバー 6- 19
非常点滅灯スイッチ 6- 19
ワイパー／ウォッシャースイッチ 6- 20
リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ 6- 23
ホーンスイッチ 6- 24

メーター

J00600100481

除く，タコメーター付き車

タコメーター付き車

1- オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）／メーター照度表示／サービスリマインダー →P. 6-3
2- 燃料計→P. 6-9
3- スピードメーター →P. 6-3
4- リセットボタン／メーター照度調整ボタン→P. 6-3
5- タコメーター タイプ別装備 →P. 6-3

スピードメーター

J00600200091

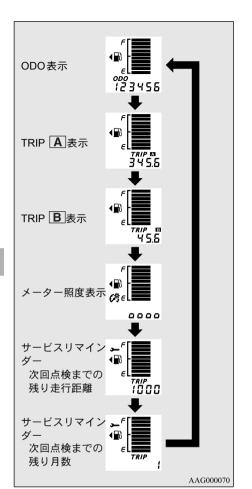
走行速度を示します。

タコメーター

タイプ別装備

J00600300193

毎分のエンジン回転数を示します。

アドバイス

- 指針がレッドゾーン（赤色表示部）に入らないように運転してください。エンジンの寿命が短くなり，破損するおそれがあります。

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）／メーター照度表示／サービスリマインダー

J00600600431

エンジンスイッチがONのとき，ODO（オドメーター）表示，TRIP（トリップメーター）表示，メーター照度表示，またはサービスリマインダーを表示します。
リセットボタンを軽く（約1秒未満）押すたびに表示が切り換わります。
ただし，メーター照度表示画面はライトスイッチを≣Dまたは≣D0≣の位置にしたときのみ表示します。

6

アドバイス

- 新車6ヶ月点検を過ぎると，次回点検までの残り走行距離は表示しません。
- メーター照度表示またはサービスリマインダー表示のとき約10秒間何も操作しないとODO表示画面に戻ります。

◆ オドメーター

走行した総距離をkm単位で表示します。

◆ トリップメーター

2地点間の走行距離をkm単位で表示します。

TRIP A とTRIP B があります。

<例>
TRIP A で自宅を出発してからの距離を測りながら，TRIP B で途中の経由地からの距離を測ることができます。

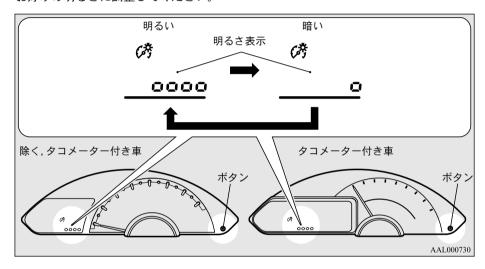
リセットするときは

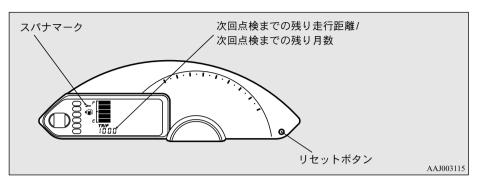
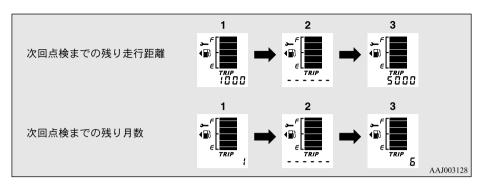
0に戻すにはリセットボタンを約1秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

<例>
TRIP A が表示されていれば TRIP A だけリセットされます。

アドバイス

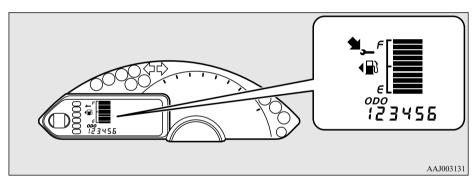
- トリップメーターはA, B共9999.9kmまで計測することができます。
- エンジンスイッチを切った後でもオドメーター・トリップメーターのリセットボタンを押すと約30秒間オドメーターまたはトリップメーターを表示します。
- バッテリー端子を外すと，トリップメーターの A 表示，B 表示とも記憶が消去され，表示が0に戻ります。

◆ メーター照度表示

ライトスイッチが≣Dまたは⊒DŒの位置のときにメーターの明るさを 4 段階の明るさで表示します。
明るさ表示の数が多いほどメーター照明が明るくなります。

メーターの明るさを変えるときは

ボタンを押し続けると明るさ表示が4段階でオートスクロールし, 手を離すと止まります。
お好みの明るさに調整してください。

アドバイス
● エンジンスイッチを切っても, メーターの明るさの状態を記憶しています。

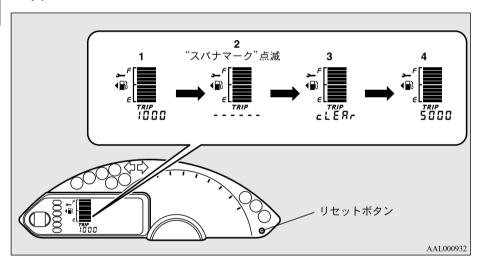
◆ サービスリマインダー

J00611400048

新車1 ヶ月点検(1,000km), 新車6 ヶ月点検(5,000km)とその後の12 ヶ月ごとの定期点検までの残り走行距離または残り月数を表示します。点検時期が近づいたときは, “------”を表示して知らせます。
また, このときエンジンスイッチを OFF から ON にするとスパナマークが数秒間表示されます。

1. 次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。
2. 点検時期が近づいたことを“------”を表示して知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
   こ のときエンジンスイッチを OFF から ON にするとスパナマークが数秒間表示されます。

3. 三菱自動車販売会社で点検を受けると，次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。

アドバイス

- 距離は100km 単位，期間は1ヶ月単位で減少します。
- 新車6ヶ月点検を過ぎると，期間のみを表示します。
- サービスリマインダーの設定を変更することができます。
- バッテリーの端子を取り外した状態で長期間放置したりメーターを交換すると, 残り月数の表示が実際の月数と異なる場合があります。
  このとき，正しい月数に修正することはできません。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リセットするときは

エンジンスイッチが OFF のときに，スパナマーク，“------”表示をリセットすることができます。
リセットすると次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示し，エンジンスイッチをOFF からON にしたときに表示されていたスパナマークは表示されなくなります。

1. リセットボタンを押して，次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示させます。
2. リセットボタンを長く（約2 秒以上）押して“スパナマーク”を点滅表示させます。（点滅中，約10 秒間何も操作しないともとの表示画面に戻ります。）
3. 点滅中にリセットボタンを軽く押すと “------”が“cLEAr ”表示にかわります。
4. その後，次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。

⚠注意

- 日常点検整備と定期点検整備は, お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
  事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

アドバイス

- “------”表示はエンジンスイッチがON のときはリセットできません。
- “------”表示後，一定距離及び一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。
- 誤ってリセットした場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

燃料計

J00600700357

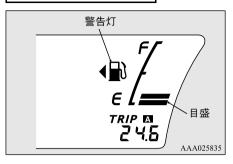
エンジンスイッチがONのとき, 燃料の残量を表示します。

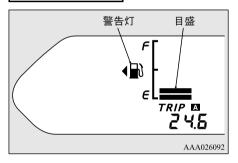
F- 満タンです。（約30L）
E- 燃料を補給してください。

⚠警告

- 燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。

⚠注意

- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告灯が点滅したら早めに燃料を補給してください。

アドバイス

- 坂道やカーブなどは，タンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないときがあります。
- 燃料補給後, エンジンスイッチをONにしてから正しい残量を表示するまでにしばらく時間がかかります。
- エンジンスイッチが ON のまま燃料を補給すると，正しい燃料残量が表示できません。

◆ 燃料残量警告灯

J00605800702

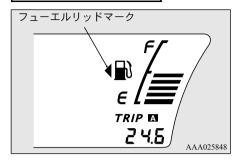
除く，タコメーター付き車

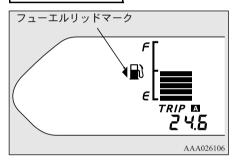
タコメーター付き車

エンジンスイッチがONのとき, 燃料が約7.0L 以下（目盛 2 つ以下）になると，警告灯がゆっくり（1秒間に約1回）点滅します。さらに少なくなると速く（1秒間に約2回）点滅します。

警告灯が点滅したら早めに燃料を補給してください。

→「フューエルリッド（燃料補給口)」P. 4-38

→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

アドバイス

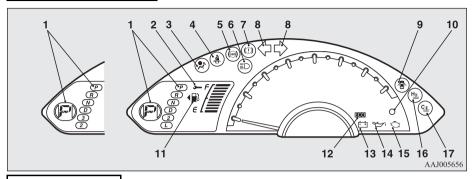
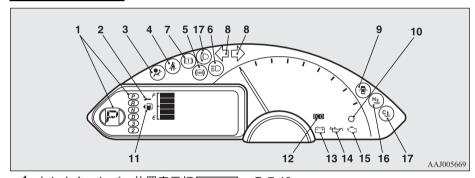
- 坂道やカーブなどでは，タンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないときがあります。

◆ フューエルリッド位置表示

J00605900367

除く，タコメーター付き車

6

タコメーター付き車

フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側に付いていることを示しています。

→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-38

表示灯・警告灯

J00601501199

除く，タコメーター付き車

タコメーター付き車

1- セレクターレバー位置表示灯 [タイプ別装備] → P. 7-13
2- サービスリマインダー → P. 6-6
3- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 → P. 5-26
4- シートベルト警告灯 → P. 5-13
5- ABS警告灯 [タイプ別装備] → P. 7-23
6- ヘッドライト上向き表示灯 → P. 6-13
7- ブレーキ警告灯 → P. 6-13
8- 方向指示表示灯/非常点滅表示灯 → P. 6-13
9- 半ドア警告灯 → P. 6-15
10- セキュリティーインジケーター → P. 4-26
11- 燃料残量警告灯 → P. 6-9
12- ECO（エコ）ランプ → P. 6-13
13- 充電警告灯 → P. 6-14
14- 油圧警告灯 → P. 6-14
15- エンジン警告灯 → P. 6-14
16- 高水温警告灯 → P. 6-15

17- 低水温表示灯 → P. 6-13
18- ヘッドライトオートレベリング警告灯 タイプ別装備 →P. 6-18

表示灯

J00601600018

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700211

方向指示レバー，非常点滅灯を作動させると点滅します。

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800010

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

低水温表示灯

J00602300054

エンジン冷却水の温度が低いときに点灯し，約60 °C以上になると消灯します。

アドバイス

- 表示灯が消灯したら，暖房の効き始めの目安としてお役立てください。
- 表示灯が点灯したままのときは，温度センサーなどの異常が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ECO（エコ）ランプ

J00620500159

燃費に良い運転状態のときに表示されます。

警告灯

J00602500014

ブレーキ警告灯

J00602600796

エンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキ力配分機能の異常（ABS付き車）

⚠注意

- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなったり，急ブレーキをかけたとき車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避けただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
  - 駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき。
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
  - ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

エンジン警告灯

J00602700768

エンジン制御システムに異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，オートマチック車はクリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J00602800192

充電系統に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告灯

J00602900210

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても点灯したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。
  (点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。)
- エンジンオイル量が正常で点灯するときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- 油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

6

高水温警告灯

J00603000045

エンジン冷却水の温度が上がると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

● 走行中に点灯したときはオーバーヒートのおそれがあります。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となりますので，ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
→「オーバーヒートしたときは!」
P. 13-25

アドバイス

● 高速走行や山道走行などで走行したあとの再始動時に，高水温警告灯が点灯することがありますが，異常ではありません。しばらくエンジンをかけたままにするか，走行すれば消灯します。

半ドア警告灯

J00603200311

いずれかのドア（含む，テールゲート）が完全に閉められていないときに点灯します。
半ドアのまま車速が約8km/h以上になると，警告灯が 16 回点滅すると同時にブザーが「ピー，ピー」と16回鳴り，半ドアを知らせます。

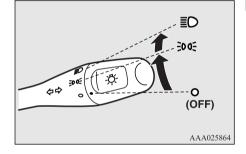
⚠注意

● 走行する前に，警告灯が消灯していることを確認してください。

アドバイス

● 警告灯の点滅とブザーの機能を働かなくすることができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ライトスイッチ

J00604000808

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置		
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○

⚠注意

● 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

● 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト [*1] オートカット機能（自動消灯）

J00606000596

[*1] ヘッドライトや車幅灯などの車外照明

- ライトスイッチが≣Dまたは⫶DOE⫶の位置でも，エンジンスイッチを OFF にし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
  - キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に「ピピッ，ピピッ」と鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
- ライトスイッチが≣Dまたは⫶DOE⫶の位置でも，エンジンスイッチを OFF にし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

◆ 降車後，照明として利用するときは

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチとエンジンスイッチを OFF にします。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを⫶DOE⫶位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- 運転席から降車するときキーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザー（ピーッ）が鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザー（ピピッ，ピピッ）が鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

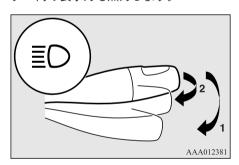
3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - ライトスイッチが⫶DOE⫶位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  - ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

ライト消し忘れブザー

J00606100148

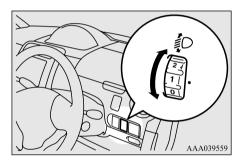
ライトスイッチが≣Dまたは⫘D0⫗の位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチをOFFにする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200383

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを(2)まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。

AAA012381

アドバイス

- ライトスイッチが O (OFF) 位置でも，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ヘッドライトレベリング

J00604100795

ヘッドライトレベリングダイヤル

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。

AAA039559

乗員の人数や荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物をおろした後は，必ずダイヤルを“0”の位置に戻してください。

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

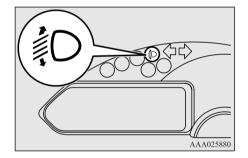
乗員やラゲッジルームの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席＋助手席乗車時	0
	全席乗車時	2
	全席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時	2
	運転席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時（後席折りたたみ）	2

アドバイス

- 車検等で光軸調整をするときは，ダイヤルを“0”の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

ヘッドライトオートレベリング

J00610400041

ディスチャージヘッドライト付き車

乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて，ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。
エンジンスイッチが ON のときにヘッドライトが点灯すると，停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

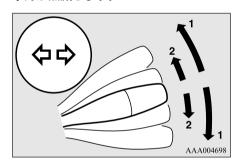
◆ ヘッドライトオートレベリング警告灯

J00611300063

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

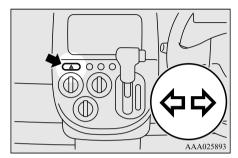
⚠注意

- エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したままのときは装置の故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

方向指示レバー

J00604200611

エンジンスイッチが ON のときにレバーを(1)まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを(2)まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
また，レバーを(2)まで軽く操作し，すぐ離すと3回, 方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

1- 方向指示
2- 車線変更

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 方向指示灯の点滅に合わせて鳴るブザー音を変更する。
  - エンジンスイッチがONまたはACCのときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯を点滅させる。
  - 3回点滅機能のレバー操作時間を調整することができます。

非常点滅灯スイッチ

J00604300553

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- 方向指示灯の点滅に合わせて鳴るブザー音を変更することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

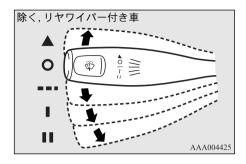
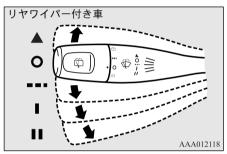
ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604800499

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

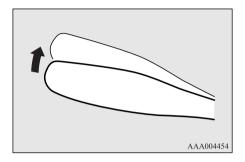
⚠注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
→「ウォッシャー液の点検・補給」
P. 11-3
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪等によりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチを OFF にし，ワイパーブレードが作動できるように積雪等を取り除いてください。

フロントワイパースイッチ

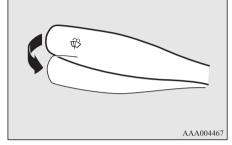
J00615400121

除く，リヤワイパー付き車

リヤワイパー付き車

▲ 1回作動（ワイパーミスト機能）
○ 停止
--- 間けつ作動（約4秒おき）
I 低速作動
II 高速作動

◆ ワイパーミスト機能

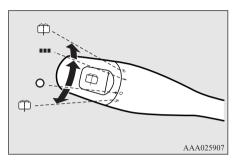
レバーを▲位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーを▲位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

AAA004454

フロントウォッシャースイッチ

J00604900403

レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。

AAA004467

アドバイス

- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でエンジンスイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

タイプ別装備

J00605000560

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

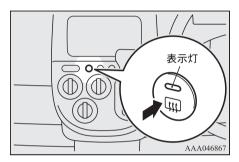
AAA025907

レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

- --- 間けつ作動
  数回作動し，その後約8秒おきに作動
- o 停止
- この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

- オートマチック車は後方の視界を確保するため，--- の位置で間けつ作動中にセレクターレバーを R に入れるとワイパーが自動的に数回作動し，その後間けつ作動に戻ります。
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミを の位置に回した状態でエンジンスイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - ワイパーの間けつ作動時間を調整する。
  - 連続作動モードを設定することができます。
    この調整をした場合，間けつ作動だけでなく約1秒以内にレバー先端のツマミを ---（間けつ作動）の位置に2回繰り返して回すと，ワイパーを連続作動に切り換えることができます。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。

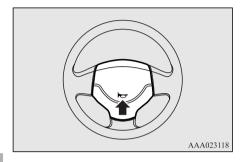
リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605500578

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。もう一度押すとスイッチが切れます。

ヒーテッドドアミラー付き車は，デフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。
→「ヒーテッドドアミラー」P. 7-6

アドバイス

- エンジン停止時に使用しないでください。バッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  長時間使うとバッテリー電圧が低下し，エンジンがかかりにくくなることがあります。
- エンジンスイッチを切っても，リヤウインドウデフォッガースイッチの状態を記憶しています。
  リヤウインドウデフォッガーが作動したままエンジンスイッチを切り，再度エンジンスイッチを ON にするとリヤウインドウデフォッガーが作動を始めます。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。

アドバイス

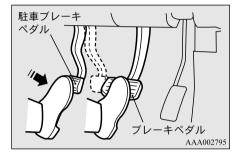
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

J00605600436

ハンドルの⊱マーク部付近を押すとホーン（警音器）が鳴ります。

運転装置

駐車ブレーキ 7- 2
ルームミラー 7- 4
ドアミラー 7- 4
エンジンスイッチ 7- 7
エンジンのかけ方 7- 8
ターボ車の取り扱い 7- 10
マニュアルトランスミッション 7- 11
オートマチックトランスミッション 7- 12
オートマチック車の運転のしかた 7- 17
フルタイム4WD 7- 20
4WD車取り扱い上の注意 7- 21
アンチロックブレーキシステム(ABS) 7- 22
油圧パワーステアリング 7- 24

駐車ブレーキ

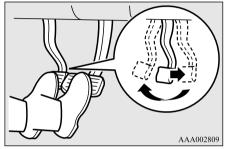
J00700100945

足踏み式駐車ブレーキ付き車

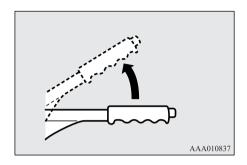
◆ かけるときは

右足でブレーキペダルを踏んだまま左足で駐車ブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。

⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキペダルを踏んでください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキペダルを踏むと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，駐車ブレーキの故障の原因になります。
- 駐車ブレーキの効きを強くするときは，ブレーキペダルをしっかりと踏んだまま，一度駐車ブレーキを解除してから再度駐車ブレーキをかけ直してください。駐車ブレーキがかかった状態で駐車ブレーキペダルを踏み込むと駐車ブレーキは解除されます。

◆ 解除するときは

右足でブレーキペダルを踏んだまま，左足で駐車ブレーキペダルを踏み込みます。カチッと音がしたら駐車ブレーキペダルをゆっくりと戻します。
解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

レバー式駐車ブレーキ付き車

◆ かけるときは

ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。

AAA010837

⚠注意

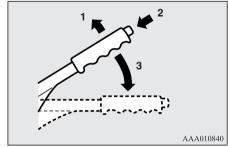
- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，シフトレバーを❶または🅡に入れてください。
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

◆ 解除するときは

1. ブレーキペダルを踏んだまま，レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

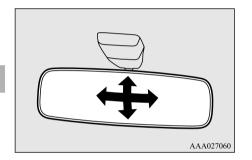
解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

AAA010840

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

ルームミラー

J00700300383

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

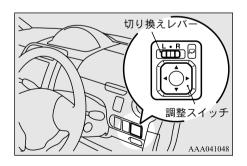
ミラーの本体を上下左右に動かして角度を調整します。

AAA027060

ドアミラー

J00700500806

⚠注意

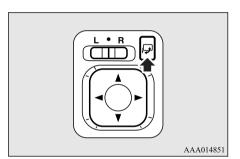
- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

ミラーの角度調整

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

1. 切り換えレバーを調整したい方向に動かします。
   L:左側ミラーの調整
   R:右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。

AAA041048

ミラーの格納・復帰

⚠注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジンスイッチがONまたはACCのとき，格納スイッチを押すとミラーが格納されます。もう一度押すと元の位置に戻ります。
エンジンスイッチを切った後でも，約30秒間はミラーを格納・復帰することができます。

AAA014851

⚠注意

- ミラーは手で倒すことも戻すこともできますが，格納スイッチの操作で倒したミラーは手で戻さず，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
  格納スイッチで倒したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり，走行中の振動および風の影響などでミラーが動き，後方の確認ができなくなります。

アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
- キーレスエントリーのリモコンスイッチでもミラーの格納・復帰操作ができます。
  →「キーレスエントリー」P. 4-3
- 手でミラーを動かしたり，人や物に当たってミラーが動いたあとは，格納スイッチでミラーを元の位置に戻せないことがあります。
  このようなときは，一度格納スイッチを押してミラーを格納状態にしたあと，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

ミラーの自動復帰

ミラーを格納した状態でエンジンスイッチをONにした後，走行スピードが約30km/hになると，安全のためミラーが自動的に復帰します。

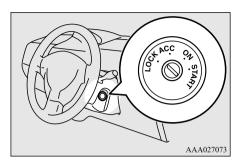
アドバイス

- エンジン始動後に，格納スイッチを押して一度ミラーを格納したり，手動で格納した場合は，自動復帰しません。
  この場合は，格納スイッチを押してミラーを復帰してください。エンジンスイッチをLOCKにすれば自動復帰の状態に戻ります。
- つぎのとおり機能を変更することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - エンジンスイッチをONにすると自動復帰，エンジンスイッチOFF後，運転席ドアを開くと自動格納する。
  - キーレスエントリーのリモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠すると自動格納・自動復帰する。
  - 自動格納・復帰の機能を働かなくする。

ヒーテッドドアミラー

タイプ別装備

J00706800191

エンジンスイッチがONのときにリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと，ドアミラー内部のヒーターが作動し，ミラーの曇りを取ることができます。
もう一度押すとヒーターは切れます。
→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P. 6-23

アドバイス

- エンジン停止時に使用しないでください。バッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  長時間使うとバッテリー電圧が低下し，エンジンがかかりにくくなることがあります。
- エンジンスイッチを切っても，リヤウインドウデフォッガースイッチの状態を記憶しています。
  ヒーテッドドアミラーが作動したままエンジンスイッ チを切り，再度エンジンスイッチをＯＮにするとヒーテッドドアミラーが作動を始めます。

エンジンスイッチ

J00700800375

各位置の働き

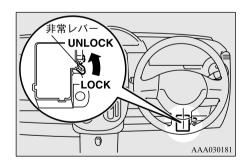
LOCK （ロック）	ハンドルがロックされる位置 キーを抜き差しできます
ACC （アクセサリー）	エンジンを止めたままでもオーディオ，アクセサリーソケットなどが使用できる位置
ON （オン）	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START （スタート）	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらキーから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCK にしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，キーをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- キーがLOCKからACCに回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。

キーを抜くときは

J00706200371

LOCKまで回して抜きます。
オートマチック車はセレクターレバーがⓅでないとキーを抜くことはできません。
マニュアル車はACCの位置でキーを押しながらLOCKまで回して抜いてください。

アドバイス

- オートマチック車でエンジンスイッチをLOCKまで回すことができないときは，セレクターレバーをⓅに入れ，運転席の足元にあるキーロックアクチュエーターの非常レバーをUNLOCK側へ倒し，エンジンスイッチをLOCKまで回します。
- オートマチック車でセレクターレバーをⓅに入れた状態で，セレクターレバーのボタンを30秒以上繰り返して操作しないでください。
  保護回路が働き，一時的にキーが抜けなくなることがあります。
  キーが抜けなくなった場合は，しばらく待ってからキーを抜いてください。
  →「セレクターレバーの動かし方」P. 7-12

エンジンのかけ方

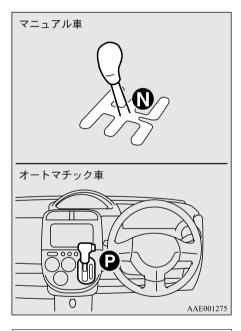
J00700901605

⚠警告

- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  →「エンジン警告灯」P. 6-14

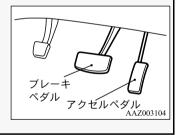
アドバイス

- バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため，STARTにして10秒以上スターチングモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，一旦キーをLOCKに戻し，2～3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- バッテリー交換後は，エンジンなど電子制御システムの学習内容が消去されるため，エンジン回転数が不安定になる場合があります。
  エンジン回転数が不安定になったときは，エンジンの初期調整操作を行ってください。
  →「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは!」P. 13-30

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-3
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. マニュアル車はシフトレバーをⓃに入れてクラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。オートマチック車はセレクターレバーがⓅにあることを確認します。

アドバイス

- オートマチック車はセレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

アドバイス

- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

  クラッチスタートシステムとは…
  誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

4. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。

⚠警告

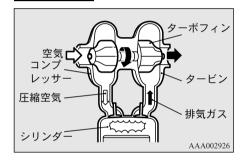
- **オートマチック車はアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。**
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
  [オートマチック車]
  • ブレーキペダルを踏んだまま，アクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
  • エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

7

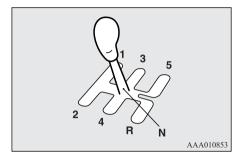
アドバイス

[マニュアル車]
- クラッチペダルをいっぱいまで踏み込んだまま，アクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
- エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。
- エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

ターボ車の取り扱い

J00701200161

注意

- エンジンをかけた直後は，空ぶかしや急加速などでエンジンを高回転させないでください。
- 高速走行または登坂走行をした後は，低速走行やアイドリング運転でターボが冷えるのを待ってからエンジンを止めてください。

ターボとは…

正式にはターボチャージャーといい，シリンダー内へ大量の空気を過給してより大きなパワーを引きだします。ターボフィンは超高速で回転し，高温下で使われ，潤滑はエンジンオイル，冷却はエンジンオイルと冷却水で行っています。エンジンオイルは定められた時期に交換しないとターボ軸受部の固着，異音の発生などの原因となります。

7

マニュアルトランスミッション

J00701300045

シフトレバー

シフトレバーは必ずクラッチペダルをいっぱいに踏み込んでから操作してください。

⚠注意

- Ⓡに入れるときは車を完全に停止させてから行ってください。

アドバイス

- クラッチペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。クラッチの早期摩耗，損傷の原因となります。
- ギヤが入りにくいときはクラッチペダルを踏み直すと楽に入ります。
- ❺→Ⓡへは直接入れることはできません。
  一度Ⓝにしてから Ⓡへ入れてください。

変速位置とスピード範囲

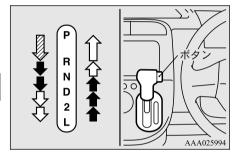
J00706900310

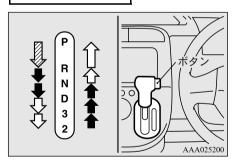
エンジンを過回転させないため，各シフト位置での速度が表の数値を超えないようにしてください。

アドバイス

- 法定速度を守って走行してください。
- 各シフト位置の最低速度はノッキングが発生しない速度で使用してください。
- 停車中でつぎの場合は，エンジン保護のため，アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転数は5,500rpm以上にはなりません。
  - シフトレバーがⓃに入っているとき
  - クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでいるとき

項目	1速	2速	3速	4速
2WD車	30 km/h	60 km/h	85 km/h	125 km/h
4WD車	30 km/h	55 km/h	85 km/h	125 km/h

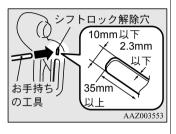
オートマチックトランスミッション

J00701900054

「安全なドライブのために：オートマチック車の取り扱い」も合わせてお読みください。→P. 2-16

セレクターレバーの動かし方

J00702000515

3速オートマチック車

4速オートマチック車

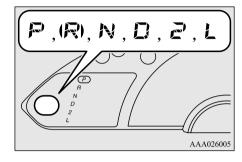
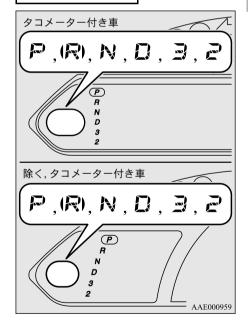
- ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押して操作します。
- ボタンを押さずに操作します。
- ボタンを押したまま操作します。

⚠警告

- ●の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤ってⓅ, Ⓡ, ❷, Ⓛ(3速オートマチック車）またはⓅ, Ⓡ, ❸, ❷(4速オートマチック車）に入れてしまい，思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクターレバーをⓃ→ⒹまたはⓃ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。
  また，キーがLOCKまたはACC位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ, ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

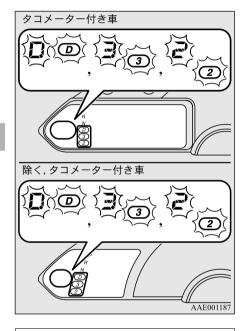
- 万一，ブレーキペダルを踏んだ状態でも，Ⓟから他の位置に切り換えられないときは，シフトロック解除穴にお手持ちの先の細い工具などを差し込み，押しながらセレクターレバーを操作してください。
  このようなときは，バッテリー上がりやシフトロック装置の故障が考えられますので，ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

セレクターレバー位置表示

J00702100024

セレクターレバーの位置をメーター内に表示します。

3速オートマチック車

4速オートマチック車

7

走行中にセレクターレバー位置表示が点滅したときは

J00712700153

4速オートマチック車

走行中にセレクターレバー位置表示が点滅したときは装置の異常が発生していると考えられます。
つぎの方法で処置してください。

アドバイス

- セレクターレバー位置がⓅ, Ⓡ, Ⓝのとき，セレクターレバー位置表示は点滅しません。

◆ セレクターレバー位置表示が速く点滅（1秒間に約2回）しているとき

オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなっています。
車を安全な場所に止め，セレクタレバーをⓅに入れてエンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。しばらくしたらセレクターレバーをⒹに入れて，セレクターレバー位置表示の点滅が止まるか確認します。点滅が止まれば元のように走行できます。
点滅が止まらないときや，たびたび点滅するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ セレクターレバー位置表示がゆっくり点滅（1 秒間に約 1 回）しているとき

トランスミッションに何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

セレクターレバーの位置・働き（3速オートマチック車）

J00702500220

	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅに入れてください。 Ⓟでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。
	（リバース） 後退させるとき	Ⓡに入れるとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

● ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
D	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで自動的に変速されます。 （1速から3速まで自動的に変速されます。）
2	（セカンド） 下り坂走行	エンジンブレーキが必要なときに使います。 （1速から2速まで自動的に変速されます。）
L	（ロー） 急な下り坂走行	強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。 （1速のままで変速されません。）

⚠警告

● ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

セレクターレバーの位置・働き（4速オートマチック車）

J00702500419

	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅに入れてください。 Ⓟでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。
	（リバース） 後退させるとき	Ⓡに入れるとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで自動的に変速されます。 （1速から4速まで自動的に変速されます。）
3	（サード） ゆるやかな下り坂走行	軽いエンジンブレーキが必要なときに使います。 （1速から3速まで自動的に変速されます。）

アドバイス

- 高速道路の長い下り坂などに有効です。

	（セカンド） 下り坂走行	エンジンブレーキが必要なときに使います。 （1速から2速まで自動的に変速されます。）

アドバイス

- エンジンの過回転を防止するためオートマチックトランスミッションの制御が働き，セレクターレバーを❸，❷へ入れても変速しない場合があります。

オートマチック車の運転のしかた

J00702900992

発進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

> ⚠警告
>
> ● ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。
> 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

AAZ002224

> ⚠注意
>
> ● セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
> 特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
> →「クリープ現象」P. 2-16

2. セレクターレバーを前進はⒹ，後退はⓇに入れます。

> ⚠警告
>
> ● セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

3. セレクターレバーの位置を確認します。

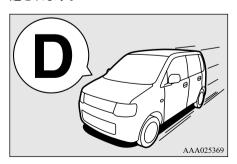
AAA003011

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

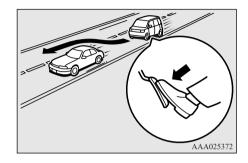
◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認し，駐車ブレーキを解除して発進します。

走 行

⚠警告

- 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。誤ってⓅ, Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

- セレクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
  坂道などで，前進の位置Ⓓ, ❷, Ⓛ(3速オートマチック車）またはⓓ, ❸, ❷(4速オートマチック車）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
  エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 通常走行

セレクターレバーをⒹで走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。

AAA025369

◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に低速ギヤに切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。

AAA025372

◆ 上り坂走行

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと，キックダウンしてエンジン回転が上がることがあります。
このようなときは，坂道の程度やスピードに応じて 3 速オートマチック車はセレクターレバーを❷またはⓁ，4 速オートマチック車はセレクターレバーを❸または❷にしておくと変速回数が少なくなり，なめらかな走行ができます。

◆ 下り坂走行

長い下り坂や急な下り坂などエンジンブレーキを必要とする場合は，坂道の程度やスピードに応じて 3 速オートマチック車はセレクターレバーを❷または🅛，4 速オートマチック車はセレクターレバーを❸または❷に入れます。

長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあり危険です。必ずエンジンブレーキを併用してください。

→「ベーパロック」P. 2-13
→「フェード現象」P. 2-13

◆ 各セレクターレバー位置での上限速度（3 速オートマチック車）

エンジンの過回転を防止するため❷，🅛はスピードがつぎの値以下のときにお使いください。

セレクターレバーの位置	2WD 車	4WD 車
❷	75 km/h	70 km/h
🅛	40 km/h	35 km/h

⚠警告

● 急激なエンジンブレーキをかけるとタイヤがスリップして重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● 4 速オートマチック車は，エンジンの過回転を防止するためオートマチックトランスミッションの制御が働き，セレクターレバーを❸，❷へ入れても変速しない場合があります。

停 車

1. セレクターレバーは🅓のままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

● エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

● 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
● 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーを🅝に入れます。

⚠注意

● 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクターレバーが🅟，🅝以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

アドバイス

● 停車中にセレクターレバーが🅟または🅝に入っているときは，エンジン保護のため，アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転数は5500rpm 以上にはなりません。

4. 再発進するときは，セレクターレバーが🅓位置にあることを確認してから発進してください。

駐車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーを🅟に入れます。

⚠注意

- 🅟では車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーが🅟に入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちに🅟に入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道では，駐車ブレーキをかける前にセレクターレバーを🅟に入れると，発進時のセレクターレバー操作が重くなることがあります。

4. エンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーが🅟以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

7

フルタイム4WD

J00706700015

フルタイム4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。
2WD車と同様，ハンドル・ブレーキ操作を慎重に行い安全運転を心がけてください。

⚠注意

- オンロード専用車です。無理な運転はしないでください。
  - 砂地やぬかるみ等タイヤが空転しやすいところでの走行は避けてください。タイヤの空転を続けると駆動系部品に無理がかかり，重大な故障の原因となるおそれがあります。
  - 渡河などの水中走行はしないでください。
  - ブレーキ性能は 2WD 車とあまり差はありません。極端な急ハンドル，急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

4WD車取り扱い上の注意

J00706600681

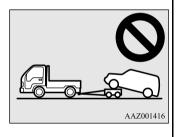
タイヤ，ホイールについて

4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤの状態には細心の注意を払ってください。

- 4 輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤ，ホイールのサイズ」P. 14-8
- タイヤ，ホイールを交換するときは 4 輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
  →「タイヤローテーション」P. 11-4
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
  →「タイヤの空気圧」P. 14-9

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
4WD 車は，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか, 4輪接地の状態でけん引してください。
ただし，つぎの場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

⚠注意

- 前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
  →「けん引」P. 13-27

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

7

ジャッキアップするときは

⚠注意

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
  接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

7

アンチロックブレーキシステム(ABS)

タイプ別装備

J00703000613

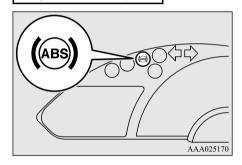
アンチロックブレーキシステム (ABS) とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

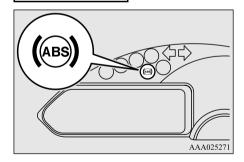
⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。（車載の応急用スペアタイヤは使用できます。）
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でも ABS が作動することがあります。
- ABSが作動すると車体, ハンドル, ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後，エンジンルーム内より作動音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABSは, 発進後車速が約 10km/h になるまで作動しません。また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

ABS警告灯

J00704500729

正常なときは, エンジンスイッチをON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

注意

- 警告灯が点灯したままのとき，または点灯しないときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社へ連絡してください。

除く，タコメーター付き車

タコメーター付き車

7

走行中に警告灯が点灯したときは

J00704600472

- ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
  エンジンを停止し，再度エンジンをかけ，点灯しなければ異常ありません。
  点灯したままのときは三菱自動車販売会社へ連絡してください。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると，警告灯が点灯することがありますが ABS の故障ではありません。このようなときは，しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
  充電しても点灯したままのときや，たびたび点灯するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

油圧パワーステアリング

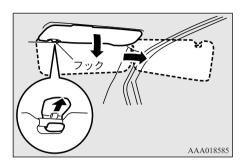
J00703100265

エンジン回転中にパワーアシストが作動し，ハンドルの操作力を軽くする装置です。
もしパワーアシストが作動しなくなったときは，ハンドルが重くなります。この場合は，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠警告

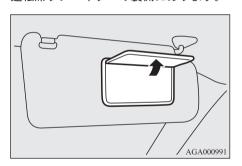
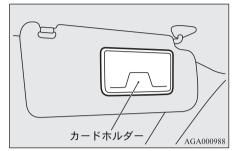
- **走行中はエンジンを止めないでください。エンジンを止めると，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

⚠注意

- ハンドルをいっぱいに回した状態を長く続けないでください。装置が損傷するおそれがあります。

室内装備

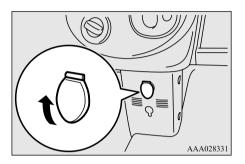
サンバイザー 8- 2
アクセサリーソケット 8- 3
室内灯 8- 3
小物入れ 8- 5
プチごみ箱 8- 7
助手席ドア車検証ボックス 8- 8
カップホルダー 8- 8
コンビニフック 8- 9
アシストグリップ 8- 10
フロアマット 8- 10

サンバイザー

J00900100455

前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。

バニティーミラー

運転席サンバイザーの裏側にあります。

カードホルダー

運転席バニティーミラーのリッド表側に通行券などをはさむことができます。

アクセサリーソケット

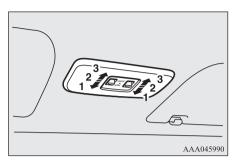
J00900500488

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。
フタを開け，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず, 12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。
- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりやアクセサリーソケットが損傷する原因となります。
- フタを開けたまま放置しないでください。
  アクセサリーソケットにごみや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。

室内灯

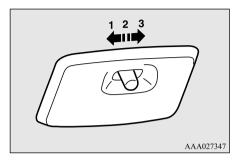
J00900800016

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
  車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

フロントルーム＆マップランプ

J00913500033

1. (ON)
   ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく点灯します。
2. (●)
   いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
   - エンジンスイッチをONにしたとき
   - センタードアロックの機能を使って施錠したとき
   - キーレスエントリーのリモコンスイッチを使って施錠したとき

アドバイス

- ドアおよびテールゲートが閉まっているときに，キーを抜くと点灯し，徐々に減光しながら約15秒後に消灯します。
- 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3. (OFF)
   ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します。

ルームランプ

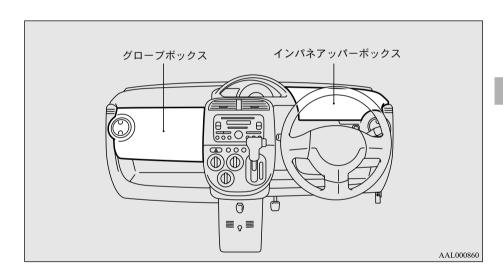
J00900901144

1. (ON)
   ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく点灯します。
2. (●)
   いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
   - エンジンスイッチをONにしたとき
   - センタードアロックの機能を使って施錠したとき
   - キーレスエントリーのリモコンスイッチを使って施錠したとき

アドバイス

- ドアおよびテールゲートが閉まっているときに，キーを抜くと点灯し，徐々に減光しながら約15秒後に消灯します。
- 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3. (OFF)
   ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します。

小物入れ

J00906700479

⚠注意

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

- 車を離れるときは小物入れに貴重品を入れたままにしないでください。

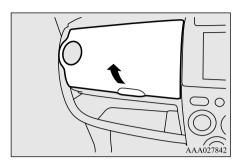
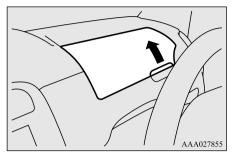
グローブボックス

J00907200442

リッドを引き上げます。

AAA027842

全開の位置で止まります。

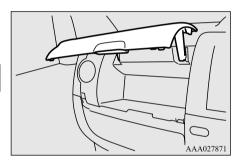
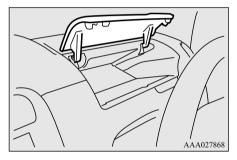
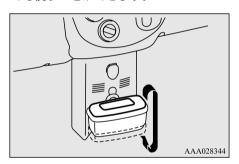
AAA027871

インパネアッパーボックス

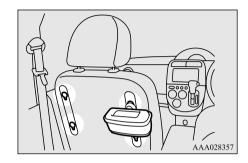
J00907400141

リッドを引き上げます。

AAA027855

全開の位置で止まります。

AAA027868

プチごみ箱

J00903000093

⚠警告

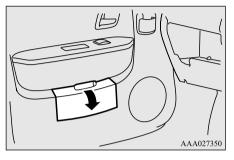
- プチごみ箱を溝に取り付けるときは，カチッと音がするまでフックを下方に押し込んでください。溝にフックがしっかり装着されていないと，急ブレーキ，急旋回などのときにプチごみ箱が転がって運転の妨げになり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ごみ箱として使用します。たまったごみを捨てる時など必要に応じてフタを取り外すことができます。また，フタを箱の下側に取り付けることで，小物入れとしても使うことができます。

AAA028344

プチごみ箱を上に引き上げて取り外し，助手席（除く，レカロシート）の背もたれに取り付けることができます。助手席の背もたれの溝に差し込み取り付けます。

AAA028357

アドバイス

- プチごみ箱をつけたまま，背もたれを倒さないでください。中身が落下したり，プチごみ箱がリヤシートの間などに挟まれ破損するおそれがあります。

助手席ドア車検証ボックス

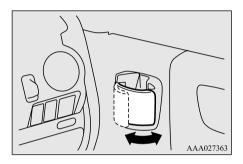
J00903100036

車検証や取扱説明書などを入れることができます。

1. フタを手前に引くと開きます。

AAA027350

2. 閉じるときは，パチンと音がするまでフタを押しつけます。

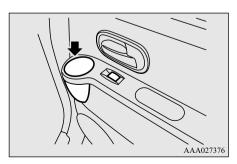
カップホルダー

J00903800437

⚠注意

- 走行中の振動や揺れ，ドアの開閉などで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

ホルダーを容器に合った幅に広げて使用します。

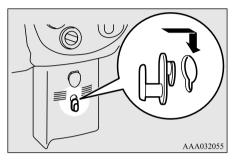
AAA027363

アドバイス

- ホルダーを使用しないときは格納しておいてください。

リヤシート用

後席ドア（除く，スライドドア）にあります。

AAA027376

コンビニフック

J00905000316

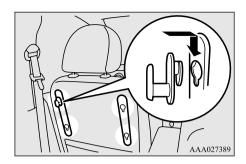
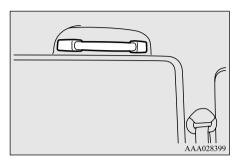
軽い荷物を掛けることができます。

⚠警告

- フックを溝に取り付けるときは，カチッと音がするまでフックを下方に押し込んでください。溝にフックがしっかり装着されていないと，急ブレーキや急旋回などのときにフックが外れ荷物などが転がって運転の妨げになり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- プチごみ箱の取り付け溝にフックを取り付けて使用するときは，急ブレーキや急旋回などで荷物がフックから外れないように確実に固定してください。荷物が外れると運転の妨げになり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
→「プチごみ箱」P. 8-7

AAA027389

AAA032055

⚠注意

- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。後席乗員にフックが当たり，けがをするおそれがあります。
- フックを使用しないときは，取り外して小物入れなどに収納しておいてください。取り付けたままにすると，乗員に不用意にフックが当たり，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- フックの変形または破損を防ぐため，つぎのことをお守りください。
  - 約3kg以上の荷物をかけない。
  - 炎天下などで車内が高温のときは，荷物をかけたままにしない。

アシストグリップ

J00912900229

座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。

AAA028399

⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマット

タイプ別装備

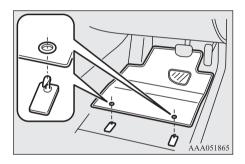
J00922800058

お客様のお車には，専用のフロアマットが設定されています。
フロアカーペットに装着されている固定クリップを使用し，つぎの手順で確実に固定してください。

固定のしかた

J00922900075

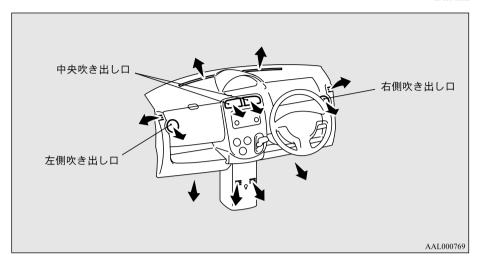
1. フロアマットを床の形状に合わせて敷きます。
2. フロアマットの取り付け穴に固定クリップを通し，確実に固定します。

AAA051865

アドバイス

- 車種により，フロアマットの形状や固定クリップの数が異なる場合があります。
  詳しい固定方法はフロアマットの取扱説明書をお読みください。

⚠警告

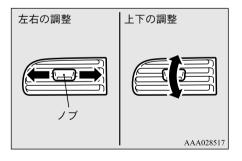
- 運転席にフロアマットを敷くときは，つぎのことを必ずお守りください。お守りいただかないと，フロアマットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど重大な事故につながるおそれがあります。
  - •固定クリップを使用し確実に固定する
  - •フロアマットを前後逆さまにしたり，裏返して使用しない
  - •フロアマットでペダルを覆わない
  - •フロアマットの上または下に，別のフロアマットを重ねて敷かない
  - •三菱純正フロアマットであっても，他車種または年式の異なるフロアマットを使用しない

- 運転する前につぎのことを確認してください。
  - •フロアマットがすべての固定フックで正しく固定されていることを定期的に確認し，車内の清掃などでフロアマットを取り外した後は必ず確認する
  - •エンジン停止時およびセレクターレバーがⓅ（オートマチック車）またはシフトレバーがⓃ（マニュアル車）のときに，各ペダルをいっぱいに踏み込み，フロアマットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する

エアコン

吹き出し口 9- 2
マニュアルエアコン 9- 4
エアコンの上手な使い方 9- 15
クリーンエアフィルター 9- 16

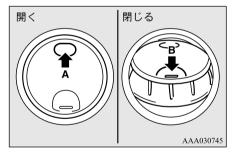
9

吹き出し口

J01000100293

風向き調整

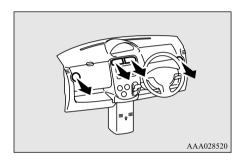
J01000300628

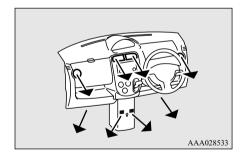
◆ 中央吹き出し口

ノブ，吹き出し口を動かして調整します。

◆ 左右吹き出し口

1. くぼみ（A部）を押すと吹き出し口が開きます。
   閉じるときは，反対側のくぼみ（B部）を押します。
2. 吹き出し口を回して調整します。

アドバイス

- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

吹き出し口の切り換え

J01000400427

吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

→「吹き出し口切り換えダイヤル」P. 9-5

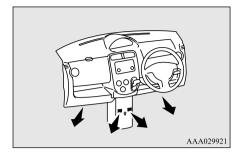
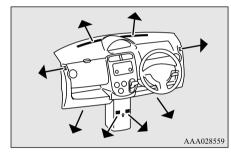
➔:風量中

➔:風量多

上半身に送風したいとき

AAA028520

上半身と足元に送風したいとき

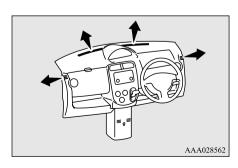
AAA028533

アドバイス

● 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く， と の間にすると足元へ多く送風されます。

足元に送風したいとき

AAA029921

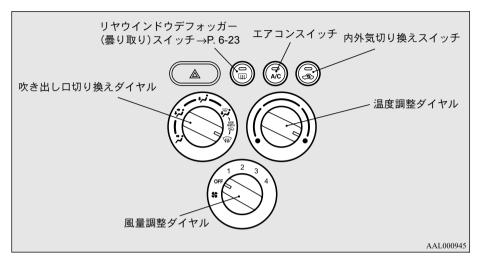
足元とウインドウガラスに送風したいとき

AAA028559

アドバイス

● 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると足元へ多く， と の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

ウインドウガラスに送風したいとき

AAA028562

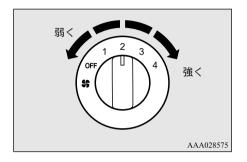
9

マニュアルエアコン

J01000500226

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

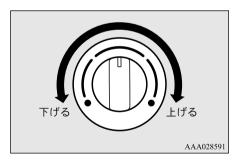
● スイッチの使い方 P. 9-5

● 目的に合った使い方

- 暖房したいときはP. 9-7
- 冷房したいときはP. 9-9
- 頭寒足熱にしたいときはP. 9-10
- ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 9-11
- 曇り止めと暖房を同時にしたいときは P. 9-13
- 換気したいときはP. 9-14
- 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 9-14

スイッチの使い方

J01000600012

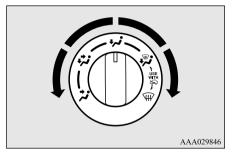
◆ 風量調整ダイヤル

J01000700039

風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

◆ 温度調整ダイヤル

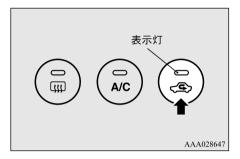
J01000900031

送風温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。

アドバイス

- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。

◆ 吹き出し口切り換えダイヤル

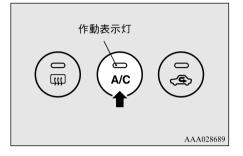
J01001100115

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3

⚠注意

- との間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-6

◆ 内外気切り換えスイッチ

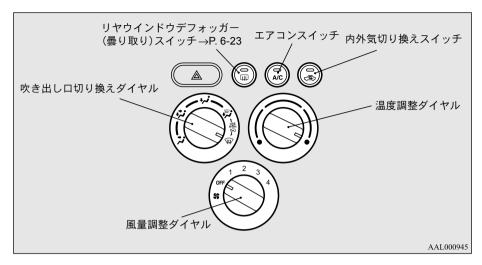
J01001300032

スイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。内気循環に切り換わるとスイッチ内の表示灯が点灯します。

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

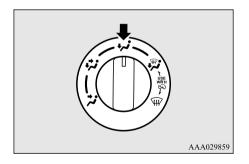
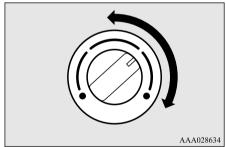
◆ エアコンスイッチ

J01001500034

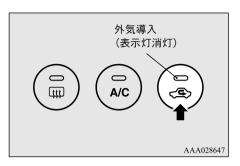
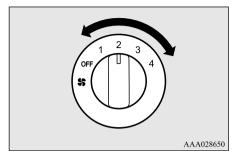
スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。

⚠注意

- オートマチック車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-16

9

目的に合った使い方

J01001700078

◆ 暖房したいときは

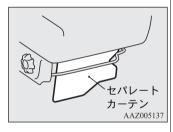
J01001800301

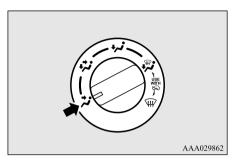
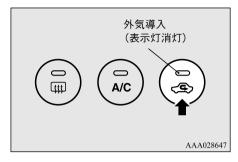
1. 吹き出し口切り換えダイヤルをにします。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

アドバイス

- 急速暖房したいときは，温度を最高に設定し，風量調整ダイヤルを4にしてください。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

アドバイス

- フロントシート下部に，セパレートカーテンが取り付けられています（タイプ別装備）。後席も暖めたいときはセパレートカーテンを取り外してください。
  取り外すときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

9

◆ 冷房したいときは

J01001900142

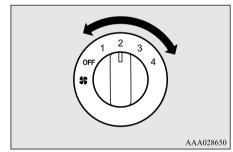
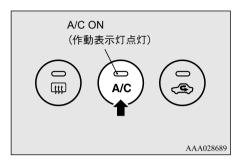
1. 吹き出し口切り換えダイヤルを にします。

AAA029862

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

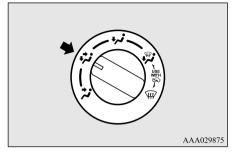
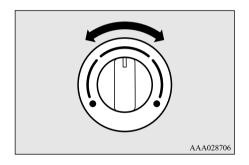
AAA028676

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA028647

⚠ 注意

- 内気循環にすると早く冷房されますが，換気のためときどき外気導入に切り換えてください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA028650

5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。エアコンが作動するとスイッチ内の作動表示灯が点灯します。

◆ 頭寒足熱にしたいときは

J01002000140

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを にします。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

9

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA028647

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA028650

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

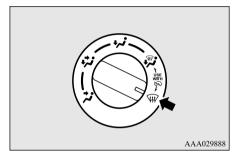
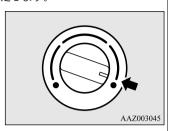
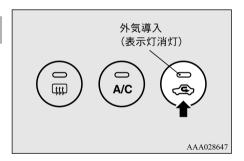
J01002100356

⚠注意
● 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを （曇り取り）にします。

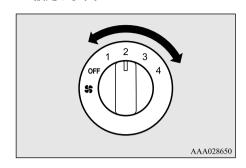
AAA029888

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA028634

アドバイス

● 早く曇り，霜を取りたいときは温度を最高に設定します。

AAZ003045

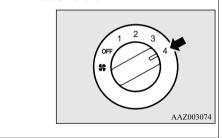
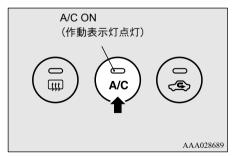
● 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にしてエアコンを使用するときは設定温度を最低温度付近にしないでください。
ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA028647

⚠注意

● 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA028650

アドバイス

● 早く曇り，霜を取りたいときは風量を最大に設定します。

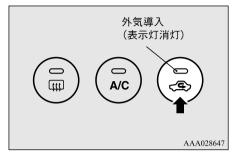
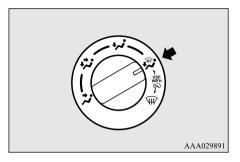
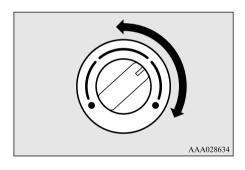
AAZ003074

5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。エアコンが作動するとスイッチ内の作動表示灯が点灯します。

AAA028689

9

◆ 曇り止めと暖房を同時にしたいときは

J01002200038

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを の位置にします。

AAA029891

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA028634

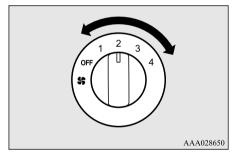
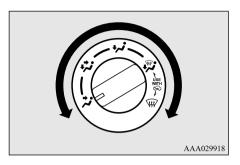
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA028647

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

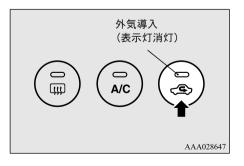
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA028650

アドバイス

- エアコンを使用すると除湿効果があります。

9

◆ 換気したいときは

J01002300039

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをお好みの位置に設定します。

AAA029918

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA028676

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA028647

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA028650

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01009600015

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-6

9

エアコンの上手な使い方

J01009400680

長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してください。

AAA005129

冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。

AAA005132

定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンフード（ボンネット）に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

- エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

クリーンエアフィルター

J01009500649

花粉やほこり，粉じんなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に交換することをおすすめします。

→「クリーンエアフィルターの交換のしかた」P. 11-6

アドバイス

- 使用地域やエアコンの使用頻度によってはフィルターの寿命が短くなります。吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは交換時期ですので三菱自動車販売会社にご相談ください。
  (交換時期の目安：1年または12,000kmのいずれか早いとき)

オーディオ

AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー（時計付き） 10- 2
エラーコード. 10- 11
オーディオの上手な使い方 10- 12
アンテナ 10- 14

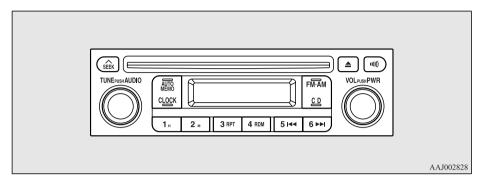
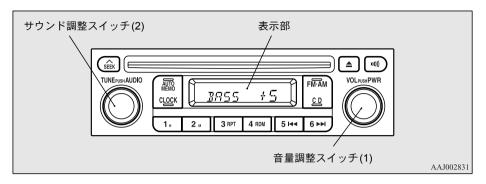
10

● AM/FM電子同調ラジオ＆CD/MDプレーヤーの操作方法については，別冊の取扱説明書をご覧ください。
● Mitsubishi Multi Entertainment System（三菱マルチエンターテイメントシステム）付き車のオーディオ操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー（時計付き）

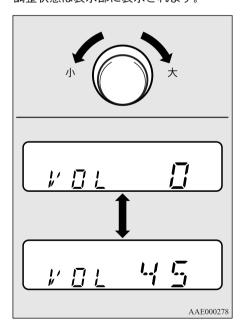
タイプ別装備

J01100100470

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

- 音量・音質調整のしかた
  - 音量調整 P. 10-3
  - 音質・音量バランス調整 P. 10-4
- ラジオを聞くときは P. 10-5
  - 放送局を選局するときは P. 10-5
  - 放送局を記憶させるときは P. 10-6
  - 交通情報を聞くときは P. 10-7
- CDを聞くときは P. 10-8
  - 早送り，早戻しをするときは P. 10-8
  - 頭出しをするときは P. 10-8
  - 同じ曲を繰り返し聞くときは P. 10-9
  - ランダムな曲順で聞くときは P. 10-9
  - CDを取り出すときは P. 10-9
- 時計を合わせるときはP. 10-10
  - 時刻の合わせ方P. 10-10
- 表示を切り換えるときはP. 10-10

音量・音質調整のしかた

J01100300270

AAJ002831

◆ 音量調整

J01102300098

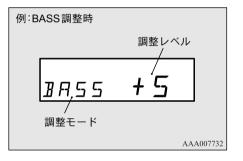
音量調整スイッチ(1)で調整します。
調整状態は表示部に表示されます。

AAE000278

⚠ 注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 調整終了後, 約2秒後に元の表示に戻ります。
  音量調整スイッチを回して 2 秒以上放置したり他のボタンを操作すると, 調整モードが解除され, 元の表示に戻ります。

◆ 音質・音量バランス調整

J01102700164

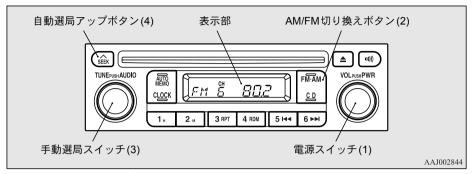
音質，音量バランスを調整することができます。

1. サウンド調整スイッチ(2)を押して，調整したいモードを選択します。調整モードはスイッチを押すごとに切り換わり，表示部に表示されます。

   BASS（低音）→TRE（高音）→FADE（前後音量）→BAL（左右音量）→ 調整モード解除

2. サウンド調整スイッチ (2) を左右に回してお好みに合わせて調整します。調整状態は表示部に表示されます。

モード表示	調整レベル範囲	サウンド調整スイッチ操作	
		反時計回りに回す	時計回りに回す
BASS	-6~+6	弱くなる	強くなる
TRE	-6~+6	弱くなる	強くなる
FADE	F6~R6	F（前側）大	R（後側）大
BAL	L6~R6	L（左側）大	R（右側）大

アドバイス

- 調整レベルが“0”（センター位置）のときに，音が“ピッ”と鳴ります。
- 調整終了後，約7秒後に元の表示に戻ります。
  サウンド調整スイッチ(2)を操作して7秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。
- 2スピーカー仕様車は，FADE（前後音量）調整位置を中央位置にしておいてください。リヤスピーカーが接続されていないため，R（リヤ）側に調整すると，音が出なくなります。

10

ラジオを聞くときは

J01100500155

1. 電源スイッチ (1) を押して電源を入れます。電源を切りたいときはもう一度スイッチを押します。
2. AM/FM 切り換えボタン (2) を押します。
   ラジオ以外の状態のときはラジオに切り換わり，ラジオの状態のときはAM/FMが切り換わります。
3. 手動選局スイッチ (3) を回すか，自動選局アップボタン (4) を押して聞きたい放送局を選びます。

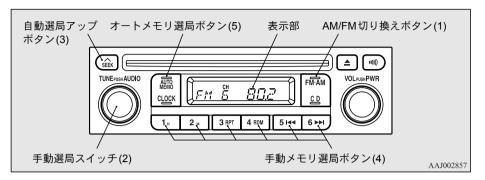
◆ 放送局を選局するときは

J01103500286

手動で選局するときは

手動選局スイッチ(3)を左右に回します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは時計周りに回す
- 周波数の低いほうへ選局するときは反時計周りに回す

自動で選局するときは

自動選局アップボタン(4)を押します。
周波数の高いほうへ選局します。

アドバイス

- 受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

10

◆ 放送局を記憶させるときは

J01103600232

手動で放送局を記憶させるときは

自動で記憶させた放送局とは別に AM, FM放送局を各6局まで記憶させることができます。

1. AM/FM 切り換えボタン (1) を押して，AMまたはFM放送を選びます。
2. 手動選局スイッチ (2) を回すか，自動選局アップボタン (3) を押して記憶させたい放送局を受信します。
3. 手動メモリ選局ボタン(4) [1~6]のいずれか1つを押し続け，ピッという音がしたらメモリー完了です。表示部には記憶されたボタン番号と周波数が表示されます。
4. 次回からは手動メモリ選局ボタン (4) を軽く押すと，そのボタンにメモリーされている放送局を受信します。

アドバイス

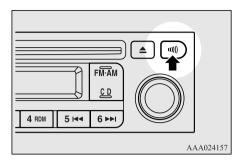
- 選局ボタン1つにつきAM1局, FM1局の2局を記憶することができます。
- バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

自動で放送局を記憶させるときは

手動で記憶させた放送局とは別に受信可能な AM，FM 放送の各 8 局を受信状態の良好な順に自動で記憶することができます。

周波数や放送局がわからない地域で記憶するときに有効です。

1. AM/FM 切り換えボタン (1) を押して，AMまたはFM放送を選びます。
2. オートメモリ選局ボタン (5) をピッという音がするまで押し続けます。

アドバイス

- 受信可能な放送局をさがしている間は表示部に“A”文字が表示されます。受信可能な放送局がないときは“— — —”と表示されます。

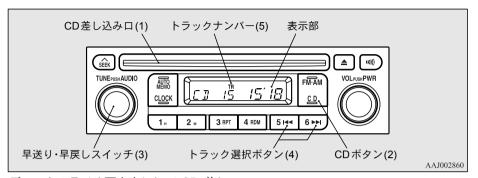
3. 次回からはオートメモリ選局ボタン (5) を軽く押すごとに記憶されている放送局を低い周波数から順に受信します。

アドバイス

- 受信可能な放送局が 8 局より少ない場合はその受信可能局数だけ記憶します。
- バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

◆ 交通情報を聞くときは

J01103800218

交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。

交通情報ボタンを押すと交通情報局(1620kHz)を受信します。

もう一度押すと解除されます。

アドバイス

- 1620kHz の交通情報を受信できないときは自動的に1629kHzの交通情報局を受信します。
  どちらも受信できないときは約 5 秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。
- CD を聞いているときでも交通情報ボタンを押すと交通情報を受信することができます。

CDを聞くときは

J01100700186

ディスクのラベル面を上にして CD 差し込み口(1)に入れ，軽く押し込むと再生が始まり，表示部に“CD”を表示します。他のモードから CD に切り換えたいときは，CDボタン(2)を押してください。

アドバイス

- CD シングル（8cm ディスク）はアダプターなしでそのまま使用できます。
  差し込み口のほぼ中央から差し込んでください。

◆ 早送り，早戻しをするときは

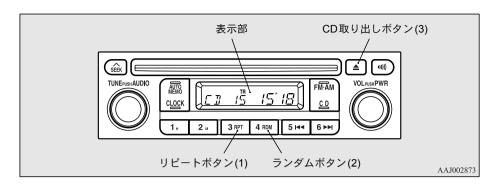
J01104700041

再生中，早送りするときは早送り・早戻しスイッチ(3)を時計回りに回します。
再生中，早戻しするときは早送り・早戻しスイッチを反時計回りに回します。

スイッチを回している間，早送り，早戻しとなります。

◆ 頭出しをするときは

J01104900173

トラック選択ボタン(4)を押して聞きたい曲のトラックナンバー (5)を選択します。

⏭ トラックナンバーが増加
⏮ トラックナンバーが減少

聞いている曲の途中でボタンの⏮側を1回押すと，その曲の頭に戻り再生します。

アドバイス

- トラック選択ボタン(4)を押すごとに表示部のトラックナンバー (5)が変わります。

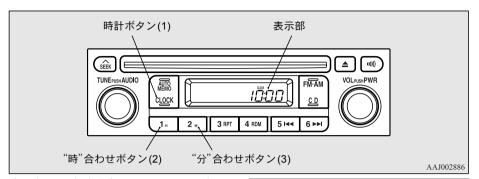
◆ 同じ曲を繰り返し聞くときは

J01105100114

再生中，リピートボタン(1)を押して表示部に“RPT”を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ ランダムな曲順で聞くときは

J01105200115

ランダムボタン(2)を押します。表示部に“RDM”と表示されます。再生中のディスクからプレーヤーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ CDを取り出すときは

J01105700035

CD取り出しボタン(3)を押します。
CD モードのときボタンを押すと自動的に CD が出てラジオモードに切り換わります。

時計を合わせるときは

J01113500191

表示部は通常時計表示となっています。
ラジオモード（およびCDモード）時に時計ボタン (1) を軽く押すと，周波数表示（およびCD走行表示）に切り換わります。
もう一度押すと時計表示になります。

◆ 時刻の合わせ方

J01113700018

1. 時計ボタン (1) を押し続け時計表示を点滅させます。
2. 「時・分合わせ」
   “時” 合わせボタン(2), “分” 合わせボタン(3)を押して時刻を合わせます。
   押し続けると早送りになります。
   時刻を合わせたら，時計ボタン (1) を押し，時計表示の点滅を解除します。

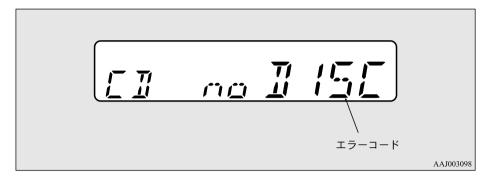
アドバイス

- バッテリー端子を外し，再接続したときは時刻を合わせてください。

表示を切り換えるときは

J01101500080

通常は，時計表示となっています。
ただし，電源を入れたときや何らかのオーディオ操作（オーディオ調整操作，ラジオ操作およびCD操作）をしたときは，一時的に各モード表示に切り換わります。

ラジオモード（およびCDモード）時に常に周波数表示（およびCD走行表示）にしておきたいときは，時計ボタン(1)を軽く押してください。
もう一度押すと時計表示に戻ります。

エラーコード

J01102000301

表示部にエラーコードが表示されたときは，下表に従ってください。

エラーコード	原因	処置
no DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
E HOT	プレーヤー, またはチェンジャー内部が高温になっている。(再生が一時中断となる。)	しばらく放置してください。 温度が適温に戻るとエラーコードが消え，自動的に再生されます。
E 01 E 02	主にディスクの異常	ディスクを数枚交換してください。 ● 特定のディスクのみのエラー表示 →ディスクの傷, 汚れなどが原因 (異常ディスクの使用を止めてください。) ● 全ディスクでエラー表示 →機器内部の結露, 汚れなどが原因 (数時間後も全ディスクでエラー表示する場合は, 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。)
E 03 E	主に機器側の異常	三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

10

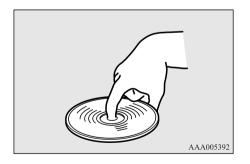
オーディオの上手な使い方

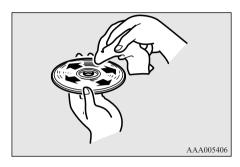
J01102100373

● エンジンを止めて聞くときは，必ずエンジンスイッチを ACC にしてください。
● 走行中は安全のため車外の音が聞こえる程度にしてください。
● 走行中は電波状態が変動するため，受信状態が不安定になることがあります。
● 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがありますが，オーディオの故障ではありません。
このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
● 万一の場合（異物が入った，水がかかった，煙が出る，変な匂いがするなど）は，ただちに使用を中止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。自分で修理しようとしたり，そのままご使用にならないでください。
● ハイグレードサウンドシステム付き車は，助手席の下にオーディオのアンプがあります。アンプに強い衝撃をあたえないでください。故障，破損の原因になります。

コンパクトディスク(CD)の取り扱い

● 寒いときのヒーターを入れた直後など，急に温度が上がると，ディスクやオーディオ内部に露（水滴）が付いて正常に作動しないことがあります。このような場合には，しばらく待ってからご使用ください。
● 悪路走行などで激しく振動した場合，音とびすることがあります。
● 必ずケースに入れて保管してください。また直射日光の当たる場所や高温，多湿の場所などに置かないでください。

CDについて

● 下のマークのついたCD以外は使用できません。
下のマークのついたCDでも，CD-R/RWディスクはCDディスクに比べてディスクの反射率が若干低いため，使用できない場合があります。

AAA005389

ハート型，八角形などJIS規格に合致しない特殊形状のディスクを使用するとプレーヤーの故障原因になります。

● ラベルが貼っていない面に直接触れるとディスクが汚れ，音が悪くなる場合がありますので，必ずディスクの中心の穴と端をはさんでお持ちください。

AAA005392

● 汚れを取るときは，やわらかい布でディスクの内側中心から外側へ直角方向にふきとってください。ベンジン，シンナー，レコードスプレー，帯電防止剤，化学ぞうきんなどは使用しないでください。

AAA005406

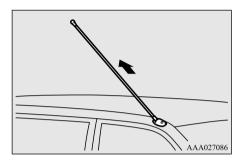
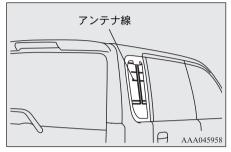
● ヒビがはいったり，大きくそったディスクは使用しないでください。プレーヤーの故障原因になります。
● ラベル面や演奏面にボールペンやサインペンなどで文字を書いたり紙やシールなどを貼りつけないでください。

アンテナ

J01102200895

ピラーアンテナ

ラジオを聞くときはアンテナをいっぱいに伸ばしてからお聞きください。

AAA027086

アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため，必ずアンテナを格納してください。
  - 天井の低い所へ入るとき
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき

テレビアンテナ

タイプ別装備

テレビ用アンテナ線が右側のリヤクォーターガラスの内側にプリントされています。

AAA045958

アドバイス

- リヤクォーターガラスを清掃するときは，アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。
- リヤクォーターガラスに鏡面タイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けると，受信感度が低下する原因となります。
  また，フィルムを貼り付ける際，カッターなどでアンテナ線を傷つけると受信感度が低下するおそれもあります。

簡単な整備・車のお手入れ

簡単な整備

エンジンオイルの補給 11- 2
燃料噴射装置の洗浄 11- 3
ウォッシャー液の点検・補給 11- 3
タイヤメンテナンス 11- 4
クリーンエアフィルターの交換のしかた 11- 6

車のお手入れ

内装品のお手入れ 11- 7
外装品のお手入れ 11- 8

エンジンオイルの補給

J01200100699

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱自動車純正エンジンオイルまたはオイル缶に ILSAC 認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。

→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P. 1-7
→「オイル類の量と種類」P. 14-3

ILSAC認証マーク

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- 外気温が低いときに，エンジンオイル注入キャップおよび注入口の内側にエンジンオイルが白いクリーム状になって付着することがあります。
  これは，エンジン内部の水蒸気が冷やされて水滴となり，エンジンオイルと混ざることにより発生するもので，外気温の上昇，エンジンの暖機が進むことにより水分は蒸発し解消します。
  この現象によるエンジンオイルの変質はなく，そのまま使用しても問題はありません。

11

燃料噴射装置の洗浄

J01200800218

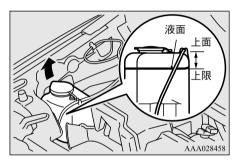
燃料噴射装置の洗浄を行うことにより，本来のエンジン性能を引き出すことができます。
洗浄剤には三菱自動車純正品のインジェクタークリーナーを使用してください。

⚠注意

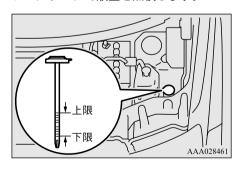
- 三菱自動車純正品以外の洗浄剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
- 他の添加剤と同時に使用しないでください。エンジンに悪影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

- 新車時の性能を長く維持していただくため，15,000kmまたは1年ごとの使用をおすすめします。

ウォッシャー液の点検・補給

J01200200690

フロント・リヤ共用

Aタイプ

タンク内の液面の位置で液量を点検します。
目安はタンク上面から約2cm下が上限です。

Bタイプ

ウォッシャータンクのキャップを開け，レベルゲージで液量を点検します。

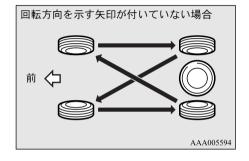
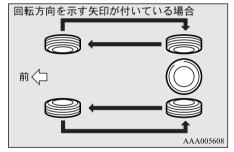
ウォッシャー液が不足している場合は，三菱自動車純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10℃程度
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50℃程度

⚠注意

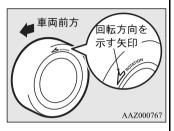
- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

タイヤメンテナンス

J01202100143

タイヤローテーション

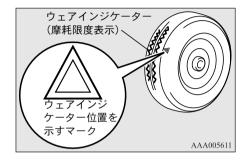
J01202400045

タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

⚠注意

- 応急用スペアタイヤはローテーション作業を行うとき，外したタイヤの代わりに一時的に使用することができますが，ローテーションには加えないでください。

⚠注意

- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

AAZ000767

- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J01202500017

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。

AAA005611

アドバイス

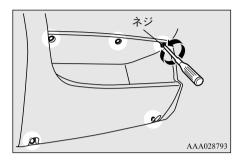
- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

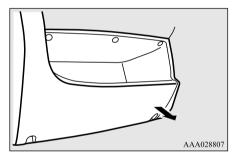
タイヤ空気圧の点検・調整

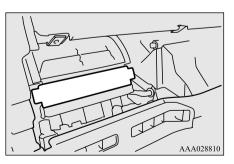
J01202600018

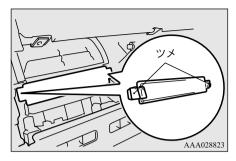
タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-9

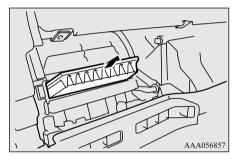
⚠警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

クリーンエアフィルターの交換のしかた

J01202000458

1. 助手席側足元のパネルにある，5 箇所のネジを外します。

AAA028793

2. パネルを手前に引き出し，取り外します。

AAA028807

3. パネルの奥にクリーンエアフィルターがあります。

AAA028810

4. カバー左右にあるツメを外して，カバーを外します。

AAA028823

5. クリーンエアフィルターを取り出して新品と交換します。

AAA056857

6. 元に戻すときは，取り外したときと逆の手順で取り付けます。

アドバイス

- クリーンエアフィルターを交換するときは，エンジンを止めてから行ってください。

11

内装品のお手入れ

J01200600867

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の3%水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。
  また，各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- シートの下など，見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

タイプ別装備

J01202700080

1. ガーゼなどの柔らかい布に，ウール用中性洗剤の5%水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり，雨などでぬれたときは，乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ，合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは，早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり，硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200701100

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

- 下まわりやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202800560

1. 水をかけながら，車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. 柔らかい布またはセーム皮で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠注意

- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下まわりを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  エンジン始動不良などの原因になります。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがあります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約70cm以上）
  - ドアガラスまわりを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約70cm以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，アンテナ（ピラーアンテナ）およびドアミラーを格納してください。
  リヤスポイラー付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領にしたがって洗車してください。

ワックスのかけ方

J01202900385

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスかけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面やメッキ面を削り取るため光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  特に濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色むらなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけ具合や場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

TAZ000229

11

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000208

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100016

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

番号灯のお手入れ

J01203300012

番号灯の内側が汚れたり，水がたまった場合は，まず車体から番号灯を外し，つぎにバルブを外してからレンズを水洗いしてください。

→「番号灯」P. 13-48

アドバイス

- レンズの表面をワックス，ベンジンやガソリンなどの有機溶剤で拭いたり，硬いブラシなどでこすったりしないでください。破損したり劣化を早める原因となります。
- 番号灯を外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。

樹脂部品のお手入れ

J01201500108

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，しみ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと，多量の水で洗い流してください。

アルミホイールのお手入れ

タイプ別装備

J01201600125

1. 水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で洗い落とします。
3. 柔らかい布またはセーム皮で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは，ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りのクリーナーや，酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
  ホイール塗装表面のはがれ，変色，しみの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは，腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

塗装の補修

J01201700096

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

冬期前の点検と準備

J01300101192

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。

→「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P. 14-3

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を50%にします。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を50%以上にします。

→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。

→「タイヤチェーン」P. 12-6

冬用タイヤに取り替えるときは, 4輪とも交換します。

→「タイヤ交換のしかた」P. 13-18

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。

寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

走行前の点検

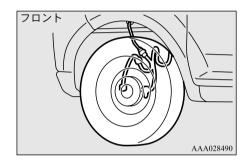
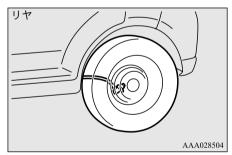
J01300200620

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

アドバイス

- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
→「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 9-11
フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。

12

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドル，ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで，効き具合を確認してください。

12

雪道，凍結路の走行

J01300300618

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。
環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにし，タイヤチェーンを前輪に装着，または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。
車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下まわりを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300400491

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，マニュアル車はシフトレバーを❶または🅡に，オートマチック車はセレクターレバーを🅟に入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300700830

前輪駆動車ですので，タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。
4WD車も前輪駆動を主とした四輪駆動なので，タイヤチェーンは前輪に装着してください。

⚠注意

- タイヤチェーンは後輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
三菱自動車純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 応急用タイヤにはタイヤチェーンは装着できません。前輪がパンクしたときは後輪を前輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。
また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- スチールホイール付き車は，ホイールカバーを外してからタイヤチェーンを取り付けてください。ホイールカバーを付けたままタイヤチェーンを取り付けると，ホイールカバーが傷つくおそれがあります。
→「ホイールカバー」P. 13-21

アドバイス

- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けるとホイールが傷つくおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

12

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！ 13- 2
こんなことでお困りのときは! 13- 5
故障したときは！ 13- 8
発炎筒を使うときは！ 13- 9
工具とジャッキ 13- 9
ジャッキアップのしかた 13- 11
スペアタイヤ（応急用タイヤ） 13- 16
タイヤ交換のしかた 13- 18
バッテリー上がりのときは！ 13- 23
オーバーヒートしたときは！ 13- 25
けん引 13- 27
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！ 13- 30
バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！ 13- 30
ヒューズが切れたときは！ 13- 31
バルブ（電球）が切れたときは！ 13- 35

13

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400100848

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P. 6-14

安全な場所に停車し，まず車を点検してください。点検後も消灯しないときは，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。
ただし，ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは，急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に停めてエンジンを停止してください。再度エンジンをかけ，点灯しなければ異常ありません。たびたび点灯するときはできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	ブレーキ警告灯	P. 6-13
	油圧警告灯	P. 6-14
	高水温警告灯	P. 6-15
	セレクターレバー位置表示灯（1秒間に約2回点滅）（4速オートマチック車）	P. 7-14

急ブレーキや高速走行を避け，安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，点灯しなければ異常ありません。
たびたび点灯するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	ABS警告灯	P. 7-23

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯	P. 5-26
	エンジン警告灯	P. 6-14
	セレクターレバー位置表示灯（1秒間に約1回点滅）（4速オートマチック車）	P. 7-14

13

参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト警告灯	P. 5-13
	半ドア警告灯	P. 6-15
	燃料残量警告灯	P. 6-9
	ヘッドライトオートレベリング警告灯	P. 6-18

定期点検時期が近づいたことを知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	サービスリマインダー	P. 6-3, 6-6

こんなことでお困りのときは!

J01400301573

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み, ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 2-12
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一, 走行中にエンストしたときは」→ P. 2-15
キーが回らない。	**LOCKからACCに回らない** ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** 〔オートマチック車〕 次の項目を確認してください。 ● セレクターレバーをⓅの位置に入れる ● セレクターレバーをⓅの位置で軽く前後に動かす ● ヒューズ(キーロック, ラジオ, メーター)が切れていないか ● セレクターレバーのボタンを1~2度操作する ● キーをACCからONへ回した後, 再度LOCKまで回す 〔マニュアル車〕 ACCの位置でキーを押しながら, LOCKまで回してください。 「キーを抜くときは」→ P. 7-8
セレクターレバーがⓅから動かない。(オートマチック車)	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバーを操作してください。また, 次の項目を確認してください。 ● エンジンスイッチがONになっているか ● バッテリーが上がっていないか ● ヒューズ(キーロック, ラジオ, メーター)が切れていないか 「セレクターレバーの動かし方」→ P. 7-12

現象	処置
雨の日, 湿気の多い日などに窓が曇る。	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り, 霜を取りたいときは」 → P. 9-11
パンクした。	1. あわてずに, ハンドルをしっかり持ち, 安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P. 13-18
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない, 暗い。 ホーンが鳴らない, 音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは!」→ P. 13-23
高水温警告灯が点灯していたり, エンジンの出力が急に低下する。エンジンルームから蒸気が出ている。	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」→ P. 13-25

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時)	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 ● 1. 毛布か布などがあるときは, それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進します。 ● 何も滑り止めにするものがないときは, 前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは, 車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは, むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み, かえって脱出しにくくなります。また, エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは, 専門業者に依頼してください。

現象	処置
オートマチックトランスミッションが変速しない。 発進時の出足が鈍い。	オートマチックトランスミッションに異常が発生し, 安全装置が働いていると考えられます。 そのままお近くの三菱自動車販売会社まで運転し, 点検を受けてください。 発進しにくいときは❷に入れて発進し, その後はⒹに戻して走行してください。 (故障の内容によってはこの方法でも効果がない場合もあります。)

13

故障したときは！

J01400400346

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
このとき，シフトレバー（セレクターレバー）をⓃに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- マニュアル車，オートマチック車ともエンジンスイッチをSTARTの位置で保持して緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

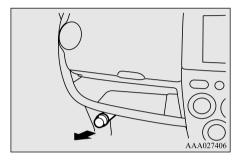
高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

13

発炎筒を使うときは！

J01400500305

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用したときや期限切れのときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
発炎筒は，助手席足元に備えつけてあります。

AAA027406

警告

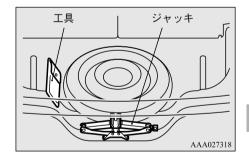
- お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
  火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-19
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ

J01400600566

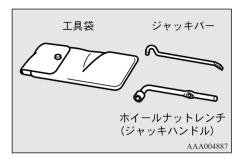
注意

- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

ラゲッジルーム内のラゲッジフロアボード下に格納されています。

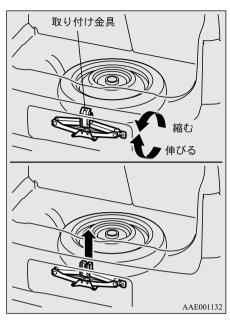
AAA027318

注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

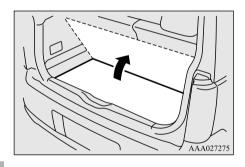
J01404300268

AAA004887

ジャッキの脱着

J01404200515

◆ 取り出すときは

1. ラゲッジフロアボードを引き上げます。

AAA027275

2. ジャッキを縮めて取り付け金具から取り外します

AAE001132

◆ 格納するときは

1. ジャッキを伸ばして取り付け金具に固定します。
2. ラゲッジフロアボードを元の位置に戻します。

ジャッキアップのしかた

J01400701375

⚠警告

- **ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。**

⚠注意

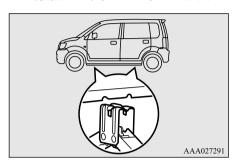
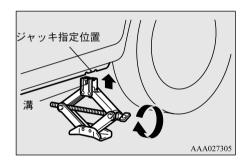
- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - エンジンをかけたままにしない。
  - 人や荷物を乗せたままにしない。
  - 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物をはさまない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーをⓇに入れます。
   オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

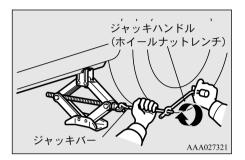
5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

アドバイス

● 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. 工具とジャッキを取り出します。
→「工具とジャッキ」P. 13-9
7. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。

8. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。

⚠警告

● ジャッキ頭部の溝は，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

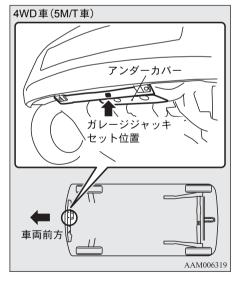
9. ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込み，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。

⚠注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ガレージジャッキを使用するときは

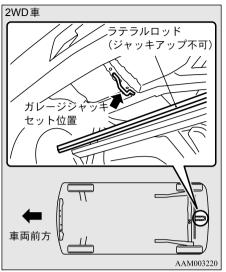
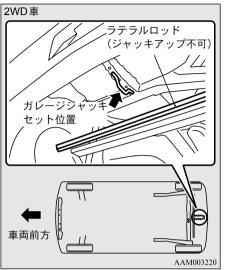
⚠警告

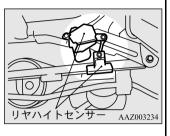
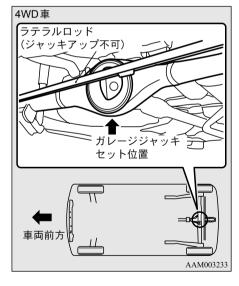
- ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ラテラルロッドにガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。ラテラルロッドにガレージジャッキを当ててジャッキアップすると，車両を損傷するおそれがあります。

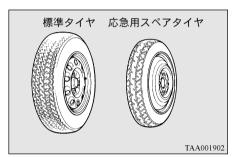
◆ ガレージジャッキセット位置

フロント

2WD 車, 4WD 車（除く, 5M/T 車）

4WD 車（5M/T 車）

⚠注意

- 4WD-5M/T 車の前方をジャッキアップするときは，指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，アンダーカバーが変形するおそれがありますので，十分注意して作業をしてください。

リヤ

⚠注意

- ヘッドライトオートレベリング付き車は，ガレージジャッキのセット位置近くにリヤハイトセンサーが付くため，ガレージジャッキを当てないようにして作業してください。

スペアタイヤ（応急用タイヤ）

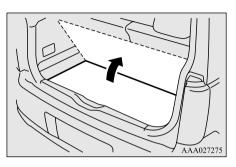
J01400800728

タイヤがパンクしたとき，パンク修理するまでの応急用として，一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
応急用スペアタイヤは，図のように標準タイヤに比べて，直径がいくぶん小さくなっています。

⚠注意

- 応急用スペアタイヤを装着したときは，80km/h以下のスピードで走行してください。
- 応急用スペアタイヤは，標準タイヤに比べて直径が小さくなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。特に車高が少し低くなりますので，突起物などを乗り越えるときは十分注意してください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは，応急用スペアタイヤを後輪に装着し，外した後輪タイヤを前輪に取り付けてから，前輪にタイヤチェーンを装着してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組みあわせたり，お客様のお車以外に使用しないでください。

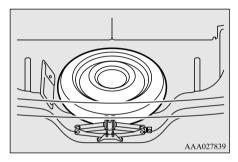
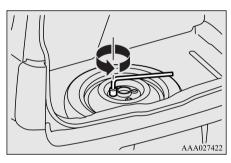
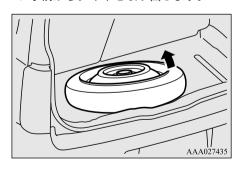
⚠注意

- 空気圧は，定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足しているときは，もよりの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-9

格納場所

スペアタイヤは，ラゲッジルームに格納されています。

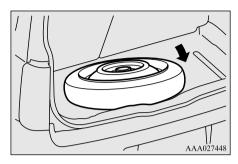
取り出すときは

1. ラゲッジフロアボードを引き上げます。

AAA027275

2. ホイールナットレンチで固定用ボルトを左に回して外します。

AAA027422

3. 手前からタイヤを取り出します。

AAA027435

格納するときは

1. タイヤをリヤシート側から置きます。

AAA027448

2. ホイールナットレンチを使用して固定用ボルトを右に回して確実に締め付けます。
3. ラゲッジフロアボードを元の位置に戻します。

タイヤ交換のしかた

J01400901465

タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーをⓇに入れます。
   オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

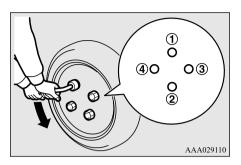
5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

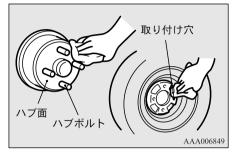
アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. スペアタイヤ，工具およびジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-9
   →「スペアタイヤ」P. 13-16

アドバイス

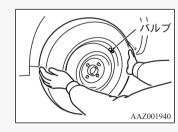
- 取り出したスペアタイヤは，万一ジャッキが外れたときのため，ジャッキ近くの車体の下に置いてください。

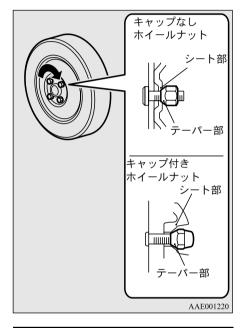
7. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り外します。
   →「ホイールカバー」P. 13-21
8. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
   →「ジャッキアップのしかた」P. 13-11

9. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで左に回してゆるめます。

10. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
11. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
  下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。

2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

- **タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。**
  タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。

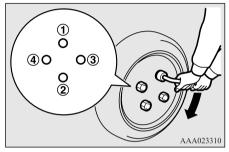
13

3. 手でホイールナットを右へ回して，ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。
応急用スペアタイヤを取り付けるときも同様に仮締めします。

⚠警告

- ハブボルト，ホイールナットには油やグリースを塗らないでください。
必要以上に締め付けられてボルトが破損したり，ホイールが損傷するおそれがあります。また，ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3回に分けて，徐々に締め付けます。
最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク：88~108N•m
{9~11kgf•m}
(車載のホイールナットレンチの先端で350~420N {35~42kgf} の力)

⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り付けます。
→「ホイールカバー」P. 13-21
6. タイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P. 14-9
7. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
→「格納場所」P. 13-9
8. 交換したタイヤは，ラゲッジルームに格納します。

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

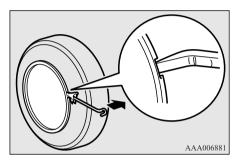
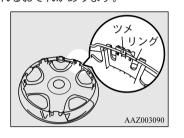
- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

ホイールカバー

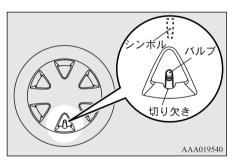
タイプ別装備

J01402800432

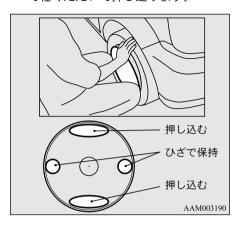
◆ 取り外すときは

1. ジャッキバーの先に布をかぶせて，ホイールカバーの切り欠き部へ深く差し込み，タイヤ側にこじてカバーを少し浮かせます。

2. カバーが浮いたら，ホイールカバーの周囲に沿ってジャッキバーの差し込み位置を変えながら，少しずつこじてカバーを取り外します。

⚠注意

- ホイールカバーが外れるまでジャッキバーを使ってください。手でこじるとホイールカバーの端などでけがをするおそれがあります。

13

◆ 取り付けるときは

⚠注意

- ホイールカバーを取り付ける前に，裏面のツメがリングに正しく組み付いていることを確認してください。また，ツメが折れているときはホイールカバーを取り付けないでください。正しく組み付いていなかったり，ツメが折れていると，走行中にホイールカバーが外れるおそれがあります。

1. タイヤのバルブ（空気注入口）とホイールカバーの切り欠き部を合わせます。

アドバイス

- カバー裏側に切り欠き部の位置を表示するシンボルがあります。

2. ホイールカバーの下部をホイールに押し込みます。
3. ホイールカバーの両端を軽く押し込み，両ひざで保持します。
4. ホイールカバーの上部を外周に沿って軽くたたいて押し込みます。

バッテリー上がりのときは！

J01401001085

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。

AAA027480

ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

- **救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。**

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

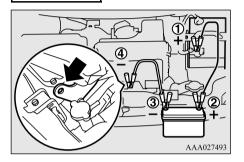
- 救援車は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

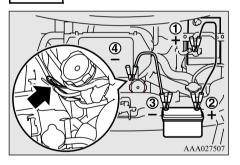
2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーをⓃ，オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチをLOCKまで回します。
   →「キーを抜くときは」P. 7-8

⚠警告

- **ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。**
- **冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。**

4. バッテリー液量を確認します。

⚠警告

- **バッテリー液量が下限(LOWER LEVEL)以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。**

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車のバッテリーの＋端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）

除く，ターボ車

AAA027493

ターボ車

AAA027507

⚠警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの－端子に直接つなぐと，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは，＋と－端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
- ブースターケーブルは，バッテリーの容量に適したものを使用してください。
  ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。
8. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
9. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- バッテリーを車両に搭載したままでの充電は，引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは，バッテリーに接続されている車両側の－端子を取り外してください。
- 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。
- 充電するときは，すべてのキャップを外してください。

⚠警告

- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。

⚠注意

- 押しがけやけん引により，エンジンをかけることは行わないでください。
  特にオートマチック車は，マニュアル車と構造が異なるため，この方法ではエンジンはかかりません。

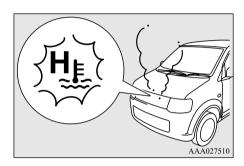
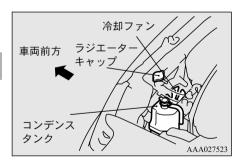
アドバイス

- ABS 装着車は充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯およびブレーキ警告灯が点灯することがあります。
  →「走行中に警告灯が点灯したときは」P. 7-24

オーバーヒートしたときは！

J01401100962

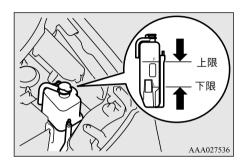
つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- 高水温警告灯が点灯したり，エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。

1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

[蒸気が出ていないとき]
エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

[蒸気が出ているとき]
エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

⚠警告

- **エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。**

3. 冷却ファンが作動していることを確認してください。

⚠警告

- **冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。**

アドバイス

- 冷却ファンが作動していないときは，エンジンを止めて自然冷却します。その後，すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

4. 高水温警告灯が消灯したら，エンジンを止めます。
5. エンジンが十分冷えてから冷却水の有無を点検します。

⚠警告

- **通常はラジエーターキャップを外さないでください。**
  冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

J01401200989

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
つぎの場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

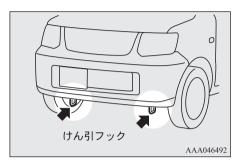
- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または専門業者に依頼してください。

レッカー車に搬送してもらうとき

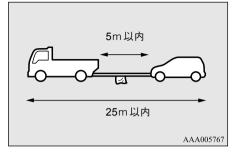
⚠注意

- 2WD 車で駆動系部品が故障したと思われるときは，必ず駆動輪（前輪）を持ち上げてけん引してください。
- 4WD 車は必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
  →「フルタイム 4WD」P. 7-20
- 2WD 車のオートマチック車で，駆動輪（前輪）を接地してけん引するときの時速は 30km/h 以下，けん引する距離は 30km 以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションが破損するおそれがあります。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，つぎの要領で行ってください。

他車にけん引してもらうとき

J01403901059

1. けん引ロープをけん引フックにかけます。

アドバイス

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると，車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか，車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
- けん引ロープは三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると，車体を傷つけるおそれがあります。
- けん引ロープはできるだけ同じ側のフックにかけて斜めけん引とならないようにしてください。

2. けん引ロープには，30cm 平方（タテ 30cm × ヨコ 30cm）以上の白い布を必ずつけてください。

3. エンジンはできるだけかけておいてください。
   エンジンがかからないときは，エンジンスイッチを ACC または ON にします。

警告

- **エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。**

注意

- エンジンスイッチが LOCK 位置にあると，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

4. シフトレバー（セレクターレバー）をⓃに入れます。
5. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
   →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-19

警告

- **けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。**

13

⚠警告

- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- オートマチック車をけん引するときの速度は30 km/h以下，けん引する距離は30km 以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

他車のけん引

J01404100224

アドバイス

- この車で他車をけん引することはできません。

13

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300296

ターボ車

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！

J01401400183

エンジン回転数が不安定になったときは，つぎの方法でエンジンの初期調整操作を行ってください。

1. 安全な場所に車を止めます。
2. オートマチック車はセレクターレバーをⓅに，マニュアル車はシフトレバーをⓃに入れて，エンジンを止めます。
3. 再度，エンジンを始動します。
4. エアコンのすべての作動を停止します。
5. 低水温表示灯が消灯するまで暖機運転します。
6. エンジンを一旦停止し，再度エンジンを始動します。
7. 約10分間アイドリングします。
8. エンジン回転数が安定すれば初期調整操作は終了です。

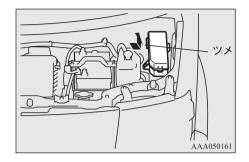
アドバイス

- エンジンの初期調整操作を行ってもエンジン回転数が安定しないときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヒューズが切れたときは！

J01401500908

各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

アドバイス

- 予備ヒューズは装備されておりません。三菱自動車販売会社などでお買い求めください。

ヒューズボックスの位置

J01407500102

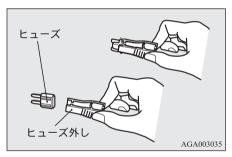
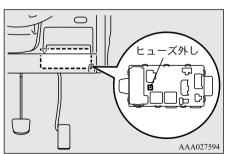
◆ 運転席足元

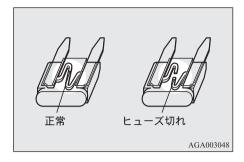
ヒューズボックスは図のように運転席足元に取り付けられています。

ツメを押し，ロックを外してカバーを取り外します。

◆ エンジンルーム内

ツメを押し，ロックを外して取り外します。

13

ヒューズの交換

J01407600103

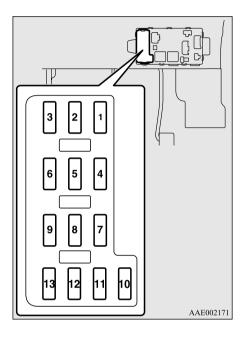
1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
→「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-33

アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，ヒューズボックスのふたに記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，運転席足元のヒューズボックスの右横にあります。

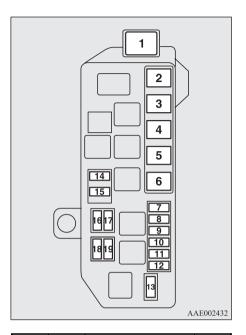
4. ヒューズを点検し，切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。

⚠警告

- **取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。**

アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403700962

◆ 運転席足元

NO.	表示	装備	容量
1		ドアロック	20A
2		室内灯（ルームランプ）	10A
3		ワイパー	15A
4		ヒーター	25A
5	—	—	—
6		デフォッガー	25A
7		アクセサリーソケット	15A
8		後退灯（バックアップランプ）	10A
9		尾灯（テールランプ）	10A
10		キーロック	15A
11		コントロールユニットリレー	10A
12		ラジオ	10A
13		メーター	10A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

13

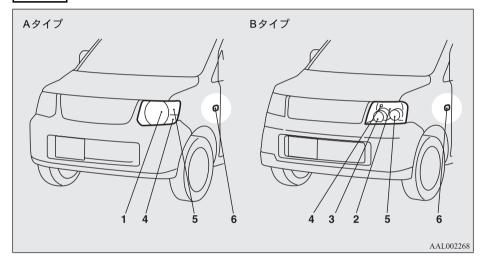
◆ エンジンルーム内

NO.	表示	装備	容量
1	ABS	ABS	60A
2		バッテリー	40A
3		イグニッションスイッチ	40A
4		ラジエーターファンモーター	40A
5		パワーウインドウ	40A
6		パワースライドドア/オーディオ	30A
7		エンジンコントロール	20A
8		フューエルポンプ	15A
9		エアコンコンプレッサー	15A
10		フロントフォグランプ	15A
11	STOP	制動灯(ストップランプ)	15A
12		非常点滅灯	10A
13		ホーン	15A
14		イグニッションコイル	15A
15		ホーン	10A
16		ヘッドライト(下向き)(右)	15A
17		ヘッドライト(下向き)(左)	15A
18		ヘッドライト(上向き)(右)	10A
19		ヘッドライト(上向き)(左)	10A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

バルブ（電球）が切れたときは！

J01401600765

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。バルブ（電球）を点検し，切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

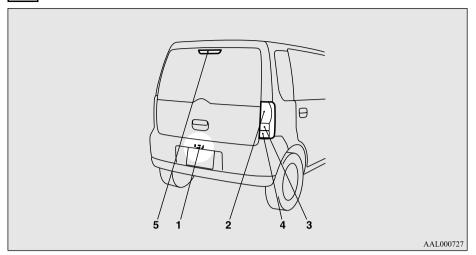
J01406200056

◆ 車外照明

J01406800267

フロント

1- ヘッドライト
2- ヘッドライト（ハイビーム）
3- ヘッドライト（ロービーム）
4- 車幅灯
5- 方向指示灯／非常点滅灯（フロント）
6- 方向指示灯／非常点滅灯（サイド）

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>ワット数(型式)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">ヘッドライト</td><td>除く, ディスチャージヘッドランプ付き車</td><td>ハイビーム／ロービーム〔ハロゲン球〕</td><td>60/55W (H4)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ディスチャージヘッドランプ付き車</td><td>ハイビーム〔ハロゲン球〕</td><td>60W (HB3)</td></tr>
<tr><td>ロービーム〔ディスチャージ球〕</td><td>35W (D2S)</td></tr>
<tr><td colspan="3">車幅灯</td><td>5W (W5W)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">方向指示灯</td><td rowspan="2">フロント</td><td>Aタイプ</td><td>21W (WY21W)</td></tr>
<tr><td>Bタイプ</td><td>21W (P21W)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">サイド</td><td>クリアレンズ付き車</td><td>5W (WY5W)</td></tr>
<tr><td>アンバーレンズ付き車</td><td>5W (W5W)</td></tr>
</table>

●(　)内は電球（バルブ）の型式を示しています。

⚠注意

● ディスチャージヘッドランプの修理・バルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

13

リヤ

1- 番号灯
2- 制動灯／尾灯(LED)
3- 方向指示灯／非常点滅灯（リヤ）
4- 後退灯
5- ハイマウントストップランプ

項目	ワット数(型式)
後退灯	16W (W16W)
番号灯	5W (W5W)
方向指示灯	21W (WY21W)
ハイマウントストップランプ〔バルブ式〕タイプ別装備	21W (W21W)

● (　)内は電球（バルブ）の型式を示しています。

アドバイス

● 制動灯／尾灯およびリヤスポイラー付き車のハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 車内照明

J01406300158

フロントルーム＆マップランプ	8W
ルームランプ［室内灯］	8W

バルブ（電球）の交換

J01401700737

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
→「バルブ（電球）のワット数」P. 13-35

⚠注意

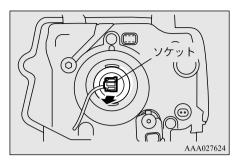
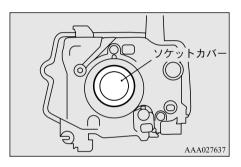
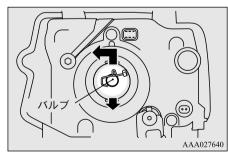
- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

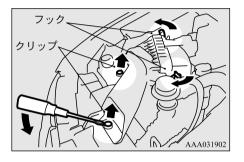
アドバイス

- バルブを交換するときは, 同じワット(W)数，同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズ内側が曇ることがあります。
バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ヘッドライト

J01401901488

Aタイプ

1. 運転席側のバルブを交換するときに運転席側にウォッシャータンクがある場合は，作業スペースを確保するためウォッシャータンクを上方へ引き上げて外し，車両後方へ移動させます。

2. 助手席側のバルブを交換するときは，つぎの方法で作業スペースを確保します。
   - コンデンスタンクを上方へ引き上げて外し，車両右側へ移動させます。
   - ボルトを外してプレートを取り外します。
   - 助手席側にウォッシャータンクがある場合は，ナットを外してウォッシャータンクキャップを取り外します。

3. ヘッドライトバルブのソケットを引き抜きます。

4. ソケットカバーを外します。

5. 留め金を外し，矢印方向に引き起こしてバルブを引き抜きます。

6. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

Bタイプ（ハイビーム）

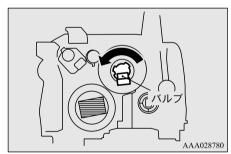
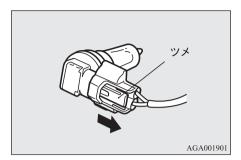
1. ターボ車の運転席側のバルブを交換する場合は，作業スペースを確保するためエアクリーナーインテークダクト（クリップ2箇所）およびエアクリーナーカバー，エアクリーナーエレメント（フック2箇所）を外します。

AAA031902

除く，ターボ車はウォッシャータンクを上方に引き上げて外し，車両後方へ移動させます。

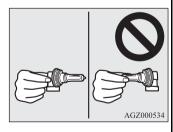
AAA031885

2. 助手席側のバルブを交換するときは，つぎの方法で作業スペースを確保します。
   - コンデンスタンクを上方へ引き上げて外し，車両右側へ移動させます。
   - ボルトを外してプレートを取り外します。
   - ターボ車は，ナットを外してウォッシャータンクキャップを取り外します。

AAA047095

3. バルブを反時計回りに回して外します。

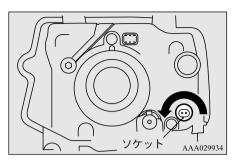
AAA028780

13

4. ツメを押しながら，ソケットを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

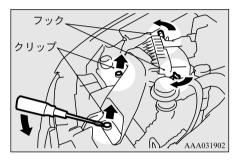
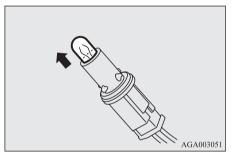
- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

◆ 車幅灯

J01402000535

Aタイプ

1. 運転席側のバルブを交換するときに運転席側にウォッシャータンクがある場合は，つぎの方法で作業スペースを確保するためウォッシャータンクを上方に引き上げて外し，車両後方へ移動させます。

2. 助手席側のバルブを交換するときは，つぎの方法で作業スペースを確保します。
   - コンデンスタンクを上方へ引き上げて外し，車両右側へ移動させます。
   - ボルトを外してプレートを取り外します。
   - 助手席側にウォッシャータンクがある場合は，ナットを外してウォッシャータンクキャップを取り外します。

3. ソケットを反時計回りに回して外します。

4. ソケットからバルブを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

Bタイプ

1. ターボ車の運転席側のバルブを交換する場合は，作業スペースを確保するためエアクリーナーインテークダクト（クリップ2箇所）およびエアクリーナーカバー，エアクリーナーエレメント（フック2箇所）を外します。

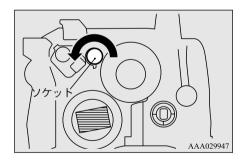
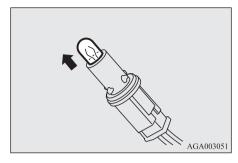
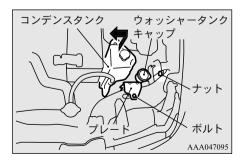
除く，ターボ車はウォッシャータンクを上方に引き上げて外し，車両後方へ移動させます。

2. 助手席側のバルブを交換するときは，つぎの方法で作業スペースを確保します。
   - コンデンスタンクを上方へ引き上げて外し，車両右側へ移動させます。
   - ボルトを外してプレートを取り外します。
   - ターボ車は，ナットを外してウォッシャータンクキャップを取り外します。

3. ソケットを反時計回りに回して外します。

4. ソケットからバルブを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

13

◆ 方向指示灯（フロント）

J01402100594

Aタイプ

1. 運転席側のバルブを交換するときに運転席側にウォッシャータンクがある場合は，つぎの方法で作業スペースを確保するためウォッシャータンクを上方に引き上げて外し，車両後方へ移動させます。

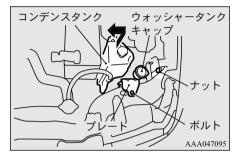
2. 助手席側のバルブを交換するときは，つぎの方法で作業スペースを確保します。
   - コンデンスタンクを上方へ引き上げて外し，車両右側へ移動させます。
   - ボルトを外してプレートを取り外します。
   - 助手席側にウォッシャータンクがある場合は，ナットを外してウォッシャータンクキャップを取り外します。

3. ソケットを反時計回りに回して外します。

4. ソケットからバルブを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

13

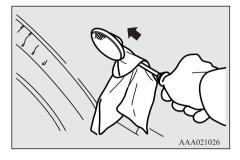
Bタイプ

1. ターボ車の運転席側のバルブを交換する場合は，作業スペースを確保するためエアクリーナーインテークダクト（クリップ2箇所）およびエアクリーナーカバー，エアクリーナーエレメント（フック2箇所）を外します。

除く，ターボ車はウォッシャータンクを上方に引き上げて外し，車両後方へ移動させます。

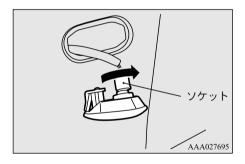
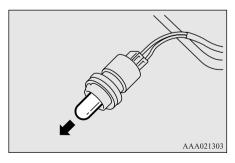
2. 助手席側のバルブを交換するときは，つぎの方法で作業スペースを確保します。
   - コンデンスタンクを上方へ引き上げて外し，車両右側へ移動させます。
   - ボルトを外してプレートを取り外します。
   - ターボ車は，ナットを外してウォッシャータンクキャップを取り外します。

3. ソケットを反時計回りに回して外します。

4. バルブを押しながら反時計回りに回して，ソケットから引き抜きます。

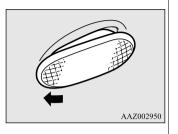
AAA046939

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ 方向指示灯（サイド）

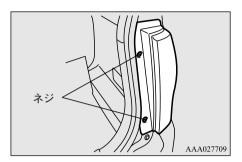
J01402200452

1. 車両後方側より先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，ランプ本体をこじて外します。

AAA021026

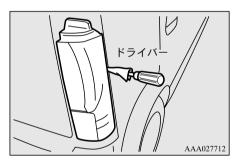
2. ソケットを反時計回りに回して外します。

AAA027695

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA021303

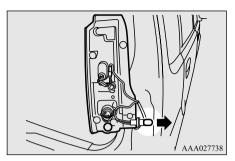
4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- ランプ本体を取り付けるときは，車体前方側より先に取り付けます。

AAZ002950

◆ リヤコンビネーションランプ

J01403000516

1. ネジ（2箇所）を外します。

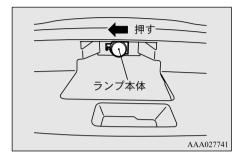
AAA027709

2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをランプ本体と車体の隙間に差し込み，こじて外します。

AAA027712

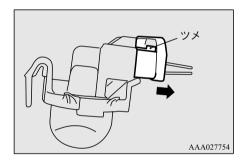
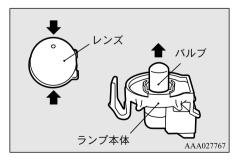
3. ソケットを反時計回りに回して外します。

AAA027725

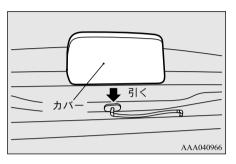
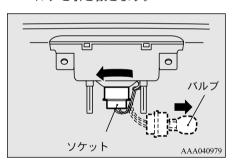
4. ソケットからバルブを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

● 制御灯/尾灯はバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 番号灯

J01402600528

1. ランプ本体を車体左側へ押しながら外します。

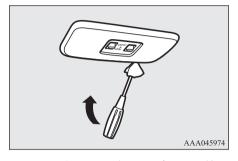
2. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。

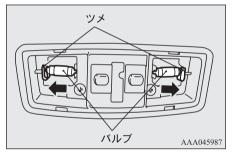
3. レンズの両端を押しながらレンズをランプ本体から外し，バルブを引き抜きます。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ ハイマウントストップランプ（バルブ式） タイプ別装備

J01402700473

1. テールゲートを開けます。
   →「テールゲート」P. 4-23
2. カバーの両端を持ち，矢印の向きに引いて外します。

3. ソケットを反時計回りに回して外し，バルブを引き抜きます。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

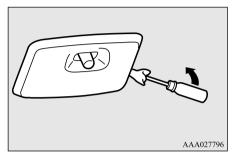
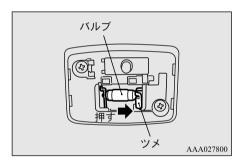
- リヤスポイラー付き車のハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなくLED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ フロントルーム＆マップランプ

J01404400504

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠きに差し込んで，こじて外します。

2. ツメを押しながらバルブを取り外します。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

13

◆ ルームランプ

J01403500029

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠きに差し込んで，こじて外します。

AAA027796

2. ツメを押しながらバルブを取り外します。

AAA027800

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

メンテナンスデータ

J01600101300

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

J01600500017

容量	使用銘柄
約30L	無鉛レギュラーガソリン ● 燃料は指定されたものを補給してください。→P. 2-3

オイル類の量と種類

J01601200516

<table>
<tr><th rowspan="2">項目</th><th rowspan="2" colspan="2">容量</th><th colspan="4">使用銘柄</th></tr>
<tr><th>三菱自動車
純正銘柄</th><th>API分類</th><th>ILSAC
規格</th><th>SAE
粘度番号</th></tr>
<tr><td rowspan="9">エンジン
オイル</td><td rowspan="5">除く，
ターボ車</td><td rowspan="5">約3.2L
（オイル
フィル
ター内
約0.2Lを
含む）</td><td>ダイヤクイーン
SMエコ</td><td rowspan="2">SM</td><td rowspan="3">GF-4</td><td>0W—20</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ダイヤクイーン
SM</td><td>5W—30</td></tr>
<tr><td>SM/CF</td><td>10W—30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SLスーパー</td><td>SL相当</td><td>—</td><td>5W—20
10W—30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SJ</td><td>SJ相当/CF</td><td>—</td><td>10W—30</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ターボ車</td><td rowspan="3">約3.2L
（オイル
フィル
ター内
約0.2Lを
含む）</td><td>ダイヤクイーン
SM</td><td>SM/CF</td><td>GF-4</td><td>10W—30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SLスーパー</td><td>SL相当</td><td>—</td><td>10W—30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SJ</td><td>SJ相当/CF</td><td>—</td><td>10W—30</td></tr>
<tr><td colspan="6">● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。
-30 -20 -10 0 10 20 30 40 ℃
SAE 10W-30
SAE 0W-20,5W-20,5W-30
AAM007228</td></tr>
</table>

⚠注意

● ターボ車は0W—20，5W—20および5W—30を使用しないでください。0W—20，5W—20および5W—30は低粘度のオイルであるため潤滑不良がおき，エンジンが焼きつくおそれがあります。10W—30をご使用ください。

アドバイス

● 0W—20は最も省燃費性に優れたオイルです。（除く，ターボ車）
● 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

14

オイル類の量と種類

J01600600702

項目			容量	使用銘柄
オートマチックトランスミッションオイル	2WD車	3A/T	約4.0L	三菱自動車純正 ダイヤクイーンATF　SPIII
		4A/T	約4.3L	
	4WD車	3A/T	約4.5L*[1]	
		4A/T	約4.8L*[1]	
マニュアルトランスミッションオイル	2WD車		約2.2L	三菱自動車純正ダイヤクイーン ニューマルチギヤオイル SAE 75W-80 (GL-3) または, 三菱自動車純正ダイヤクイーン マルチギヤオイル　75W-85W (GL-4)
	4WD車		約2.9L*[1]	
リヤディファレンシャルオイル (4WD車)			約0.8L	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル SAE90 (GL-5)
ブレーキ液			所要	三菱自動車純正ダイヤクイーン ブレーキフルードスーパー4 (DOT4)
パワーステアリングオイル			所要	三菱自動車純正ダイヤクイーン パワステフルード

*[1]：トランスファーオイルを含む

冷却水の量と種類

J01600700543

項目	容量	使用銘柄
冷却水 (コンデンスタンク内約0.55Lを含む)	約4.0L	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラント

ウォッシャー液の量と種類

J01600800384

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約1.6L	三菱自動車純正ウォッシャー液

点火プラグの種類

J01600900646

使用銘柄		電極部のすきま
除く, ターボ車	NGK: 日本特殊陶業製:ZFR5F-11 NGK: 日本特殊陶業製:ZFR6F-11 DENSO:デンソー製:KJ16CR-U11 DENSO:デンソー製:KJ20CR-U11	1.0~1.1mm
ターボ車	NGK: 日本特殊陶業製:IFR6B DENSO:デンソー製:SVK20RZ8	0.7~0.8mm

● 点火プラグの点検，交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

バッテリーの種類

J01601400664

<table>
<tr><th rowspan="4">項目</th><th colspan="5">形式</th></tr>
<tr><th colspan="4">2WD</th><th rowspan="3">4WD</th></tr>
<tr><th rowspan="2">M/T</th><th rowspan="2">3A/T</th><th colspan="2">4A/T</th></tr>
<tr><th>除く,
ターボ車</th><th>ターボ車</th></tr>
<tr><td>除く,寒冷地仕様車</td><td colspan="2">34B19L</td><td>42B19L</td><td>34B19L</td><td rowspan="2">42B19L</td></tr>
<tr><td>寒冷地仕様車</td><td colspan="4">42B19L</td></tr>
</table>

⚠警告

- バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
- バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

アドバイス

- バッテリー交換後は, エンジンやオートマチックトランスミッションなど電子制御システムの学習内容が消去されるため，エンジン回転数が不安定になったり，4速オートマチック車ではシフトショックが発生する場合があります。
  エンジン回転数が不安定になったときは，エンジンの初期調整操作を行ってください。
  →「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは!」P. 13-30
  シフトショックは，数回変速をくり返せばスムーズに変速するようになります。

整備基準値

J01601000309

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="3">サービスデータ</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">ブレーキペダル</td><td>遊び</td><td colspan="2">3~8mm</td></tr>
<tr><td rowspan="2">踏み込んだときの床板とのすきま（踏力 約500N{約50kgf}）</td><td>M/T車</td><td>70mm以上</td></tr>
<tr><td>A/T車</td><td>50mm以上</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">クラッチペダル</td><td>遊び</td><td colspan="2">15~20mm</td></tr>
<tr><td>切れたときの床板とのすきま</td><td colspan="2">80mm以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">駐車ブレーキ</td><td>M/T車</td><td>引きしろ（操作力 約200N{約20kgf}）</td><td colspan="2">5~7ノッチ</td></tr>
<tr><td>A/T車</td><td>踏みしろ（操作力 約200N{約20kgf}）</td><td colspan="2">4~5ノッチ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ベルトのたわみ量</td><td>A
TAM000244</td><td colspan="2">インジケーター(A)が範囲内にあること（ハンドルを左に切り，運転席側のタイヤとボデーの間から確認します。）</td></tr>
</table>

14

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600201226

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 4WD車は4輪に駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
タイヤおよびホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

項目	タイヤ	ホイール
除く, ターボ車	155/65R13 73S	13×4.00B (46mm) [100mm] 4穴
ターボ車	165/55R14 72V	14×4 1/2J (46mm) [100mm] 4穴

(　)内は，オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）

[　]内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）

冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

14

タイヤの空気圧

J01600300901

<table>
<tr><th colspan="2">タイヤサイズ</th><th colspan="2">空気圧 (kPa {kgf/cm²})</th></tr>
<tr><td rowspan="3">標準タイヤ</td><td>155/65R13 73S</td><td colspan="2">240{2.4}</td></tr>
<tr><td rowspan="2">165/55R14 72V</td><td>2WD</td><td>220{2.2}</td></tr>
<tr><td>4WD</td><td>240{2.4}</td></tr>
<tr><td>応急用タイヤ</td><td>T105/80D13
T115/70D14</td><td colspan="2">420{4.2}</td></tr>
</table>

14

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600401446

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスエントリー	リモコンスイッチで解錠した後, 自動的に施錠されるまでの時間 →P. 4-3	約30秒	○
		時間を長くする	
	リモコンスイッチで施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 4-4	施錠時:1回点滅 解錠時:2回点滅	○
		施錠時:1回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:2回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:1回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:1回点滅	
		点滅しない	
	リモコンスイッチでできるパワーウインドウの開閉操作 →P. 4-4	閉じるのみ	○
		開ける, 閉じる	
		開閉しない	
	リモコンスイッチで解錠できるドア[*1] →P. 4-3	すべてのドア (含む, スライドドア) およびテールゲート	○
		運転席ドア	

[*1]：お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた」P. 4-6

14

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ドアミラー	自動格納・復帰の条件 →P. 4-4, 7-6	車速約30km/h以上で復帰	○
		エンジンスイッチに連動(ONで復帰, OFFで運転席ドアを開くと格納)	
		キーレスエントリーによるドアのロック・アンロックに連動(ロックで格納, アンロックで復帰)	
		自動格納・復帰しない	
セキュリティーアラーム*2	システムの設定 →P. 4-26	警報作動する	
		警報作動しない	○
パワーウインドウ	エンジンスイッチをOFFにした後に開閉できる時間(タイマー機能) →P. 4-34	約30秒	○
		時間を長くする	
		タイマー機能を働かなくする	
	ロックスイッチをONにしたときに運転席スイッチで開閉できるドアガラス →P. 4-35	全席	○
		運転席のみ	
半ドア警告	半ドアのまま走行したときの, ブザーによる警告 →P. 6-15	警告する	○
		警告しない	
		連続して警告する	
ヘッドライト	ヘッドライトオートカット機能(自動消灯) →P. 6-16	作動する	○
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置 →P. 6-16	≣Dのみ	○
		≡D0≡と≣D	

*2：お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「システム作動の設定変更のしかた」P. 4-28

14

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
方向指示灯	車線変更時の3回点滅機能が作動するまでのレバー操作時間 →P. 6-19	短い	○
		長い	
		3回点滅機能が作動しない	
	方向指示灯の点灯に合わせて断続的に鳴るブザー音 →P. 6-19	標準	○
		音色を変更する	
	方向指示灯が作動するエンジンスイッチの位置 →P. 6-19	ON	○
		ONまたはACC	
リヤワイパー (リヤワイパー付き車)	間けつ作動時間→P. 6-22	約8秒	○
		時間を短くする[*3]	
		時間を長くする[*3]	
		連続作動にする	
フロント･リヤ ウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動 →P. 6-21, 6-22	連動する	○
		連動しない	
フロントルーム＆ マップランプ ルームランプ	すべてのドアおよびテールゲートを閉じたときに消灯するまでの時間(遅延消灯) →P. 8-4	約15秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		遅延消灯機能を働かなくする	

[*3]：連続作動モードあり
→「リヤワイパー／ウォッシャースイッチ」P. 6-22

A

ABS警告灯　7-23
ABS（アンチロックブレーキシステム）7-22

I

ISO FIX対応チャイルドシート　5-16

O

ODO（オドメーター）6-3

S

SRSエアバッグ　5-23
SRSエアバッグ警告灯　5-14，　5-26

T

TRIP（トリップメーター）6-3

ア

アームレスト（ひじ掛け）5-4
アクセサリーソケット　8-3
アシストグリップ　8-10
アルミホイールのお手入れ　11-11
アンチロックブレーキシステム（ABS）7-22
アンテナ　10-14
　テレビアンテナ　10-14

イ

ISO FIX対応チャイルドシート　5-16
インナーレール式電動スライドドア　4-10

ウ

ウインカー（方向指示レバー）6-19
ウインドウガラスのお手入れ　11-10
ウォッシャー
　ウォッシャー液　14-4
　ウォッシャー液の点検・補給　11-3
　フロントウォッシャースイッチ　6-21
　リヤウォッシャースイッチ　6-22

エ

エアコン
　エアコンの上手な使い方　9-15
　クリーンエアフィルター　9-16，　11-6
　吹き出し口　9-2
　マニュアルエアコン　9-4
エアバッグ
　SRSエアバッグ　5-23
　SRSエアバッグ警告灯　5-14，　5-26
ABS警告灯　7-23
ABS（アンチロックブレーキシステム）7-22
エンジンオイル　14-3
　エンジンオイルの補給　11-2
　エンジンオイル量の点検・補給　M
エンジン型式　S
エンジン警告灯　6-14
エンジンスイッチ　7-7
エンジンのかけ方　7-8
エンジンの初期調整　13-30
エンジンフード（ボンネット）4-36
エンジンブレーキ　2-13
エンジンルーム　1-7

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

オ

オイル　14-3
オーディオ
　AM/FM電子同調ラジオ＆
　　CDプレーヤー（時計付き）　10-2
　オーディオの上手な使い方　10-12
オートマチックトランスミッション　7-12
　運転のしかた　7-17
　オートマチックトランスミッション
　　オイル　14-4
　セレクターレバー　7-12
オーバーヒート　13-25
お手入れ
　アルミホイール　11-11
　ウインドウガラス　11-10
　樹脂部品　11-11
　洗車　11-8
　塗装の補修　11-11
　本革　11-7
　ワイパー　11-10
　ワックス　11-9
オドメーター（積算距離計）　6-3

カ

外装品のお手入れ　11-8
カスタマイズ（機能の設定変更）　14-10
ガソリン（燃料）　14-2
カップホルダー　8-8
ガレージジャッキ　13-13
寒冷時の取り扱い　12-2

キ

キー　4-2
キーレスエントリー　4-3
キックダウン　2-16
機能の設定変更（カスタマイズ）　14-10

ク

区間距離計（トリップメーター）　6-3
曇り取り
　ウインドウガラスの曇り取り　9-11
　リヤウインドウデフォッガー
　　スイッチ　6-23
クラクション（ホーンスイッチ）　6-24
クリープ現象　2-16
クリーンエアフィルター　9-16，　11-6

ケ

警告灯　6-11，　6-13
　ABS警告灯　7-23
　SRSエアバッグ警告灯　5-14，　5-26
　エンジン警告灯　6-14
　高水温警告灯　6-15
　シートベルト警告灯　5-13
　充電警告灯　6-14
　燃料残量警告灯　6-9
　半ドア警告灯　6-15
　プリテンショナー警告灯　5-14，　5-26
　ブレーキ警告灯　6-13
　油圧警告灯　6-14
けん引　13-27

コ

交換
　タイヤ　13-18
　バルブ（電球）　13-38
　ヒューズ　13-32
工具　13-9

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

高水温警告灯 6-15
後退灯
　バルブ（電球）の交換 13-47
　バルブ（電球）のワット数 13-37
小物入れ 8-5
　インパネアッパーボックス 8-6
　グローブボックス 8-6
コンビニフック 8-9

サ

サービスリマインダー 6-3, 6-6
サンバイザー 8-2

シ

シート 5-2
　シートヒーター 5-5
　チャイルドシート 5-15
　フロントシート 5-3
　ヘッドレスト 5-7
　リヤシート 5-6
シートベルト 5-10
　３点式シートベルト 5-12
　シートベルト警告灯 5-13
　プリテンショナー付シートベルト 5-13
室内灯 8-3
　バルブ（電球）の交換 13-50
　バルブ（電球）のワット数 13-37
シフトレバー 7-11
ジャッキ 13-9
ジャッキアップ 13-11
車幅灯 6-15
　バルブ（電球）の交換 13-41
　バルブ（電球）のワット数 13-35
車両重量 S
車両寸法 S
充電警告灯 6-14
修理の連絡先 M
樹脂部品のお手入れ 11-11
助手席ドア車検証ボックス 8-8

ス

スピードメーター 6-3
スペアタイヤ 13-16
スライドドア
　スライドドアの施錠・開錠 4-10
　チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置） 4-22
スライドドアイージークローザー 4-20

セ

積算距離計（オドメーター） 6-3
セキュリティーアラーム 4-26
セレクターレバー 7-12
洗車 11-8
センタードアロック 4-21

タ

ターボ車の取り扱い 7-10
タイヤ
　空気圧 14-9
　空気圧の点検・調整 11-5
　スペアタイヤ（応急用タイヤ） 13-16
　タイヤチェーン 12-6
　タイヤの摩耗 11-5
　タイヤメンテナンス 11-4
　タイヤローテーション 11-4
　タイヤ, ホイールのサイズ 14-8
タイヤ交換 13-18
タコメーター 6-3

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

15

チ

チェーン（タイヤチェーン） 12-6
チャイルドシート 5-15
チャイルドプロテクション
（後席ドア安全施錠装置） 4-22
駐車ブレーキ
- 駐車ブレーキ 7-2
- ブレーキ警告灯 6-13

テ

定期点検 M
低水温表示灯 6-13
テールゲート 4-23
テールランプ（尾灯） 6-15
テレビアンテナ 10-14
点火プラグ 14-5
電球（バルブ） 13-35, 13-38

ト

ドア 4-8
- 施錠・解錠 4-8
- センタードアロック 4-21
- チャイルドプロテクション
（後席ドア安全施錠装置） 4-22
- テールゲート 4-23

ドアミラー 7-4
- ヒーテッドドアミラー 7-6

時計 10-10
トランスファーオイル 14-4
トリップメーター（区間距離計） 6-3

ナ

内装品のお手入れ 11-7

ニ

日常点検 M

ネ

燃料 14-2
燃料計 6-9
燃料残量警告灯 6-9
燃料噴射装置の洗浄 11-3
燃料補給
- 燃料補給口（フューエルリッド） 4-38

ハ

パーキングブレーキ（駐車ブレーキ） 7-2
排気量 S
ハイドロプレーニング現象 2-12
ハイマウントストップランプ
- バルブ（電球）の交換 13-49
- バルブ（電球）のワット数 13-37

ハザードランプスイッチ
（非常点滅灯スイッチ） 6-19
発炎筒 13-9
バックミラー（ルームミラー） 7-4
バックランプ（後退灯）
- バルブ（電球）の交換 13-47
- バルブ（電球）のワット数 13-37

バッテリー 14-6
バッテリー上がり 13-23
バッテリー液量の点検・補給 M
バルブ（電球）
- 交換 13-38
- ワット数 13-35

パワーウインドウ 4-33
パワーステアリングオイル 14-4
パンク（タイヤ交換） 13-18

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

番号灯 6-15
　バルブ（電球）の交換 13-48
　バルブ（電球）のワット数 13-37
半ドア警告灯 6-15

ヒ

ヒーテッドドアミラー 7-6
非常点滅灯スイッチ 6-19
非常点滅表示灯 6-13
尾灯 6-15
ヒューズ 13-31
表示灯 6-11, 6-13
　ECOランプ 6-13
　低水温表示灯 6-13
　非常点滅表示灯 6-13
　ヘッドライト上向き表示灯 6-13
　方向指示表示灯 6-13
日よけ（サンバイザー） 8-2

フ

フェード現象 2-13
プチごみ箱 8-7
フューエルリッド（燃料補給口） 4-38
プリテンショナー警告灯 5-14, 5-26
プリテンショナー付シートベルト 5-13
フルタイム4WD 7-20
フルフラットシートの作り方 5-9
ブレーキ
　アンチロックブレーキシステム (ABS) 7-22
　ブレーキ液 14-4
　ブレーキ液量の点検・補給 M
　ブレーキ警告灯 6-13
　ブレーキパッドの摩耗 13-30
　ブレーキペダル 14-7
フロアマット 8-10
フロントシート 5-3
　シートヒーター 5-5
フロントルーム＆マップランプ 8-4, 13-49
フロントワイパー
　ウォッシャースイッチ 6-21
フロントワイパースイッチ 6-20

ヘ

ベーパロック 2-13
ヘッドライト 6-15
　バルブ（電球）の交換 13-39
　バルブ（電球）のワット数 13-35
ヘッドライト上向き表示灯 6-13
ヘッドライトレベリングダイヤル 6-17
ヘッドレスト 5-7
ベルトのたわみ量 14-7

ホ

ホイール
　タイヤ, ホイールのサイズ 14-8
　ホイールカバー 13-21
方向指示
　レバー 6-19
方向指示灯
　バルブ（電球）の交換 13-44, 13-46, 13-47
　バルブ（電球）のワット数 13-35
方向指示表示灯 6-13
方向指示レバー 6-19
ホーンスイッチ 6-24
ポジションランプ（車幅灯） 6-15
　バルブ（電球）の交換 13-41
　バルブ（電球）のワット数 13-35

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ボンネット（エンジンフード） 4-36

マ

マニュアルエアコン 9-4
マニュアルトランスミッション 7-11
　マニュアルトランスミッション
　　オイル 14-4

ミ

ミラー
　ドアミラー 7-4
　ヒーテッドドアミラー 7-6
　ルームミラー 7-4

メ

メーター
　オドメーター（積算距離計） 6-3
　スピードメーター 6-3
　タコメーター 6-3
　トリップメーター（区間距離計） 6-3
　燃料計 6-9
メンテナンスデータ 14-2

ユ

油圧警告灯 6-14
油圧パワーステアリング 7-24

ヨ

4WD車取り扱い上の注意 7-21

ラ

ライトスイッチ 6-15
ランプ
　バルブ（電球）の交換 13-38
　フロントルーム＆マップランプ 8-4
　ルームランプ（室内灯） 8-4
　ワット数 13-35

リ

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）
　スイッチ 6-23
リヤウォッシャースイッチ 6-22
リヤコンビネーションランプ 13-47
リヤシート 5-6
リヤディファレンシャルオイル 14-4
リヤワイパー／ウォッシャースイッチ
　6-22

ル

ルームミラー 7-4
ルームランプ（室内灯） 8-4
　バルブ（電球）の交換 13-50
　バルブ（電球）のワット数 13-37

レ

冷却水 14-4
冷却水量の点検・補給 M

ワ

ワイパー 6-20
　ウォッシャースイッチ 6-21
　フロントワイパースイッチ 6-20
　リヤワイパースイッチ 6-22
ワイパーウォッシャースイッチ 6-22
ワイパーのお手入れ 11-10
ワックス 11-9

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

15

純正品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正品をご使用ください。
- 純正品は，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正品や油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

●継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，エンジンを止めます。

●負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
後になってから後遺症が出るおそれがあります。

●警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

●相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

●ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。